



Infor LN 自動車業界対応機能ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	crossautug (U9583)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017 年 12 月 19 日

目次

文書情報

第1章 販売における自動車業界対応機能.....	9
一般データおよびマスタデータ.....	9
販売スケジュール処理の概要.....	9
自動販売スケジュール処理.....	11
在庫消費処理.....	12
販売スケジュールの追加コスト.....	15
販売スケジュール計画倉庫オーダ.....	18
販売スケジュール手順.....	29
販売スケジュール手順.....	29
EDI と販売スケジュール.....	32
販売発行.....	33
参照販売スケジュール.....	35
ピックアップシート.....	37
販売スケジュールの改訂.....	39
販売スケジュールラインの所要量タイプ.....	41
販売スケジュールラインのゼロ所要数量.....	44
販売スケジュール累計および権限.....	45
販売スケジュールの調整.....	54
販売スケジュールの承認.....	58
販売スケジュールの調整.....	60
販売スケジュールと企業計画.....	64
販売スケジュールと倉庫.....	70
販売スケジュールと請求.....	72
販売スケジュールの処理と削除.....	74
販売スケジュールの終了.....	76
販売スケジュール履歴.....	77
第2章 倉庫管理における自動車業界対応機能.....	79
扱い単位.....	79
代替の扱い単位構造.....	79
出荷ライン固有扱い単位テンプレート.....	80

扱い単位を (単一品目から複数品目に、またはその逆に) 変更する場合の例.....	80
順序付.....	82
扱い単位マスク.....	85
ライン側ラベル.....	86
ラベルのレイアウトと出力.....	88
ライン側ラベルのラベルレイアウト.....	104
部品変更タグと理由.....	106
出荷構築.....	107
出荷参照に基づく出荷作成.....	107
納入地点に基づく出荷構築.....	110
事前出荷通知番号の長さ.....	111
ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) - 梱包品目の登録.....	112
前提条件.....	112
VMI 倉庫向け出荷オプションの使用 - シナリオ.....	113
顧客別消費オプションの使用 - シナリオ.....	113
出荷資材取引.....	113
出荷資材取引.....	113
梱包品目の登録.....	114
出荷資材取引体系.....	115
CINDI 処理.....	118
輸送 ID.....	118
物流ゾーン/工順コード.....	119
消費地/仕向地.....	119
登録承認番号/カンバン/納入コール番号.....	119
資材の完全梱包.....	119
オーダ入力.....	120
出庫処理.....	121
梱包参照配分.....	121
出庫扱い単位用の梱包処理と出荷処理.....	122
扱い単位の充填.....	122
充填の条件.....	122
梱包参照配分の検証/CINDI.....	123
扱い単位の構成.....	123
出荷の構成.....	125

出荷ラインの分割.....	125
出荷伝票.....	125
出荷検証.....	126
出荷検証処理.....	126
設定.....	126
出荷検証 - 検証エラーの修正.....	127
EXM の検証中または検証エラー状況が無効化するには.....	127
出荷確認 - 出荷受入および検証スキヤンの操作.....	128
出荷元受入.....	128
出荷先受入.....	128
検証スキヤン.....	128
設定.....	129
扱い単位の確定時に出荷ラインを自動またはマニュアルで確定.....	129
スキヤン完了後に未確定の扱い単位.....	129
承認過剰輸送費 (AETC).....	130
積荷の顧客承認番号、理由、責任主体を指定するには.....	130
設定.....	130
中間荷受人.....	131
処理フロー.....	131
設定.....	131
倉庫管理.....	132
輸送.....	132
第3章 請求における自動車業界対応機能.....	133
自己請求請求書の照合.....	133
照合済自己請求請求書の承認.....	134
自己請求請求書照合処理.....	134
自己請求請求書の設定.....	135
販売スケジュールに関連する自己請求請求書.....	135
請求可能ラインの一部請求.....	135
中間収益と売上原価の転記.....	136
価格差異.....	136
数量差異.....	136
第4章 財務会計における自動車業界対応機能.....	139

評価済在庫決済 - 設定.....	139
付録A 用語集.....	141
索引	

文書情報

この文書では、販売、倉庫管理、請求、財務会計の自動車機能に焦点を当て、自動車産業に固有の機能について説明します。

本書の対象読者

主要なユーザ、導入コンサルタント、製品設計者、サポート担当者などが対象となります。

文書の概要

章番号	内容
第 1 章	販売における自動車業界対応機能
第 2 章	倉庫管理における自動車業界対応機能
第 3 章	請求における自動車業界対応機能
第 4 章	財務会計における自動車業界対応機能

参照

本書を RFQ に関する主要な参照資料として使います。本書で取り上げていない情報については、以下の文書の最新版を参照してください。

- 追加情報フィールドユーザガイド
追加情報フィールドの目的と使用方法を理解するには、このガイドを使用します。
- 販売契約ユーザガイド U9844 JA
販売契約の手順を理解するには、このガイドを使用します。
- 購買および販売スケジュールユーザガイド U9541 JA
購買および販売スケジュールの手順を理解するには、このガイドを使用します。
- 扱い単位ユーザガイド 8938 JA
扱い単位の手順を理解するには、このガイドを使用します。
- 出庫および出荷商品フローユーザガイド 9794 JA
出庫および出荷の手順を理解するには、このガイドを使用します。
- 販売請求ユーザガイド U8935 JA
販売請求の手順を理解するには、このガイドを使用します。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定機能を理解するには、このガイドを使用します。
- 資材価格設定ユーザガイド U9865 JA
資材価格設定機能を理解するには、このガイドを使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。このため、マニュアルの他のセクションへの参照が次の例のように示されています。

詳細については「はじめに」を参照してください。参照先セクションの場所を特定するには、「目次」を参照するか、文書末尾の「索引」を使用してください。

下線付きの語は用語集の定義へのリンクを示します。本書をオンラインで表示する場合、下線付きの語をクリックすると文書末尾の用語集定義が表示されます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

一般データおよびマスタデータ

販売スケジュール処理の概要

販売スケジュールは、頻繁に納入がある長期の販売プロジェクトに使用します。このスケジュールは、取引パートナー間で使用される特定商品のスケジュールを表します。

販売スケジュールは品目の納期/時刻を指定する詳細な方法を提供しているため、たとえば、JIT環境などの全体を把握できる時間に沿った資材所要量の情報が必要な場合に、標準の販売オーダーの代わりに販売スケジュールを使用します。

販売スケジュールは、参照または非参照にすることができます。

承認の後、販売スケジュールは、特定の価格および値引など、同意された条件に従って品目を納入する法的な義務になります。

販売スケジュールマスタデータ

販売スケジュール手順を実行するには、事前に次の設定を行います。

1. 販売パラメータ (tdsls0100s000) セッションの [スケジュール] チェックボックスをオンにします。
2. 販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションで販売スケジュールパラメータを指定します。
3. 販売スケジュールマスタデータを指定します。
詳細は、次の情報を参照してください:
 - 販売品目データ
 - 販売組織データ
4. 次のように指定します。
 - 販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンの場合は、販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションのロジスティック合意条件
 - 販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオフの場合は、品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションのロジスティック合意条件
5. 販売先取引先 (tccom4110s000) セッションの [販売スケジュール発行の自動処理] チェックボックスをオンまたはオフにします。

注意

販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンの場合、販売スケジュールは、有効な販売契約にリンクされている場合のみ作成できます。さらに、販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールの条件を使用] チェックボックスもオンの場合は、販売スケジュールにはリンクされた条件合意が必要となります。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 販売契約 - 概要
- 条件の概要
- 自動販売スケジュール処理 (ページ 11)

販売スケジュール手順

販売スケジュール手順は次の手順からなります。

1. 販売発行の作成と更新
2. 販売スケジュールの作成と更新
3. 販売スケジュールの権限の決定と使用
4. 販売スケジュール累計の決定と使用
5. 販売スケジュールの承認
6. 倉庫管理への販売スケジュールまたは計画済倉庫オーダの発行
7. 請求への販売スケジュールまたは計画済倉庫オーダの発行
8. 販売スケジュールの処理

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュール手順 (ページ 29)

注意

期限内に販売オーダを生成する簡略化された販売スケジュールソリューションでは、契約納入から非参照販売スケジュールを作成します。詳細は、次の情報を参照してください: 販売契約の予定所要量

オプション処理

販売スケジュールでは以下はオプションです。

- 資材価格
資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [販売の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格マスターデータを設定した後に、スケジュールラインの資材価格情報が取得されます。
- 追加情報フィールド
追加情報フィールドを定義できます。この内容は、倉庫管理で倉庫オーダを経由して販売スケジュールから出荷へ転送されます。詳細は、次の情報を参照してください: 追加情報フィールド
- 消費
販売スケジュールの消費を登録し、処理できます。詳細は、次の情報を参照してください: 在庫消費処理 (ページ 12)

- 追加コスト
販売スケジュールラインにリンクされている販売出荷の追加コストを計算できます。詳細は、次の情報を参照してください: 追加コスト - 出荷基準 (ページ 15)
- 計画済倉庫オーダ
販売スケジュール手順で計画済倉庫オーダを使用できます。詳細は、次の情報を参照してください: 計画済倉庫オーダ (ページ 18)
- 遡及請求
遡及請求機能を使用して、販売スケジュールに従い以前に請求した品目を請求し直すことができます。価格差額は、品目数量が0でオーダ額に価格差額が含まれる遡及請求された販売オーダを介して処理されます。

自動販売スケジュール処理

販売スケジュールの処理を自動化できます。活動ごとに、その活動を自動的に実行するか、またはマニュアルで実行するかを指定します。

スケジュール手順活動の実行は、販売発行が販売スケジュールに処理されたとき、または販売スケジュールが作成されたときに開始できます。すべての自動活動は、自動化すると定義されていない活動に達するまで、自動化された活動がすべて連続して実行されます。自動化しない活動をマニュアルで実行すると、次の自動化された活動などが実行されます。そのため、活動ごとに、その活動を自動的に実行するか、またはマニュアルで実行するかを指定します。

注意

- 販売先取引先 (tccom4110s000) セッションの [販売スケジュール発行の自動処理] チェックボックスにより、販売発行が [作成済] の状況の販売スケジュールに自動的に変換されるかどうかが決まります。
- 自動で実行される活動の場合、処理レポートは出力されません。
- バッチセッションによって販売スケジュール活動を実行中にエラーが発生した場合、デバイスを選択してエラーを出力できます。

販売スケジュールの自動処理データの取得

販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] および [スケジュールの条件を使用] チェックボックスにより、どのセッションから自動処理データが取得されるかが決まります。

- [スケジュールに契約を使用] はオフになっています。
データは品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションから取得されます。
- [スケジュールに契約を使用] はオンになり、[スケジュールの条件を使用] はオフになります。
販売スケジュールが条件契約にリンクされた販売契約に基づく場合、自動処理中のデータはスケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションから取得されます。条件契約が契約にリンクされていない場合、データは販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションから取得されます。

- [スケジュールに契約を使用] および [スケジュールの条件を使用] はオンになります。販売スケジュールは、条件契約にリンクされた販売契約に基づく必要があります。このため、自動処理データはスケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションから取得されます。

[スケジュールに契約を使用]	関連条件契約?	セッションから取得される自動処理データ	自動処理データ
オン	あり	スケジュール条件 (tctrm1131m000)	非参照スケジュール 1. [販売スケジュールの自動調整] 2. [非参照販売スケジュールの自動承認] 3. [非参照販売スケジュールをオーダーに自動発行] および [非参照スケジュール用にバックオーダーを自動発行] 参照スケジュール 1. [参照済販売スケジュールの自動承認] 2. [参照販売スケジュールをオーダーに自動発行] および [参照スケジュール用にバックオーダーを自動発行]
オン	なし	販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000)	[参照済販売スケジュールの自動承認]
オフ	適用なし	品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000)	[参照済販売スケジュールの自動承認]

在庫消費処理

販売業者管理在庫 (VMI) および外注環境では、発注先または製造元の管理倉庫で消費データを表示しメンテナンスするために、消費が記録されます。この倉庫は、顧客または外注先の倉庫を顧客/外注先からミラーし、発注先/製造元により供給された資材を消費します。

在庫消費の処理には、これらの消費の作成と処理が含まれます。

注意: このトピックでは、発注先は発注先または製造元を指し、顧客は顧客または外注先を指します。また、VMI 倉庫とは顧客または外注先の倉庫のことで、顧客または外注先は、発注先または製造元によって提供される商品をこの倉庫から消費します。

消費マスタデータ

発注先の管理倉庫で在庫消費を記録して在庫レベルを更新し、請求を開始するには、次の手順を実行します。

1. 導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0100s000) セッションで、次のチェックボックスをオンにします。
 - [VMI (発注先側)] チェックボックス。VMI 環境の消費をメンテナンスします。
 - [資材フローで外注] および [資材フローで外注 - サービス] チェックボックス。外注環境の消費をメンテナンスします。
2. 条件 (tctrm1100m000) セッションで、関連する取引先、倉庫、および品目の条件を指定します。
3. 消費ラインにスケジュールの外部梱包票を含める必要がある場合は、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションで、[外部梱包票必須] チェックボックスをオンにします。販売先取引先、出荷先取引先、および品目の組合せについて、[重複外部梱包票を許可] チェックボックスがオンになっている場合、すでに使用された外部梱包票を使用できます。
4. 在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで外注シナリオにおける消費を作成するには、ロジスティック条件 (tctrm1140m000) セッションの [在庫更新方法] フィールドに次の値を設定します。
 - [入庫および消費]
 - [入庫、消費および在庫残高]
 - [消費としての在庫残高]
 このオプションフィールドを指定していない場合、VMI シナリオでは在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで入庫数量が表示されず、資材消費がバックフラッシュで更新されます。

VMI 機能の設定方法の詳細は、VMI 顧客役割 - 設定およびVMI 発注先予測 - 設定を参照してください。外注についての情報は、外注の概要を参照してください。

消費

消費レコードは、生成することも、マニュアルで作成することもできます。このレコードは、発注先による入庫数量と、顧客によるその後の消費を示します。

消費レコードは、1 つのヘッダおよび 1 つ以上のラインから成ります。

- 消費ヘッダ
VMI 倉庫に補充されると、消費ヘッダが生成されます。消費レコードのヘッダには、顧客の名前、VMI 倉庫、集計された入庫済および消費済品目数量が含まれています。これらのヘッダは、在庫消費 (tdsls4140m000) セッションで表示およびメンテナンスできます。
- 消費ライン
顧客が資材を消費した場合、消費ラインが作成されます。個々の消費の詳細は、在庫消費ライン (tdsls4141m000) セッションで表示およびメンテナンスできます。
- 消費ラインは、LoadInventoryConsumption ビジネスオブジェクト文書 (BOD) を受け取った後に生成されますが、顧客から受信した電子メールや着信した電話に基づいてマニュアルで作成することもできます。

消費が指定された後、次のように処理する必要があります。

- 請求できる場合、顧客に消費数量を請求します。

- 管理倉庫の在庫レベルを引き下げます。

詳細は、次の情報を参照してください: 消費の処理

注意

顧客の LN システムでは、委託消費 (whwmd2551m000) セッションおよび在庫消費 (whina1514m000) セッションで消費が生成されます。詳細は、次の情報を参照してください: 消費レコード

価格および値引

- 販売オーダー
消費日付または補充日付のいずれかを使用して発生元販売オーダーラインの値に基づく価格と値引が決定されます。この計算は、オーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの [価格決定基準] パラメータ設定に従って行われます。
- 販売スケジュール
販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [消費請求書ラインのリンク先] フィールドの値が LN で確認されます。このフィールドは、[スケジュールヘッダ] または [スケジュール要件ライン] に設定できます。
[消費請求書ラインのリンク先] フィールドの値に応じて、価格と値引が次のラインから取得されます。
 - [スケジュールヘッダ]
消費のリンク先となっている販売スケジュールの最初のスケジュールライン。連続したスケジュールラインの情報は考慮されません。
 - [スケジュール要件ライン]
消費のリンク先となっている販売スケジュールの最初のスケジュールライン。

注意

- 販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) セッションでは、消費請求ラインは販売オーダーラインにリンクしています。販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションでは、消費請求ラインは販売スケジュールヘッダまたは販売スケジュールライン/計画済倉庫オーダーラインにリンクしています。
- 販売委託請求オーダーの価格は消費日付に基づいています。

[使用払] 販売オーダー/スケジュールライン

支払タイプが [使用払] で、活動 [請求への発行] がオーダー手順の一部になっている販売オーダー/スケジュールラインでは、次のことを行うことができます。

- 消費を登録する
- 請求対象、つまりリンクされている消費ラインの請求ラインが作成される
- [自己請求] チェックボックスがオン

注意

これは拡張委託の設定に適用され、委託在庫の消費用の請求を補充オーダーまたはスケジュールに直接リンクします。

基本委託設定では、オーダーおよびスケジュール手順が補充部分と請求部分に分割されます。以下のルールが適用されます。

- 販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションの [委託補充] チェックボックスがオンになった販売オーダーである委託補充オーダーには、請求を行うことができません。
- 委託補充オーダーは [請求への発行] オーダ手順の一部になっているので、消費は [委託請求] 販売オーダーのみを使用して請求できます。これらの販売オーダーは、販売オーダータイプ (tdsls0594m000) セッションの [委託請求] チェックボックスがオンになっています。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売と調達における委託

販売スケジュールの追加コスト

追加コスト - 概要

オーダーまたは出荷に追加コストを課すために販売オーダーまたは出荷に配置できる 追加コスト を指定できます。

追加コスト - 設定

追加コストを販売オーダーおよびスケジュールにリンクするには、事前に、マスターデータを定義する必要があります。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 追加コスト - 設定

追加コスト - タイプ

追加コストは、オーダー基準または出荷基準にできます。

- オーダ基準
販売オーダーまたは販売オーダーラインの追加コストが計算されます。販売オーダーの承認後、追加コストは、最終品目を記録した後に追加コスト (品目) としてオーダーに配置できます。
- 出荷基準
出荷または出荷ラインの追加コストが計算されます。出荷の確認後、1 つの出荷 (ライン) についてすべての追加コストを含む販売出荷コストオーダーが生成されます。

注意

オーダー基準の追加コストは販売オーダーのみに適用され、販売スケジュールには適用されません。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 追加コスト - オーダ基準
- 追加コスト - 出荷基準 (ページ 15)

追加コスト - 出荷基準

出荷基準の追加コストは販売出荷または出荷ラインについて計算されます。出荷 (ライン) の確認後、出荷 (ライン) に基づいて販売コストオーダーが生成されます。発生元が [出荷] の販売コストオーダーには、1 つの出荷 (ライン) の追加コストがすべて含まれています。

注意

- 複数の販売オーダーラインおよび販売スケジュールラインは1つの出荷にリンクできます。
- 出荷にリンクされた販売出荷コストオーダーおよびオーダー/スケジュールラインには、共通の出荷 ID が割り当てられます。この ID に基づいて、完了した出荷を顧客に請求できます。関連するオーダー/スケジュールラインと販売出荷コストオーダーは、まとめて請求に発行できます。

出荷基準の追加コスト手順には、次のステップが含まれます。

ステップ 1: 販売出荷コストオーダーの生成

出荷 (ライン) で有効な追加コストラインのある追加コストセットが検出された場合、出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションで出荷依存および品目依存の追加コストが個別の出荷ラインとして出荷に追加されます。追加出荷原価ラインが倉庫管理で生成されます。出荷が確認されると、販売オーダー (tdsls4100m000) セッションで [出荷] 発生元がある販売オーダーが生成されます。

これらの販売オーダーには、次のことが当てはまります。

- 販売オーダータイプとオーダーシリーズは販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [出荷コストオーダータイプ] フィールドと [出荷コストオーダーシリーズ] フィールドから取得されます。
- 販売オーダー (tdsls4100m000) セッションの [出荷] フィールドにはこれらのオーダーが自動的に入力されます。
- この販売オーダーに表示できるのは、原価品目とサービス品目のみです。
- 生成された販売オーダーラインの [追加コストライン] チェックボックスはオンになります。
- 追加コスト金額が [金額] フィールドに表示され、販売オーダーラインの [価格] フィールドは空になります。販売納入 (tdsls4101m200) 活動が実行されるまでは [金額] を変更することができます。この後、納入後の価格および値引の変更 (tdsls4122m000) セッションまたは販売請求書ラインの価格および値引の変更 (tdsls4132m000) セッションで納入済額を変更できます。

ステップ 2: 販売出荷コストオーダーの承認

販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [出荷基準コストオーダーの自動承認] チェックボックスによって、販売出荷コストオーダーをどのように承認する必要があるかが決まります。

ステップ 3: 追加コストライン品目の出庫

品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッションの [倉庫に発行] チェックボックスの値に基づいて、原価品目の出庫が倉庫管理または販売で実行されます。

そのため、販売オーダーラインに関して販売オーダーの倉庫管理への発行 (tdsls4246m000) または販売納入 (tdsls4101m200) 活動のいずれかを実行する必要があります。

販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) の前に販売納入 (tdsls4101m200) が実行されていない場合、販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) セッションの実行中は、活動が [実行] に設定されます。そのため、販売納入 (tdsls4101m200) を実行することは任意です。

ステップ 4: 販売出荷コストオーダーの請求への発行

出荷にリンクされた販売出荷コストオーダーおよびオーダー/スケジュールラインには、共通の出荷 ID が割り当てられます。この ID に基づいて、完了した出荷を顧客に請求できます。販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) セッションで [出荷] チェックボックスをオンにすると、出荷にリンクされた販売出荷コストオーダーとオーダー/スケジュールラインが請求にまとめて発行されます。

販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) セッションの [追加原価ラインを請求に自動発行] フィールドによって、販売出荷コストオーダーをどのように請求に発行する必要があるかが決まります。

出荷 ID は、次のセッションで表示できます。

- 販売出荷コストオーダー
販売オーダー (tdsls4100m000)
- 販売出荷コストオーダーライン
リンクオーダーラインデータ (tdsls4102s200)
- 販売オーダーライン
販売オーダー実際納入ライン (tdsls4106m000)
- 販売スケジュールライン
販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m000)

ステップ 5: 追加コストラインの処理

販売オーダーと販売スケジュールは、納入済販売オーダーの処理 (tdsls4223m000) セッションおよび納入済販売スケジュールの処理 (tdsls3223m000) セッションで追加コストラインと一緒に処理されます。

出荷/出荷ラインの追加コストの計算

出荷/出荷ラインの追加コストの計算は、販売先取引先 (tccom4110s000) セッションの [追加コスト計算方法] フィールドの値に基づきます。出荷の場合は、[追加コスト計算方法] を [ヘッダ基準] にする必要があり、出荷ラインの場合は、[ライン基準] にする必要があります。

在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [出荷の追加コストを計算] チェックボックスがオンの場合は、販売オーダーと販売スケジュールの追加コストが計算されます。

- 販売オーダー
取引先 (または品目、あるいは両方) のコストセットを使用して追加コストが計算されます。
- 販売先取引先 (tccom4110s000) セッションで [追加コスト計算方法] が [ヘッダ基準] の場合、追加コストラインは出荷ごとの合計に基づき、発生元出荷ラインへのリンクは保存されません。
- [追加コスト計算方法] が [ライン基準] の場合は、追加コストが発生元オーダーラインごとに計算され、発生元出荷ラインへのリンクが保存されます。
- 販売スケジュール
取引先 (または品目、あるいは両方) のコストセットを使用して [ヘッダ基準] 追加コストが計算されます。追加コストラインは出荷ごとの合計に基づき、発生元出荷へのリンクは保存されません。
- 契約のコストセットの [ライン基準] 追加コストが計算されます。この計算は、常に、[追加コスト計算方法] とは無関係です。生成された追加コストラインは発生元オーダーライン

にリンクされます。コストを計算する前に、すべての出荷ラインの数量を追加できます。これは、オーダラインごとに複数の出荷ラインがある在庫内シリアルに適用できます。

梱包票の出力 (whinh4475m000) セッションおよび納品書の出力 (whinh4477m000) セッションでは、ヘッダ基準の追加コストが最初に出力されます。ライン基準の追加コストはリンクされた出荷ラインの下に出力されます。

注意

- 確認済出荷ラインで、追加コストラインの状況が[未計算]の場合は、追加コストが再計算されます。状況が[修正済]の場合は、追加コストを再計算するか、再計算をスキップするかが LN で確認されます。追加コストの再計算後、出荷 (whinh4130m000) セッションの[追加コスト] フィールドは [計算済] に設定されます。
- 出荷の構成 (whinh4231m000) セッションで出荷を構成しているとき、関連する追加コストラインは、選択されたオプションに従って処理される必要があります。
適切なメニューで、次の項目をクリックします。
 - [ライン分割]: 発生元の出荷ラインの状況が[修正済]にリセットされ、追加コストラインが削除されます。発生元ラインの確認中に、追加コストが再計算されます。
 - [出荷へ移動]: 発生元出荷ラインの追加コストが新しい出荷ラインに移動されます。

販売スケジュール計画倉庫オーダ

計画済倉庫オーダ

計画済倉庫オーダを使用して、スケジュール更新と改訂を倉庫オーダから分離し、販売スケジュールラインを数量と日付によって調整できます。

計画済倉庫オーダを使用するには、販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの[スケジュールに契約を使用] チェックボックスをオンにする必要があります。販売スケジュールの承認時には、計画済倉庫オーダが作成されます。

計画済倉庫オーダの作成

[確定] または [即時] の所要量タイプの販売スケジュールラインが承認されると、次のステップが実行されます。

1. 販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションで、販売スケジュールと同じ番号の計画済倉庫オーダが作成されます。参照スケジュールの場合、参照配分は計画済倉庫オーダの参照配分 (tdsls3522m000) セッションの計画倉庫オーダラインを下回るように作成されます。
2. 販売スケジュール計画倉庫オーダリンク (tdsls3521m000) セッションで、計画済倉庫オーダと販売スケジュールライン (改訂) の間のリンクが作成されます。
3. 販売スケジュールラインが数量別に統合できるかどうかチェックされます。この場合、複数のスケジュールラインが1つの計画済倉庫オーダにまとめられます。計画済倉庫オーダのオーダ数量はグループ化された数量であり、同じ計画済倉庫オーダが各種スケジュールラインにリンクされます。詳細は、次の情報を参照してください: スケジュールラインの計画済倉庫オーダへの統合 (ページ 20)
4. 販売スケジュールラインが日付別に統合できるかどうかチェックされます。この場合、計画済倉庫オーダの[所要開始日] または [計画入庫日] が事前定義された納入時点に変更されます。これにより納入が減少します。また、販売スケジュールの承認中および承認後は、販売スケジュールラインを計画済倉庫オーダに統合するオプションをマニュアルで指

定することもできます。詳細は、次の情報を参照してください: スケジュールラインの計画済倉庫オーダーへの統合 (ページ 20)

重要

販売スケジュールラインで完全パッケージ資材の出荷のみ許可されている場合は、販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションで、**梱包定義**を指定し、**扱い単位テンプレート** (whwmd4160m000) セッションの **[完全梱包のみ]** チェックボックスをオンにします。この場合、通常は、**計画済倉庫オーダー**のオーダー数量がリンクされた販売スケジュールラインの合計になりませんが、**パッケージ定義**に指定された数量に準じて調整されます。

注意

次の特徴を持つ販売スケジュールラインの場合、計画済倉庫オーダーは作成されません。

- 販売スケジュールラインが実際のオーダーを含まない資材発行にリンクされている。これらのスケジュールラインの販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの **[確定所要量の資材発行を使用]** チェックボックスは、オフになっています。
- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションの **[顧客の所要量タイプ]** フィールドと **[所要量タイプ]** フィールドの値が異なる

計画済倉庫オーダーの処理

作成後、計画済倉庫オーダーでは次のステップが実行されます。

1. 計画済倉庫オーダーを倉庫管理に発行します。
計画オーダーの実際の倉庫オーダーへの発行は、次のように実行されます。
 - スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの **[非参照販売スケジュールをオーダーに自動発行]** チェックボックスまたは **[参照販売スケジュールをオーダーに自動発行]** チェックボックスがオンの場合は自動
 - 販売スケジュールの請求への発行 (tdsls3207m000) セッションおよびピックアップシートを倉庫に発行 (tdsls3207m100) セッションではマニュアル
2. 計画済倉庫オーダーの納入を実行します。詳細は、次の情報を参照してください: 計画済倉庫オーダーの納入 (ページ 26)
3. 計画済倉庫オーダーを請求に発行する
請求への発行は次のように実行されます。
 - 販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションでは計画済倉庫オーダーの実際納入/請求ライン別
 - 販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) セッションでは計画済倉庫オーダーの範囲
4. 計画済倉庫オーダーを処理する。納入済販売スケジュールの処理 (tdsls3223m000) セッションで、**[請求済]** 計画済倉庫オーダーにリンクされた販売スケジュールが処理された場合、計画済倉庫オーダーも処理されます。処理中に、取引高履歴が記録され、契約が更新され、スケジュールラインの状況が更新されます。

注意

販売スケジュール (tdsls3611m000) セッションを使用して、これらのステップをすべて実行できます。

計画済倉庫オーダの更新

新しい販売発行が処理されると、販売スケジュールラインの更新または新しいスケジュールラインの改訂により、計画済倉庫オーダと計画済倉庫オーダリンクを更新できます。LN によりスケジュールラインの更新または新しいスケジュールラインの訂正がどのように処理されるかは、計画済倉庫オーダの状況と、倉庫オーダの状況 (該当する場合) によって決まります。

詳細は、次の情報を参照してください: 計画済倉庫オーダの更新 (ページ 23)

スケジュールラインの計画済倉庫オーダへの統合

計画済倉庫オーダを使用する場合、販売スケジュールラインを数量別または日付別に統合できます。

数量別の統合とは、複数のスケジュールラインを 1 つの計画済倉庫オーダにまとめることを意味します。計画済倉庫オーダのオーダ数量はグループ化された数量であり、同じ計画済倉庫オーダが各種スケジュールラインにリンクされます。

日付別の統合とは、スケジュール品目の出荷が計画済倉庫オーダの事前定義された納入日時に統合されることを意味します。

マスタデータ

販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションで、これらの統合フィールドを指定する必要があります。

- [納入パターン]
このフィールドが指定されている場合、LN によって、数量別および日付別またはどちらか一方により、販売スケジュールラインが自動的に統合されます。
- [参照の統合を許可]
同じ [出荷参照] で参照スケジュールラインを数量別に統合できるかどうかを決定します。
- [統合中の追加情報を無視]
追加情報フィールドの内容が異なるスケジュールラインを統合できるかどうかを決定します。

所要量の数量別統合

数量別に統合すると、特定の販売スケジュールの複数のスケジュールラインを 1 つの計画済倉庫オーダにまとめることができます。

販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションでは、異なることのある次のフィールドを除き、販売スケジュールラインのフィールドが同じ場合、スケジュールラインを同一の計画済倉庫オーダに組み合わせます。

- 日付
- 数量
- [参照]
- [顧客スケジュール番号]
- [梱包参照 A]
- [梱包参照 B]
- [追加フィールド] ([統合中の追加情報を無視] チェックボックスがオンの場合)

スケジュールラインの、たとえば、価格情報または販売単位が異なる場合は、それらを統合できません。この場合、同じ出荷参照で複数の計画済倉庫オーダを作成できます。

注意

- 参照スケジュールラインは、出荷参照が同一の場合にのみ、1つの計画済倉庫オーダに統合できます。
- 販売スケジュールラインの [スケジュールラインテキスト] チェックボックスがオンの場合、このスケジュールラインは数量別に統合できません。

数量別の統合には以下が適用されます。

- 統合の基礎情報として、計画済倉庫オーダにリンクされている先頭のスケジュールラインから情報が取得されます。つまり、その他のスケジュールラインからの情報は無効になります。
- 受領するスケジュール改訂への新しい情報のために統合結果が長期間のうちに変更されると、予測外の不足納入または超過納入の状況が発生し、予測外の計画済倉庫オーダの作成が発生します。

注意

新しいスケジュール改訂または更新により予測外の (超過) 納入となる場合、警告メッセージが表示されます。これにより、必要に応じて、マニュアルによる介入が可能になります。

例

スケジュール SCH0001 では、最初の改訂には次のデータが含まれます。

スケジュールライン	オーダ数量	納入地点
10	15	001
20	35	001

スケジュールライン 10 と 20 は、オーダ数量が 50 の 1 つの計画済倉庫オーダ (SCH0001) に統合されます。

2 番目のスケジュール改訂には次のデータが含まれます。

スケジュールライン	オーダ数量	納入地点
10	17	001
20	37	002

納入地点が変更したために、これらのスケジュールラインは数量別に計画済倉庫オーダに統合できません。

(計画済) 倉庫オーダの状況に基づき、以下が適用されます。

- 更新可能
納入地点 001 の既存の計画済倉庫オーダの数量は減少し、17 に設定されます。
- 先頭の計画済倉庫オーダリンクの数量は減少し、改訂数量が更新され、2 番目の計画済倉庫オーダリンクが削除されます。
- 2 番目のスケジュールラインに対して、2 番目の計画済倉庫オーダとリンクが作成されます。
- 更新不可能
納入地点 001 の最初の計画済倉庫オーダは倉庫管理で処理されます。
- 納入地点 001 の先頭の新しいスケジュールラインの数量は無視されます。計画済倉庫オーダリンクの改訂のみが更新されます。
- 2 番目のスケジュールラインに対して、新しい計画済倉庫オーダと計画済倉庫オーダリンクが作成されます。その結果、超過納入となります。

所要量の日付別統合

日付別の統合とは、スケジュール品目の納入日時が計画済倉庫オーダの固定納入日時に変更されることを意味します。

販売スケジュールの承認時に、販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションの次の日付は、パターンで定義された納入時のいずれかに変更できます。

- [出荷基準]
[所要開始日]
- [入庫基準]
[計画入庫日]

この結果、計画済倉庫オーダの日付は、販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの [納入パターン] フィールドに指定された希望納入時に従った日付となります。

マニュアル統合オプション

スケジュールラインの自動統合は計画済倉庫オーダの数を大幅に削減しますが、引き続き、計画済倉庫オーダの数が多すぎるとみなされる場合があります。

計画済倉庫オーダの数をさらに削減、または管理するために、スケジュールの承認時または承認後に統合オプションをマニュアルで指定できます。既存または新しい計画済倉庫オーダの場合、過去の所要量を含め、特定の所要開始日のスケジュールライン所要量を 1 つの計画済倉庫オーダに統合できます。

承認時には、販売スケジュールの承認 (tdsls3211m000) セッションおよびピックアップシートの承認 (tdsls3211m200) セッションを使用して統合オプションを指定できます。

承認後には、計画済倉庫オーダの統合 (tdsls3220m000) セッションおよび計画済倉庫オーダの統合 (ピックアップシート) (tdsls3220m100) セッションを使用して統合オプションを指定できます。

次の統合オプションを指定できます。

[納入パターンを無視]	-
[過去の所要開始日の移動]	[新規所要開始日]
[非パターン所要開始日の移動]	[新規所要開始日]
[計画済倉庫オーダの結合]	[新規所要開始日]
[オリジナル所要開始日 - 開始]	[オリジナル所要開始日 - 終了]

例

納入パターン: 11 月 7 日、水曜日、午前 11:00 に出荷

本日: 11 月 1 日

スケジュールライン	数量	開始日	所要量
1	3	10 月 31 日、水曜日、午前 7:00	過去
2	5	11 月 5 日、月曜日、午前 7:00	パターンなし
3	2	11 月 7 日、水曜日、午前 11:00	パターン

設定に応じて、たとえば、11 月 5 日、月曜日、午前 11:00 出荷で数量 10 の 1 つの計画済倉庫オーダが作成されます。

計画済倉庫オーダの更新

スケジュールラインの計画済倉庫オーダが存在する場合、スケジュールラインは新しい販売発行を処理することで更新できます。

次の販売スケジュールに対して販売発行を処理すると、次の結果が示されます。

- 非参照スケジュール
新しい販売スケジュール改訂番号
- 参照出荷スケジュール
スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションで [参照出荷スケジュール用のスケジュール改訂] チェックボックスがオンの場合は、新しい販売スケジュール改訂番号
- スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [参照出荷スケジュール用のスケジュール改訂] チェックボックスがオフの場合、更新されたスケジュールライン

- 連続出荷スケジュール
スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションで [連続出荷スケジュールのスケジュール改訂] チェックボックスがオンで、特定の発行のすべての発行ラインで品目、販売オフィス、出荷先取引先、および顧客オーダ番号が同じ場合、新しい販売スケジュール改訂番号
- スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [連続出荷スケジュールのスケジュール改訂] チェックボックスがオフの場合、更新されたスケジュールライン
- ピックアップシートのスケジュール
スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションで [ピックアップシートにリンクするスケジュールのスケジュール改訂] チェックボックスがオンの場合、新しい販売スケジュール改訂番号
- スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [ピックアップシートにリンクするスケジュールのスケジュール改訂] チェックボックスがオフの場合、更新されたスケジュールライン

(計画済) 倉庫オーダの更新

新しいスケジュールラインの改訂またはスケジュールラインの更新を承認する場合、LNにより状況が [ファイナライズ済] または [取消済] 以外の、既存の計画済倉庫オーダが検索されます。

次のデータに基づいて、計画済倉庫オーダが選択されます。

- 非参照 [出荷基準] スケジュール
販売スケジュール計画倉庫オーダリンク (tdsls3521m000) セッションの [スケジュール]、[スケジュールタイプ]、および [所要開始日]
- 非参照 [入庫基準] スケジュール
販売スケジュール計画倉庫オーダリンク (tdsls3521m000) セッションの [スケジュール]、[スケジュールタイプ]、および [所要計画入庫日]
- 参照スケジュール
同じスケジュールとスケジュールタイプの場合、販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションからの [出荷参照]、[顧客スケジュール番号]、および [参照]
- ピックアップシート
同じスケジュールとスケジュールタイプの場合、販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションからの [販売先取引先]、[出荷先取引先]、および [出荷参照]

数量や関連する情報を更新するために、まず最終計画済倉庫オーダが選択されます。既存の計画済倉庫オーダが更新できない場合、新しい計画済倉庫オーダを作成できます。

次のパラメータは、計画済倉庫オーダを作成および更新する処理を制御します。

- 倉庫オーダタイプ (whinh0110m000)
[出庫オーダラインの更新範囲]
- スケジュール条件 (tctrm1131m000)
[新しい計画倉庫オーダを常に自動更新および作成]
- [数量増加に対してのみ追加計画倉庫オーダを作成]

既存の計画済倉庫オーダは更新できる

承認の後、スケジュールラインの更新または新しいスケジュールラインの改訂は、次のように処理されます。

- 計画済倉庫オーダは、販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションで更新されます。

- 既存の計画済倉庫オーダーリンクは、販売スケジュール計画倉庫オーダーリンク (tdsls3521m000) セッションで更新されます。
- 倉庫オーダ (使用可能な場合) は、出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションで更新されます。

注意

数量がゼロのスケジュールラインを承認すると、計画済倉庫オーダとリンクされた倉庫オーダの [状況] が [取消済] に設定されます。非参照スケジュールの新しい改訂が、既存の [出荷基準] スケジュールの [所要開始日] と [入庫基準] スケジュールの [計画入庫日] に一致しないときは、計画済倉庫オーダも取り消されます。

既存の計画済倉庫オーダは更新できない - 新しい計画済倉庫オーダの作成が許可される

承認の後、スケジュールラインの更新または新しいスケジュールラインの改訂は、次のように処理されます。

- 改訂のあるスケジュール
既存の計画済倉庫オーダは更新できませんが、既存の計画済倉庫オーダーリンクの [スケジュール改訂] は販売スケジュール計画倉庫オーダーリンク (tdsls3521m000) セッションで更新されます。このため、既存の計画済倉庫オーダは最新の改訂にリンクされます。
- 新しい計画済倉庫オーダは、販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションで作成され、[オーダ数量] には新しいオリジナルオーダ数量と古いオリジナルオーダ数量の差が表示されます。
- 販売スケジュール計画倉庫オーダーリンク (tdsls3521m000) セッションで、新しい計画済倉庫オーダと新しい販売スケジュールラインの改訂の間に新しいリンクが作成されます。
- 改訂のないスケジュール
既存の計画済倉庫オーダと計画済倉庫オーダーリンクの改訂は更新できません。
- 新しい計画済倉庫オーダは、販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションで作成され、[オーダ数量] には新しいオリジナルオーダ数量と古いオリジナルオーダ数量の差が表示されます。
- 販売スケジュール計画倉庫オーダーリンク (tdsls3521m000) セッションで、新しい計画済倉庫オーダと、同じ販売スケジュールラインの改訂との間に、リンクが以前の計画済倉庫オーダ (改訂 1) として作成されます。

注意

- 改訂された連続出荷スケジュールについて計画済倉庫オーダを更新できない場合、納入が完了した数量または残数量の新しい計画済倉庫オーダを作成することはできません。たとえば、出荷順序 (whinh4520m000) セッションで出荷順序情報を更新するなど、マニュアルで処理する必要があります。
- スケジュール改訂/更新を倉庫処理の更新に使用できず、納入処理でエラーが発生するときは、メッセージが表示されます。必要な場合、納品処理はマニュアルで更新できます。

計画済倉庫オーダの更新のシミュレート

販売スケジュール (改訂) を承認する前に、スケジュールの承認をシミュレートして、既存の計画済倉庫オーダが予定どおり更新されているか確認できます。これにより、変更される内容を確認し、たとえば、マニュアルで変更するか、またはこの販売スケジュール (改訂) を承認せず次の変更スケジュール (改訂) まで待つことができます。

スケジュールのタイプに応じて、販売スケジュールの承認は次のようにシミュレートできます。

- 販売スケジュールの承認 (tdsls3211m000) セッションおよびピックアップシートの承認 (tdsls3211m200) セッションで [承認のシミュレート] チェックボックスをオンにする
- 販売スケジュール (tdsls3611m000)、販売スケジュール (tdsls3111m000)、およびピックアップシート (tdsls3107m100) セッションの適切なメニューで [承認のシミュレート] をクリックする
- 改訂のない参照スケジュールについて、販売発行の処理 (tdsls3208m000) セッションで [承認のシミュレート] チェックボックスをオンにする

計画済倉庫オーダを開く

販売発行を新しいスケジュール改訂に変換する場合、以前と同じ販売スケジュールライン (所要量) 番号が送信されることが想定されます。特定の販売スケジュールラインが、新しい販売スケジュール改訂に対して送信されない場合があります。この場合、この古い販売スケジュールラインへの計画済倉庫オーダリンクが「オープン」のままになります。

この「オープン」の計画済倉庫オーダをまだ更新できる場合、この計画済倉庫オーダの [オーダ数量] は、以前の改訂の販売スケジュール計画倉庫オーダリンク (tdsls3521m000) セッションにある販売スケジュールラインの [オーダ数量] に応じて減らされます。計画済倉庫オーダの数量がゼロになると、その状況は [取消済] に設定されます。

計画済倉庫オーダの納入

状況が [倉庫管理へ発行済] または [部分納入済] の計画済倉庫オーダの納入が実行されると、レコードが販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m000) セッションに挿入されます。計画済倉庫オーダ、倉庫オーダリンク、およびスケジュールラインが納入情報で更新されます。

注意

参照スケジュールの場合、参照配分は販売スケジュール実際納入ライン参照配分 (tdsls3542m000) セッションの実際納入ラインの下で使用可能です。

超過納入

オリジナルオーダより多く納入され、複数のスケジュールラインが 1 つの計画済倉庫オーダにリンクされている場合、超過納入が最新の計画済倉庫オーダリンクと関連するスケジュールラインに登録されます。

出荷済合計金額が最初に注文された合計スケジュール金額を超えている場合、取引先残高が調整されます。

例

スケジュールライン	オーダー数量
10	10
20	30

スケジュールライン 10 と 20 は、オリジナルオーダー数量が 40 の 1 つの計画済倉庫オーダーに統合されます。

数量 50 が納入された場合、以下が適用されます。

- 納入数量 10 がスケジュールライン 1 の計画済倉庫オーダーリンクに登録されます。
- 納入数量 40 がスケジュールライン 2 の計画済倉庫オーダーリンクに登録されます。

不足納入

在庫不足のために、計画済倉庫オーダーのオリジナルオーダー数量が出荷できない場合、販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの次のフィールドにより不足の処理方法が決定されます。

- [出荷規則]
- [出荷および繰越]

[出荷規則]

- [出荷ライン完了]
計画済倉庫オーダーは、全体として納入される必要があります。在庫が不足すると、計画済倉庫オーダーの出荷が延期になります。
- [出荷ラインおよび取消]
有効在庫が出荷されます。在庫が十分な場合は出荷完了になります。在庫が不足すると、残数量の計画済倉庫オーダーが取り消されます。
- [なし]
出荷上の制約はありません。[出荷および繰越] フィールドを定義できます。

[出荷および繰越]

- [No]
品目在庫の不足は、計画済倉庫オーダーのバックオーダーになります。
- [繰越または取消]
残りの所要数量は、同じスケジュールのもっとも早い計画済倉庫オーダーに転送されます。次の計画済倉庫オーダーをこれ以上更新できない場合、残りの所要数量について新しい計画済倉庫オーダーが作成されます。新しい計画済倉庫オーダーは、オリジナル計画済倉庫オーダーにリンクされます。
- 計画済倉庫オーダーが検出されない場合、計画済倉庫オーダーの残りの所要数量は取り消されます。そのため、[取消済数量] は販売スケジュール計画倉庫オーダー (tdsls3520m000) セッションで入力されます。
- [繰越またはバックオーダー作成]
残りの所要数量は、同じスケジュールのもっとも早い計画済倉庫オーダーに転送されます。次の計画済倉庫オーダーをこれ以上更新できない場合、残りの所要数量について新しい計画

済倉庫オーダが作成されます。新しい計画済倉庫オーダは、オリジナル計画済倉庫オーダにリンクされます。

- 次の計画済倉庫オーダが見つからない場合、品目の在庫不足によって計画済倉庫オーダに対するバックオーダが生じます。

注意

計画済倉庫オーダが次の用途に作成された場合、バックオーダは作成できません。または在庫不足は繰り越せません。

- ピックアップシート
- 連続出荷スケジュール
- 倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの [出荷ごとに固有の出荷参照] チェックボックスがオンになっている倉庫オーダにリンクした参照スケジュール
- 統合済参照のある参照スケジュール

これらのスケジュールについては、計画済倉庫オーダの残りの所要数量は取り消されます。

[出荷および繰越] が [No] に設定されている場合

倉庫管理から最終出荷を入庫し、納入数量が計画済バックオーダのオーダ数量より少ない場合、オリジナル計画済倉庫オーダの新しい計画済倉庫オーダが販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションで作成されます。

以下が新しい計画済倉庫オーダに適用されます。

- [バックオーダ (Y/N)] チェックボックスがオンになっています。
- [状況] は [計画済] になっています。
- オリジナル計画済倉庫オーダを参照するために、[親倉庫オーダライン] と [親オーダの倉庫オーダライン連番] フィールドに入力します。
- [所要開始日] と [計画入庫日] はオリジナル計画済倉庫オーダからデフォルト値が取得されます。
- スケジュール条件 (tcctrm1131m000) セッションの [参照スケジュール用にバックオーダを自動発行] チェックボックスまたは [非参照スケジュール用にバックオーダを自動発行] チェックボックスがオンの場合、計画済倉庫オーダは自動的に倉庫管理に発行されます。

[出荷および繰越] が [繰越または取消] または [繰越またはバックオーダ作成] に設定されている場合

倉庫管理から最終出荷を受信し、納入数量が計画済倉庫オーダのオリジナルオーダ数量より少ない場合、次のステップが実行されます。

1. 残りの所要数量は、同じスケジュールのもっとも早い計画済倉庫オーダに転送されます。
[オーダ数量] と [繰越数量] は販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションで更新できます。また、オリジナル計画済倉庫オーダを参照するために、[親倉庫オーダライン] と [親オーダの倉庫オーダライン連番] フィールドに入力します。計画済倉庫オーダリンクの [オーダ数量] と関連するスケジュールラインが更新されます。次の倉庫オーダを出荷すると、超過納入として処理されます。これは、最新の計画済倉庫オーダリンクと最新のスケジュールラインが最初のオーダより多い納入数量で更新されることを意味します。

2. 次の計画済倉庫オーダをこれ以上更新できない場合、残りの所要数量について新しい計画済倉庫オーダが作成されます。新しい計画済倉庫オーダは、オリジナル計画済倉庫オーダと最新のスケジュールラインにリンクされます。
[オーダ数量] は、オリジナル計画済倉庫オーダの残りの所要数量です。
3. 次の計画済倉庫オーダが見つからない場合、[出荷および繰越] フィールドの設定によって次のようになります。
 - [繰越または取消] に設定されている場合、計画済倉庫オーダの残りの所要数量は取り消されます。[取消済数量] は販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000) セッションで入力されます。
 - [繰越またはバックオーダ作成] に設定されている場合、残りの所要数量について新規計画済倉庫オーダが作成されます。新しい計画済倉庫オーダは、オリジナル計画済倉庫オーダにリンクされます。

販売スケジュール手順

販売スケジュール手順

販売スケジュールの主な手順は次のとおりです。

1. 販売発行の作成と更新
2. 販売スケジュールの作成と更新
3. 販売スケジュールの権限の決定と使用
4. 販売スケジュール累計の決定と使用
5. 販売スケジュールの承認
6. 倉庫管理への販売スケジュールまたは計画済倉庫オーダの発行
7. 請求への販売スケジュールまたは計画済倉庫オーダの発行
8. 販売スケジュールの処理

ステップ 1: 販売発行の作成と更新

販売スケジュール手順では、販売先取引先は販売発行を使用して、長期的および短期的なスケジュール所要量について通知します。これらの所要量は電子データ交換 (EDI) やビジネスオブジェクト文書 (BOD) を使用して受信できますが、マニュアルでも指定できます。

販売発行でのスケジュール所要量は、顧客の外部表示を示します。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売発行 (ページ 33)

ステップ 2: 販売スケジュールの作成と更新

販売スケジュール所要量は販売発行の処理 (tdsls3208m000) セッションで、マニュアルで販売スケジュールへと処理できます。または、販売先取引先 (tccom4110s000) セッションの [販売スケジュール発行の自動処理] チェックボックスがオンの場合、自動的に処理できます。販売スケジュールはマニュアルで指定することもできます。

販売スケジュールには、次の条件が該当します。

- 販売スケジュールでのスケジュール所要量は、発注先の内部表示を示します。
- 販売スケジュールラインは、スケジュールに使用される、時間ごとの[所要量タイプ]を表します。この所要量タイプには、[即時]、[確定]、または[計画済]を指定できます。
- 非参照スケジュールの場合、スケジュールの更新は販売スケジュールの改訂番号で処理されます。参照スケジュールの場合、スケジュールの更新は、単純にスケジュールを更新するか、販売スケジュールの改訂番号によって処理できます。
- 販売スケジュールラインは、所要数量がゼロでも受領できます。この場合、該当する販売スケジュールラインはLNにより直接取り消されます。

販売スケジュールデータは、次のセッションで表示できます。

- 販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションの販売スケジュール
- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションの販売スケジュールライン
- ピックアップシート (tdsls3107m100) セッションのピックアップシート
- ピックアップシート (tdsls3107m200) セッションのピックアップシートライン
- 連続出荷情報 (tdsls3517m000) セッションの連続出荷情報

詳細は、次の情報を参照してください:

- EDI と販売スケジュール (ページ 32)
- 販売スケジュールラインの所要量タイプ (ページ 41)
- 販売スケジュールの改訂 (ページ 39)
- 参照販売スケジュール (ページ 35)
- ピックアップシート (ページ 37)
- 販売スケジュールラインのゼロ所要数量 (ページ 44)

ステップ 3: 販売スケジュールの権限の決定と使用

販売スケジュール手順では、所要量タイプに基づいて商品を出荷します。ただし、[確定] 所要量タイプは、以前に受領された[計画済] 所要量タイプと差があってもかまいません。権限が使用されている場合、[確定] 所要量タイプが送信される前に、商品を製造する許可、または商品が実際に必要となるまで特定の数量レベルまで原材料を購入する許可が販売先取引先より与えられます。権限の本質は、商品が必要なくなった場合のリスクを販売先取引先が請負うことにあります。つまり、商品が実際にコールオフされるかどうかに関係なく、加工および/または原材料に対する支払が生じます。

権限数量は、資材発行で受領したスケジュールに対してのみ計算できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの権限 (ページ 45)

ステップ 4: 販売スケジュール累計の決定と使用

販売スケジュール手順では、累計 (CUM) を使用して販売スケジュールの累計数量がモニタされます。

販売スケジュール累計には、次のタイプがあります。

- 出荷済累計
特定の販売スケジュールに関して出荷した合計累計数量。
- 入庫済累計
出荷先取引先が特定の販売スケジュールに関してすでに受領した合計累計数量。

- 請求済累計
特定の販売スケジュールに関して請求した合計累計数量。

非参照販売スケジュールの場合、累計により次のことが可能になります。

- 販売スケジュールの納入の過不足をチェックおよび調整する
- 取引先の入庫済累計が出荷済累計に一致するかどうかをモニタする。一致しない場合、不一致を解決できます。

LN:

- [資材発行]、参照スケジュール、ピックアップシート、および納入契約の超過納入または不足納入はチェックまたは調整されません。
- [資材発行] および [出荷スケジュール] の入庫済累計と出荷済累計だけが照合されます。
- [ピックアップシート] の販売スケジュール累計は計算されません。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 販売スケジュール累計 (ページ 46)
- 販売スケジュールの調整 (ページ 54)
- 販売スケジュールの調整 (ページ 60)

ステップ 5: 販売スケジュールの承認

販売スケジュールを実際に処理できるようにするには、[作成済] 状況の販売スケジュールを承認する必要があります。販売スケジュールは、承認されると [承認済] 状況になります。

販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンの場合、販売スケジュールが承認されると、計画済倉庫オーダーが作成されます。

非参照販売スケジュールの場合、承認処理時には次のようになります。

- 販売スケジュールの納入の過不足をチェックおよび調整できます。
- LN により販売スケジュールが調整されます。調整は、取引先の [入庫累計] が [出荷累計] と一致するかどうかをチェックすることを意味しています。累計が一致しない場合、解決する必要がある不一致が生成されます。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 販売スケジュールの承認 (ページ 58)
- 計画済倉庫オーダー (ページ 18)
- 販売スケジュールの調整 (ページ 54)
- 販売スケジュールの調整 (ページ 60)

ステップ 6: 倉庫管理への販売スケジュールの発行

販売スケジュールの承認または計画済倉庫オーダーは倉庫管理に発行する必要があります。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールと倉庫 (ページ 70)

ステップ 7: 請求への販売スケジュールの発行

販売スケジュールラインまたは計画済倉庫オーダーによってオーダーされている品目を (一部) 出荷する場合、納入済商品を請求できます。請求書を送付するには、販売スケジュールまたは計画済倉庫オーダーを請求に発行する必要があります。

請求訂正記録を請求に発行することもできます。たとえば、出荷時に出荷済品目が紛失し、それらの紛失した品目に対して取引先に支払わせたくない場合などです。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールと請求 (ページ 72)

ステップ 8: 販売スケジュールの処理

販売スケジュールラインの請求書が送付された後、その販売スケジュールラインの状況は [請求済] になります。[請求済] 状況のラインのある販売スケジュールは、納入済販売スケジュールの処理 (tdsls3223m000) セッションを使用して処理できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの処理と削除 (ページ 74)

注意

- 販売スケジュール (tdsls3611m100) セッションを使用して、注意が必要な販売スケジュールのみにフィルタし、そのスケジュールラインに適切なアクションを実行できます。たとえば、未承認または未納入で期日が迫っているスケジュールライン、または期日 ([開始日]) を過ぎたスケジュールラインを表示します。
- ある品目の取引先との関係がすでに終了している場合、または取引先との間でロジスティック合意条件を変更する場合は、販売スケジュールを終了できます。詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの終了 (ページ 76)

EDI と販売スケジュール

販売先取引先または出荷先取引先から送信された受信 EDI メッセージは、販売先取引先の所要量を納入するために販売スケジュールを処理する際の基準になる情報を提供します。

次の EDI メッセージを使用して、販売先取引先または出荷先取引先からデータを販売スケジュールにインポートします。

資材発行

資材発行メッセージには、BEM MRL001 (BEMIS) などがあります。このメッセージでインポートされたデータには、取引先 (たとえば、MRP) からの長期計画の情報が含まれています。

出荷スケジュール

出荷スケジュールメッセージには BEM SHP001 (BEMIS) などがあります。このメッセージでインポートされたデータには、短期のオーダー情報が含まれています (たとえば、次の 2 週間の所要量)。

連続出荷スケジュール

連続出荷スケジュールメッセージには BEM SEQ001 (BEMIS) などがあります。このメッセージには、BEM SHP001 メッセージと同じデータが含まれていますが、さらに資材を納入ドックで積荷降する際の指定の順序も含まれています。

注意

受信した EDI メッセージは、自動または対話式で処理できます。これまで説明した EDI メッセージが処理されると、受信したデータが販売発行および販売スケジュールセッションに渡されます。

販売発行

販売発行は、顧客の販売スケジュール要件を発行タイプ別にグループ化するために使用されます。販売発行は通常、電子データ交換 (EDI) によって受信されますが、マニュアルで指定したり、ビジネスオブジェクト文書 (BOD) で受信したりできます。販売発行または別個の発行ラインは処理され、販売スケジュールに変換できます。販売発行は、スケジュール所要量に関する外部顧客を表示し、販売スケジュールは内部発注先を表示します。

販売発行改訂により、取引先に送られた更新が識別されます。

次の特徴の特定の組合せについて作成された最初の実行は、販売発行改訂番号 1 になります。

- [販売先取引先]
- [出荷先取引先]
- [出荷先住所]
- [発行タイプ]
- [出荷または在庫基準]
- [スケジュール数量タイプ]
- [販売発行発生元]
- [顧客発行]

これらの特徴について新規の実行改訂が作成される場合は、改訂番号 2 を使用して販売発行改訂が作成され、以下同様に改訂番号が割り当てられます。

注意

販売先取引先 (tccom4110s000) セッションで [販売スケジュール発行の自動処理] チェックボックスがオフの場合、販売発行の処理 (tdsls3208m000) セッションで販売スケジュールが変換される前に販売発行を更新できます。[販売スケジュール発行の自動処理] チェックボックスがオンの場合、販売発行は自動的に販売スケジュールに変換されます。つまりその後更新ができなくなります。

販売発行タイプと販売スケジュールタイプ

販売発行と販売スケジュールは、次に特定のタイプになります。販売発行に含めることができるのは、同じタイプの販売スケジュールのみです。

利用可能なタイプは次のとおりです。

- [資材発行]
取引先から提供された長期および中期 (一般に数ヶ月) の計画情報。一般に、資材発行は計画発行と考えることができます。ただし、非参照スケジュールの場合、資材発行に実際のオーダが含まれる場合があります。この場合、発行は出荷能力のある資材発行と呼ばれます。
- [出荷スケジュール]
送信された短期で詳細な情報と固定情報を含む出荷発行。この情報は、ジョブショップの所要量、その他のオーダなどに基づいて収集されます。出荷スケジュールにはオーダ処理情報が含まれ、実際納入に関する情報を取得できます。この販売スケジュールタイプは非参照販売スケジュールおよび参照販売スケジュールに使用できます。
- [連続出荷スケジュール]
通知された短期の (通常 20 日間で、5 日間は固定) 連続出荷情報。連続出荷スケジュールは、所要量の生産または納入についての正確な情報を持つ資材発行または出荷スケジュールの補足情報です。これらのスケジュールには、製造順序や納入順序のほか、出荷後の積

荷降のオーダ、場所、時間などを含めることができます。この販売スケジュールタイプは販売スケジュールが非参照の場合のみ使用できます。

- [ピックアップシート]
短期では、集荷情報は取引先から供給されます。ピックアップシートは、特定の日に顧客に輸送するために、特定の運送業者が発注先のサイトで集荷する品目リストを含む文書です。通常、これらは1日の所要量です。[ピックアップシート]タイプの販売発行は、[出荷スケジュール]タイプの参照販売スケジュールに変換されます。

注意

特定品目と取引先の組合せに対して受信可能な販売スケジュールタイプは、次のいずれかです。

- 販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの [スケジュールメッセージタイプ] グループボックス内のフィールド設定
- 品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションの [EDI メッセージ] フィールド

販売発行データは、次のセッションで表示できます。

販売発行タイプ	販売発行	発行ライン	発行ライン詳細
[資材発行]	販売発行概要 (tdsls3512m000)	販売発行ライン (tdsls3508m000)	販売発行ライン詳細 (tdsls3515m000)
[出荷スケジュール]	販売発行概要 (tdsls3512m000)	販売発行ライン (tdsls3508m000)	販売発行ライン詳細 (tdsls3515m000)
[連続出荷スケジュール]	販売発行概要 (tdsls3512m000)	販売発行ライン - 連続出 - 荷スケジュール (tdsls3116m000)	
[ピックアップシート]	販売発行概要 (tdsls3512m000)	資材発行ライン - ピック アップシート (tdsls3109m000)	販売発行ライン詳細 - ピックアップシート (tdsls3116m100)

注意

販売発行 (tdsls3612m100) セッションおよび販売発行 (tdsls3612m000) セッションを使用して、販売発行データを表示、入力、およびメンテナンスすることもできます。

販売発行ライン

販売発行ラインが販売スケジュールと販売スケジュールラインのどちらを参照するかは、発行タイプによって決まります。発行タイプによって、参照は次のようになります。

- [資材発行] または [出荷スケジュール] の場合、販売発行ラインは販売スケジュールを参照します。
- [連続出荷スケジュール]、販売発行ラインは、販売スケジュールヘッダ、販売スケジュールラインおよび連続出荷情報を参照します。

- [ピックアップシート]、販売発行ラインは、運送業者および出荷参照の組合せを参照します。

販売発行ライン詳細

発行タイプによって、参照は次のようになります。

- [資材発行] または [出荷スケジュール]、販売発行ライン詳細は販売スケジュールラインを参照します。
- [ピックアップシート]、販売発行ライン詳細は、販売スケジュールヘッダ、販売スケジュールライン、およびピックアップシートラインを参照します。

参照販売スケジュール

参照販売スケジュールに関して、スケジュール所要量が (出荷) 参照に基づいて通信されます。

- [参照] は、特定の所要量を識別するために使用します。その所要量は、取引先が組立ラインの特定のラインステーションで特定の順番に要求するものです。
- [出荷参照] は、出荷の識別に使用されます。ピックアップシートを使用している場合は、出荷参照で、リンクされた販売スケジュールラインのピックアップシートも識別できます。

参照販売スケジュールの場合、販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションの [参照スケジュール] チェックボックスがオンになります。

注意

- 販売スケジュールラインは、[参照] ごとに 1 つ作成できます。
- [出荷参照] ごとに、販売スケジュールラインが複数存在できます。

マスタデータ

参照スケジュールを使用するには、次のマスタデータの設定が必要です。

- 品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000)
[参照スケジュール] チェックボックスをオンにします。
- [EDI メッセージ] フィールドを [出荷スケジュール]、[出荷スケジュールのみ]、または [連続出荷スケジュール] に設定します。
- 販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000)
[参照スケジュール] チェックボックスをオンにします。
- [出荷スケジュールの使用] チェックボックス、[連続出荷スケジュールの使用] チェックボックス、または [ピックアップシートの使用] チェックボックスをオンにします。

販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスによりマスタデータを取得するセッションが決定されます。

スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [参照出荷スケジュール用のスケジュール改訂] チェックボックスにより、参照スケジュールの更新の処理方法が決まります。

- このチェックボックスがオンの場合、新しい販売スケジュール改訂番号が作成されます。
- このチェックボックスがオフの場合、販売スケジュールが更新されます。更新を追跡するため、販売スケジュールラインの更新は改訂として販売発行ライン詳細 (tdsls3515m000) セッションに保存されます (スケジュールラインがマニュアルで指定または更新されてい

ない限り)。このセッションの適切なメニューから、販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションを開始し、販売発行ライン詳細レコードが参照する販売スケジュールラインを表示できます。

注意

販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) の [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンの場合、計画済倉庫オーダーラインを複数の参照スケジュールラインにリンクできます。参照は計画済倉庫オーダーの参照配分 (tdsls3522m000) セッションおよび販売スケジュール実際納入ライン参照配分 (tdsls3542m000) セッションに保存されます。

ピックアップシートの参照出荷スケジュール

[出荷スケジュール] タイプの参照販売スケジュールはピックアップシートに対して作成できます。詳細は、次の情報を参照してください: ピックアップシート (ページ 37)

参照連続出荷スケジュール

[連続出荷スケジュール] タイプの参照販売スケジュールは連続出荷スケジュールに対して作成できます。

[連続出荷スケジュール] タイプの参照販売スケジュールラインが作成された場合、次の情報が挿入されます。

- 連続出荷情報 (tdsls3517m000) セッションの連続出荷情報によって、出荷先取引先が特定のラインステーションの組立ラインで品目を必要とする順番についての情報が通知されます。
- 倉庫管理に発行後の出荷順序 (whinh4520m000) セッションの連続出荷の詳細。このセッションでは、各参照の出荷順序データを表示できます。商品は、このセッションで指定されている順番で出荷する必要があります。出荷順序情報の最後の改訂のみ表示されます。

販売スケジュールラインごとに出荷順序詳細ラインが 1 つずつ作成されます。出荷順序詳細の詳細は、販売スケジュールと倉庫 (ページ 70)を参照してください。

連続出荷スケジュールの更新を受信した場合、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [連続出荷スケジュールのスケジュール改訂] チェックボックスで更新の処理方法を決定します。

- このチェックボックスがオンの場合、新しい販売スケジュール改訂番号が作成されます。
- このチェックボックスがオフの場合、販売スケジュールが更新されます。更新を追跡するために、販売スケジュールラインの更新は改訂として連続出荷情報 (tdsls3517m000) セッションに保存されます。

参照販売スケジュールの詳細

参照販売スケジュールは、マニュアルまたは自動で承認できます。詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの承認 (ページ 58)

注意

参照販売スケジュールに調整は実行されません。

ピックアップシート

ピックアップシートは、単一出荷の出荷先顧客と指定日付について、運送業者が発注先サイトでピックアップする必要がある品目のリストです。このシートは、出荷参照と呼ばれる特別な参照番号によって識別されます。これは、顧客が作成する情報です。この参照番号は、ピックアップシート、出荷、および支払を識別するために使用します。多くの場合、出荷データにはピックアップシートの所要量のリストが含まれていますが、ピックアップシートで要求された商品は、いくつかの販売スケジュールに分けられます。

販売スケジュール要件は、次の特徴に基づいてピックアップシートでグループ化されます。

- [販売先取引先]
- [出荷先取引先]
- [出荷参照]
- [運送業者/LSP]
- [開始日]
- [終了日]

ピックアップシートには次の条件があります。

- 超過納入は認められません。
- 販売スケジュールにリンクされている契約は、販売スケジュールに、ピックアップシートの所要量を追加できるようにするかどうかを決定するために使用されます。
- ピックアップシートは確定事項とみなされるため、自動的に更新または修正することはできません。ただし、未承認のピックアップシートはマニュアルで修正できます。

ピックアップシートの手順には、次のステップが含まれます。

ステップ 1: ピックアップシートのマスタデータの指定

ピックアップシートを使用できるのは、販売スケジュールがリンクされている販売契約で販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの次のチェックボックスがオンになっている場合のみです。

- [参照スケジュール]
- [出荷参照の使用]
- [ピックアップシートの使用]

ステップ 2: 販売発行の作成と更新

ピックアップシートは、次のセッションを使用して受信または指定できます。

- 販売発行概要 (tdsls3512m000)
- 資材発行ライン - ピックアップシート (tdsls3109m000)
- 販売発行ライン詳細 - ピックアップシート (tdsls3116m100)

ステップ 3: ピックアップシートの作成と更新

[ピックアップシート] タイプの販売発行は、販売発行の処理 (tdsls3208m000) セッションの [出荷スケジュール] タイプの参照販売スケジュールでマニュアルで処理するか、または自動的に処理できます。これは、販売先取引先 (tccom4110s000) セッションの [販売スケジュール発行の自動処理] チェックボックスの設定を基に処理されます。

ピックアップシートの販売スケジュールが作成されると、以下が実行されます。

- 販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで、販売スケジュールの [参照スケジュール] と [ピックアップシートにリンク] チェックボックスがオンになります。
- ピックアップシート (tdsls3107m100) セッションで、取引先、運送業者、および参照データを含むピックアップシートヘッダ情報が参照可能になります。
- ピックアップシート (tdsls3107m200) セッションで、品目、数量、および日付データを含むピックアップシートライン情報が参照可能になります。ピックアップシートラインは販売スケジュールラインを参照します。ピックアップシートラインをダブルクリックすると販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションのラインデータが表示されます。

更新されたスケジュールを受信した場合、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [ピックアップシートにリンクするスケジュールのスケジュール改訂] チェックボックスに従って、スケジュールを更新する処理が決定されます。

- このチェックボックスがオンの場合、販売スケジュール改訂番号が作成されます。
- このチェックボックスがオフの場合、販売スケジュールが更新されます。販売スケジュールラインの更新は改訂として販売発行ライン詳細 - ピックアップシート (tdsls3116m100) セッションに保存されます。

ステップ 4: ピックアップシートの承認

ピックアップシートライン数量を納入するには、[作成済] 状況のピックアップシートを承認する必要があります。ピックアップシートは、自動的に承認されるか、ピックアップシートの承認 (tdsls3211m200) セッションでマニュアルで承認できます。これは、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションまたは販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの [参照済販売スケジュールの自動承認] チェックボックスの設定によって決まります。

ピックアップシートが承認されると、販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンの場合、計画済倉庫オーダが作成されます。

注意: 1 つのピックアップシートは複数の販売スケジュールにリンクできます。また、関連するラインに異なる販売スケジュールの販売スケジュールラインデータを含めることができます。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 販売スケジュールの承認 (ページ 58)
- 計画済倉庫オーダ (ページ 18)

ステップ 5: 倉庫管理へのピックアップシートの発行

承認済ピックアップシートまたはピックアップシートの計画済倉庫オーダは、倉庫管理に発行されます。これらのシートは、ピックアップシートを倉庫に発行 (tdsls3207m100) セッションを使用してマニュアルで発行することもできます。これは、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [参照販売スケジュールをオーダに自動発行] チェックボックスの設定によって決まります。

倉庫管理では、ピックアップシート数量を最終輸送オーダに転換でき、それが運送業者に通信されます。この輸送オーダに基づき、輸送計画と経路が最適化され、ピックアップシートの運送業者用コピーが作成されます。

また、ピックアップシートを処理して、出荷を準備し、適切な納入文書を作成し、商品を発送ゾーンに転送できます。輸送用に品目がピックアップされると、運送業者は、発送確定済商品の数量、

顧客品目コード、扱い単位を確認し、商品を顧客に転送します。オプションで、顧客に商品の発送を通知できます。

商品の一部しか納入できない場合は、バックオーダーを作成できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールと倉庫 (ページ 70)

ステップ 6: 支払いの受領

商品の入庫に基づいて発生する支払は、通常自己請求によって実行されます。支払通知は、あなたと運送業者に送付されます。

詳細は、次の情報を参照してください: 自己請求

[出荷参照] に基づき、販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) セッションを使用して、ピックアップシートまたはピックアップシートの計画済倉庫オーダーを請求にすることもできます。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールと請求 (ページ 72)

ステップ 7: 販売スケジュールの処理

納入済販売スケジュールの処理 (tdsls3223m000) セッションで、[請求済] 状況の販売スケジュールを処理できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの処理と削除 (ページ 74)

販売スケジュールの改訂

販売スケジュール改訂番号は、販売スケジュールの改訂を識別するために使用されます。それらの改定は、取引先によって送付された販売スケジュールの更新を示しています。

注意

デフォルトでは、非参照販売スケジュールの改訂番号が使用されます。

参照スケジュールについては、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの次のチェックボックスにより、改訂番号を適用するかどうかが決まります。

- [参照出荷スケジュール用のスケジュール改訂]
- [連続出荷スケジュールのスケジュール改訂]
- [ピックアップシートにリンクするスケジュールのスケジュール改訂]

最初の販売スケジュールが、次のフィールドの特定の組合せについて作成されると、その値が販売スケジュール改訂番号に割り当てられます。

- [販売先取引先]
- [出荷先取引先]
- [品目]
- [販売オフィス]
- [請求先取引先]
- [回収先取引先]
- [スケジュールタイプ]
- [参照スケジュール]
- [契約]

- [契約位置]
- [契約オフィス]
- [顧客オーダ] (販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションで [顧客オーダをスケジュールに使用] チェックボックスがオンになっており、販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションで [偏差のある顧客オーダへのアクション] が [ブロック] に設定されている場合)
- [顧客契約参照] (販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションで [顧客契約参照をスケジュールに使用] がオンになっている場合)

これらのフィールドについて新しい販売スケジュールを受信すると、販売スケジュール改訂が作成されて改訂番号は 2 になります。その後も同様に改訂番号が割り当てられます。

連続出荷スケジュールの場合、特定の発行のすべての発行ラインで品目、販売オフィス、出荷先取引先、顧客オーダ番号、および顧客契約参照が同一の場合にだけ、新しいスケジュール改訂が作成されます。

新しい販売スケジュールの改訂が承認された場合、前の販売スケジュール改訂と所要量は有効ではなくなります。この販売スケジュールの改訂はアプリケーションによって交換されます。古い販売スケジュール改訂にリンクされた販売スケジュールラインには、スケジュールラインの現在の状況とリンクされた出庫オーダラインの存在に基づいて、[交換済] 状況を割り当てることができます。

許可されている交換

販売スケジュール改訂が交換される場合、関連する販売スケジュールラインの状況が [作成済]、[調整済]、または [承認済] であれば、販売スケジュールラインの状況が [交換済] に設定されます。

注意

販売スケジュールラインが承認済のとき、次の場合に、承認処理の結果が取り消されます。

- スケジュールラインの状況が [承認済]
- スケジュールラインの状況が [オーダ生成済] で、スケジュールラインの出庫処理がまだ開始されていない場合

許可されていない交換

販売スケジュール改訂が交換され、リンクされた販売スケジュールラインの状況が [納入済]、[請求への発行]、または [請求済] であれば、これらの販売スケジュールラインの状況が [処理済] に設定されるように、販売スケジュール手順を終了する必要があります。

これらのスケジュールラインは、現在の改訂が無効となっても、前の改訂に基づいて処理する必要があります (処理が進行し過ぎているため)。

制限のある交換

販売スケジュールラインが倉庫管理に発行された場合、関連する出庫オーダラインによって販売スケジュールラインを交換できるかどうかが決まります。

倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの [出庫処理] タブを使用して、出庫オーダラインの更新、取消、および削除を許可する期間を指定できます。

販売スケジュール状況

販売スケジュールを交換する場合、関連する販売スケジュールラインの状況に基づいて、販売スケジュール状況が更新されます。

- いずれかの販売スケジュールラインの状況が [処理済] または [交換済] ではない場合、販売スケジュールの状況が [交換処理中] に設定されます。
- すべての販売スケジュールラインの状況が [処理済] または [交換済] の場合、販売スケジュールの状況が [交換済] に設定されます。

倉庫オーダから販売スケジュール改訂を分離する場合、計画済倉庫オーダを使用できます。計画済倉庫オーダは販売スケジュールラインの改訂を処理し、販売スケジュールライン (改訂) と、計画済倉庫オーダが発行される実際倉庫オーダとの間のリンクを維持します。詳細は、次の情報を参照してください: 計画済倉庫オーダ (ページ 18)

古い販売スケジュール改訂は販売スケジュール改訂の削除 (tdsls3212m000) セッションで削除できます。

販売スケジュールの改訂間の差異は、販売スケジュール差異の出力 (tdsls3415m000) セッションで出力できます。

販売スケジュールラインの所要量タイプ

所要量タイプは、スケジュールに使用される、時間ごとの所要量を表します。

販売スケジュールラインでは、次の所要量タイプを通信できます。

- [即時]
これらのスケジュール所要量には、作成時点での過去の開始日があります。このため、納入数量の不足となります。これらの所要量はできるだけ早く出荷する必要があります。
- [確定]
これらのスケジュール所要量は、出荷可能な実際オーダとして処理されます。
- [計画済]
これらのスケジュール所要量は、計画目的のみで送付されます。

注意

- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションの [所要量タイプ] フィールドの値により、販売スケジュールラインを承認したときに実行されるアクションが決まります。販売スケジュールの承認の詳細については、販売スケジュールの承認 (ページ 58) を参照してください。
- [所要量タイプ] が [確定] でも、販売スケジュールラインの [開始日] がシステム日付より前の場合、[所要量タイプ] が [即時] に決定されます。

スケジュールタイプと所要量タイプ

販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスにより、販売スケジュールのタイプと入庫可能な所要量を決定するためのデータを、どのセッションから取得するのかが決定されます。

- [スケジュールに契約を使用] はオフになっています。
データは品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションから取得されます。

- [スケジュールに契約を使用] はオンになっています。
データは販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションから取得されます。

品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000)

[所要量タイプ] は、次のように決定されます。

[スケジュールタイプ]	[EDI メッセージ]	[所要量タイプ]
[出荷スケジュール]	[出荷スケジュールのみ]	[確定] または [即時]
[資材発行]	[出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール]	[計画済]
[資材発行]	[資材発行]	[処理タイムフェンス]

販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000)

[所要量タイプ] は、次のように決定されます。

スケジュールメッセージタイプ					[スケジュールタイプ]	[所要量タイプ]
[資材発行の使用]	[確定所要量の資材発行の使用]	[出荷スケジュールの使用]	[連続出荷スケジュールの使用]	[ピックアップシートの使用]		
あり	なし	あり	あり	あり	[出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール]	[確定] または [即時]
あり	なし	あり	あり	あり	[資材発行]	[計画済]
あり	あり	適用なし	適用なし	適用なし	[資材発行]	[処理タイムフェンス] に依存
なし	なし	あり	適用なし	適用なし	[出荷スケジュール]	[確定] または [即時]
なし	適用なし	なし	あり	なし	[連続出荷スケジュール]	[確定] または [即時]
なし	なし	適用なし	適用なし	あり	[出荷スケジュール]	[確定] または [即時]

[処理タイムフェンス]

資材発行のみを使用する場合は、[所要量タイプ] は [処理タイムフェンス] フィールドの値によって決まります。

- [全ライン]
[所要量タイプ] は、[確定] です。
- [FAB 期間のライン]
販売スケジュールラインの [開始日] が FAB 期間の終了日より前の場合、[所要量タイプ] は [確定] になります。
- 販売スケジュールラインの [開始日] が FAB 期間の終了日より後の場合、[所要量タイプ] は [計画済] になります。
- [確定期間のライン]
[所要量タイプ] は [顧客の所要量タイプ] と一致しています。

凡例

- [処理タイムフェンス] は、品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションと販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションで指定されます。
- [EDI メッセージ] は、品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションで指定されます。

- [スケジュールメッセージタイプ] は、販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションで指定されます。
- [スケジュールタイプ] は、販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで指定されます。
- [顧客の所要量タイプ] は、販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションで指定されます。
- FAB 期間は、販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで指定された販売スケジュールの [生成日] に、品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションまたは販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの [FAB 期間] フィールドで指定された日数を加えた期間です。

販売スケジュールラインのゼロ所要数量

販売スケジュールラインは、所要数量がゼロでも受領することができます。販売スケジュールライン数量は、販売スケジュール手順が完了したときに 0 に変更できます。販売スケジュールの所要数量が 0 になると、販売スケジュールラインまたは計画済倉庫オーダの取消が実行されます。

販売スケジュールラインは、次の場合に所要数量がゼロになることがあります。

- 販売スケジュールが「調整済」になっている。詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの調整 (ページ 54)
- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションで、所要数量をマニュアルでゼロに減らした
- 処理された販売発行には、スケジュールラインの数量 0 が含まれています。

販売スケジュールラインまたは計画済倉庫オーダを取消できるかどうかは、販売スケジュールラインまたは計画済倉庫オーダの現在の状況によって決まります。

許可されている取消

状況が [作成済]、[調整済]、または [承認済] の販売スケジュールラインおよび状況が [計画済] の計画済倉庫オーダは、常に取り消すことができます。

注意

販売スケジュールラインがすでに承認処理で承認されていると、スケジュールラインが次の場合、承認処理の結果は取り消されます。

- [承認済] 状況の場合
- [オーダ生成済] 状況で、スケジュールラインの出庫処理がまだ開始されていない場合

許可されていない取消

状況が [納入済]、[請求への発行]、または [請求済] の販売スケジュールラインおよび状況が [ファイナライズ済]、[請求への発行済]、または [請求済] の計画済倉庫オーダは取り消すことができません。状況が [処理済] になるまで、販売スケジュール手順を終了する必要があります。

制限のある取消

販売スケジュールラインとリンクされた計画済倉庫オーダが倉庫管理に発行される場合、関連する出庫オーダラインによって、計画済倉庫オーダ/販売スケジュールラインを取り消すことができるかどうかが決まります。

注意

倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの [出庫処理] タブで、いつまで出庫オーダラインの更新、取消、および削除が許可されるかを指定できます。

オーダ生成済または倉庫管理へ発行済の状況

以下は、状況が [オーダ生成済] の販売スケジュールライン、または状況が [倉庫管理へ発行済] の計画済倉庫オーダに適用されます。

- 出庫オーダラインを取り消すことができる場合、出庫オーダラインは削除され、計画済倉庫オーダ/販売スケジュールラインの状況は [取消済] になります。
- 出庫オーダラインを取り消すことができる場合、出庫オーダラインと計画済倉庫オーダは [取消済] に設定され、販売スケジュールラインの状況は [取消処理中] になります。
- [取消済] に設定されている出庫オーダラインの状況が [出荷済] の場合、販売スケジュールラインの状況は [取消済] になります。

一部出荷または部分納入済の状況

以下は、状況が [一部出荷] の販売スケジュールラインまたは状況が [部分納入済] の計画済倉庫オーダに適用されます。

- 残りの数量の出庫オーダラインを削除できる場合は、計画済倉庫オーダの状況は [ファイナライズ済] になり、販売スケジュールラインの状況は [納入済] になります。
- 残りの数量の出庫オーダラインを取り消すことができない場合は、出庫オーダラインの状況は [取消済] になり、販売スケジュールラインは [一部出荷] 状況のままとなります。 [取消済] の出庫オーダラインが [出荷済] 状況になると、販売スケジュールラインは [納入済] 状況になります。
- 計画済倉庫オーダ数量の取り消された部分が計画済倉庫オーダ上で更新され、 [取消済数量] として更新されます。計画済倉庫オーダにリンクされている販売スケジュールラインの状況は [納入済] になります。
- 取り消された計画済倉庫オーダにリンクされた販売スケジュールラインには、取消履歴レコードが存在します。これらの履歴レコードの取消済数量の合計は、リンクする計画済倉庫オーダの取消済数量と同じです。

販売スケジュール累計および権限

販売スケジュールの権限

販売スケジュール品目は、所要量タイプに基づいて出荷されます。ただし、[確定] 所要量タイプは、以前に受領された [計画済] 所要量タイプと差があってもかまいません。

権限を使用する場合、販売先取引先は、[確定] 所要量タイプを通知する前に、一定の数量レベルまで商品を加工するか、または原料を購入する許可を付与します。このプロセスを使用すると、販売先取引先は、商品がコールオフされたかどうかに関係なく、加工または原料もしくは両方について支払う必要があります。

利用できる権限のタイプは次のとおりです。

- FAB 権限
販売スケジュールで必要とされる品目の数量の製造を開始する有効な権限

- 高度 FAB 権限
特定の販売スケジュールに関して取引先から与えられる最高の FAB 権限で、最新の累計リセット日からカウントされます。取引先は、製造されたが出荷されていない品目のこの数量について支払の義務があります。
- RAW 権限
販売スケジュールで要求されている品目数量の製造に必要な原材料を購入するための権限
- 高度 RAW 権限
特定の販売スケジュールに関して取引先から与えられる最高の RAW 権限で、最新の累計リセット日からカウントされます。取引先は、品目のこの数量について購入した原材料について支払の義務があります。

注意

- 販売では、取引先から権限を受け取るため、LN により FAB または RAW 権限値は計算されません。
- FAB 権限と RAW 権限は資材発行についてのみ通知されます。
- 高度 FAB 権限と高度 RAW 権限は、販売先取引先から通知されません。送付済の FAB/RAW 権限で最も高いものが検索され、これらの値が計算されます。

入庫権限

販売先取引先から販売スケジュールに関する FAB/RAW 権限を受け取ります。このため、販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで受け取った FAB/RAW 権限は、取引先の購買発行ラインにリンクされている FAB/RAW 権限を反映します。販売スケジュールが承認されると、FAB/RAW 権限 (tdsls3134m000) セッションで受け取った FAB/RAW 権限が保存されます。

取引先が、LN を使用する場合、FAB/RAW 権限を決定する方法の詳細については購買スケジュール権限

権限のリセット

権限をどのようにいつリセットするのかは、スケジュール条件 (tctrm1131m000) の [累計の同期] チェックボックスの値によって異なります。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの権限のリセット

高度 FAB 権限および高度 RAW 権限のリセット

高度 FAB 権限および高度 RAW 権限は、品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) および販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの [権限の処理] パラメータの設定に基づいてリセットされます。

詳細は、次の情報を参照してください: 高度 FAB 権限および高度 RAW 販売スケジュール権限のリセット

販売スケジュール累計

累計 (CUM) は、会計年度初日から今日までの出荷済、入庫済、および請求済数量についての合計です。累計を使用して、販売スケジュールが需要に比べてスケジュールが進んでいるか遅れているかを追跡できます。

販売スケジュール累計には、次のタイプがあります。

- 出荷累計
特定の販売スケジュールに関して出荷した合計累計数量。出荷済累計は出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションと販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで表示できます。
- 入庫累計
出荷先取引先が特定の販売スケジュールに関してすでに受領した合計累計数量。入庫済累計は出荷済累計 (tdsls3532m000) セッション、販売スケジュール (tdsls3111m000) セッション、および FAB/RAW 権限 (tdsls3134m000) セッションで表示できます。
- 請求累計
特定の販売スケジュールに関して請求した合計累計数量。請求済累計は請求済累計 (tdsls3533m000) セッションと販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで表示できます。

注意

販売スケジュールが条件合意にリンクされた販売契約に基づく場合、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションで次の操作をします。

- [出荷済累計の更新方法] フィールドを使用して、いつ出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションで出荷済累計を更新するかを定義します。
- [最終出荷 ID の定義方法] フィールドを使用して、入庫累計の計算に使用する最終出荷の設定方法を定義します。

スケジュール累計の同期

- 累計モデル基準
顧客および発注先の両方が LN を使用してスケジュール所要量を通信する場合、出荷累計はマニュアルで更新します。累計データは、オーダ基準または入庫基準の累計モデルに基づいて同期されます。詳細は、次の情報を参照してください: 累計モデルに基づく累計の同期 (ページ 48)
- 外部構成要素データ基準
外部構成要素がスケジュール所要量を LN に送信する場合、出荷累計は外部構成要素によって更新できます。この場合、外部構成要素から受領された累計データを使用して累計が同期されます。詳細は、次の情報を参照してください: 外部構成要素データに基づく累計の同期 (ページ 51)

販売スケジュール累計の使用

販売スケジュール手順では、累計は次の目的で使用されます。

- 合計累計数量を追跡するため
- 販売スケジュールの納入の過不足をチェックおよび調整するため詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの調整 (ページ 54)
- 取引先の入庫済累計が出荷済累計と一致するかどうかをモニタするには一致しない場合、不一致が生成され、この不一致は解決する必要があります。詳細は、次の情報を参照してください: 販売スケジュールの調整 (ページ 60)

注意

- 参照販売スケジュール、資材発行、ピックアップシート、および納入契約の超過納入または不足納入はチェックまたは調整されません。
- 外部構成要素データに基づいて販売スケジュール累計を同期すると、引き続き調整機能を実行できます。ただし、スケジュール調整は外部構成要素によっても処理される可能性があるため、これは論理的ではありません。
- 外部構成要素データに基づいて累計を同期する場合、販売スケジュール調整機能は適用されません。

累計モデルに基づく累計の同期

顧客と発注先の両方がLNを使用してスケジュール所要量を通信する場合、累計はオーダ基準または入庫基準の累計モデルに基づいて同期され、その定義は品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) または販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの [累計モデル使用] フィールドで行うことができます。

これらモデルの使用方法的詳細は、販売スケジュールの調整 (ページ 54) を参照してください。

注意

販売スケジュールが条件契約にリンクする販売契約に基づく場合、また、スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションで、[累計の同期] チェックボックスがオンになっている場合、累計は外部構成要素から受信した累計データに基づいて同期されリセットされます。詳細は、次の情報を参照してください: 外部構成要素データに基づく累計の同期 (ページ 51)

累計のリセット

長期にわたると、累計は非常に高い値に増加することがあります。これらの値を減らすには、累計のリセット (tdsls3230m000) セッションで累計をリセットします。通常このリセットは年末に実行されますが、累計は年の変わり目では正確にリセットできません。このため、リセット日の後に、累計セッションで更新を保存することができます。リセット後の数量を計算することによって、リセット処理にこの値を含めることができます。

累計を正常にリセットするには、次の条件を満たす必要があります。

- 累計のリセット (tdsls3230m000)、および累計のリセット (tdpur3230m000) セッションで累計をリセットするとき、発注先および顧客に同じ累計リセット日を使用する必要があります。
- リセットは、顧客が送付した発行を発注先が受領して承認した場合のみ実行できます。そうでない場合、リセット日の後に処理される発行はリセット日が異なるため、発注先はこれを承認できません。
- 発注先は、受領する発行を更新することはできません。また、マニュアルで新しい発行を作成することもできません。これは、リセットで誤った数量になる場合があるためです。

注意

- [不一致] 状態で、[処理日] が累計リセット日より前の調整レコードが存在する場合、販売スケジュールの販売スケジュール累計をリセットすることはできません。販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッションでは、販売スケジュール調整レコードを表示できます。
- 販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションに保存されている特定の販売スケジュール改訂の累計は、リセット処理中には更新されません。履歴情報として保持されます。

リセット数量の計算

累計のリセット (tdsls3230m000) セッションで累計をリセットする場合、LN によりまずリセット数量が決定されます。

リセット数量を計算するには:

1. リセット数量は、累計のリセット (tdsls3230m000) セッションで指定した [累計リセット日] より前の最後の累計レコードから、LN により取得されます。リセット数量になる数量は、[累計モデル使用] によって決まります。
[累計モデル使用] に応じて、次のように決まります。
 - [オーダ基準] の場合、[優先所要累計] がリセット数量です。
 - [入庫基準] の場合、[入庫累計] がリセット数量です。
2. LN によって新しい累計レコードが作成されます。
LN により次の新しい累計レコードが作成されます。
 - 出荷済累計レコード (出荷済累計 (tdsls3532m000) セッション)
 - 請求済累計レコード (請求済累計 (tdsls3533m000) セッション)
 新しい累計レコードの場合:
 - [累計リセット日] は、累計のリセット (tdsls3230m000) セッションで指定した [累計リセット日] と等しくなります。
 - [状況] は、[リセット] です。

出荷済累計のリセット

新しい出荷済累計の場合、LN により次の数量がリセット数量で減算されます。

- [出荷累計]
- [入庫累計]

[累計リセット日] より後の取引日の出荷済累計レコードがすでにある場合、LN によりそれらのレコードが次のように調整されてコピーされます。

- [出荷累計] と [入庫累計] もリセット数量で減算されます。
- 古い [累計リセット日] が、新しい [累計リセット日] で置き換えられます。

請求済累計のリセット

新しい請求済累計レコードの場合、LN により [累計請求数量] がリセット数量で減算されます。

[累計リセット日] より後の請求日の請求済累計レコードがすでにある場合、LN によりそれらのレコードが次のように調整されてコピーされます。

- [累計請求数量] も、リセット数量で減算されます。
- 古い [累計リセット日] が、新しい [累計リセット日] で置き換えられます。

例 1 - [オーダ基準] 累計モデルの累計をリセットするには

- リセット日 = 第 3 週開始
- スケジュールラインはリセットが実行される前に生成される
- スケジュールライン 2 は第 3 週に入庫する

■ スケジュールライン 3 は第 5 週に入庫する

週	ライン 1	リセット前の優先 所要累計	ライン 2	リセット前の 優先所要累計	ライン 3	リセット前の 優先所要累計	リセット後の 優先所要累計
1	20	20	-	20	-	20	20
2	20	40	-	40	-	40	40
3	20	60	5	45	-	45	5
4	20	80	5	50	-	50	10
5	20	100	5	55	20	70	30
6	20	120	55	110	5	75	35
7	-	-	5	115	5	80	40
8	-	-	5	120	5	85	45
9	-	-	-	-	5	90	50
10	-	-	-	-	5	95	55
合計		累計ライン 1	累計ライン 2	累計ライン 3	リセット後の累計		
累計開始		0	40	50	10		

リセット日は第 3 週に開始されます。[オーダ基準] 累計モデルのため、リセットは優先所要累計に基づいて実行されます。第 2 週終わりのリセット数量は 40 です。このため、すべての累計は累計リセット日 (第 3 週) から -40 で更新されます。

例 2 - [入庫基準] 累計モデルの累計をリセットするには
前の例と同じデータを使用しますが、次のデータも考慮されます。

週	入庫済数量	リセット前の入庫済累計	リセット後の入庫済累計
1	10	10	10
2	25	35	35
3	20	55	20
4	-	55	20
5	5	60	25

リセット日は第3週に開始されます。[入庫基準] 累計モデルのため、リセットは所要累計に基づいて実行されます。第2週終わりのリセット数量は35です。このため、すべての累計は累計リセット日(第3週)から-35で更新されます。

例1の合計は、次のようになります。

合計	累計ライン 1	累計ライン 2	累計ライン 3	リセット後の累計
累計開始	0	40	50	15

外部構成要素データに基づく累計の同期

外部構成要素がスケジュール所要量をLNに通信している場合で、あなたが外部構成要素から取得した累計データに基づいて累計を同期しリセットしたい場合、スケジュール条件(tctrm1131m000)セッションの[累計の同期]チェックボックスをオンにします。

注意

[累計の同期] チェックボックスがオフの場合、販売契約ラインロジスティックデータ(tds1s3102m000)セッションの[累計モデル使用]フィールドで定義されているように、累計はオーダー基準または入庫基準の累計モデルに基づいて更新されます。詳細は、次の情報を参照してください: 累計モデルに基づく累計の同期 (ページ 48)

累計データの比較と同期

累計の同期に同意した場合、販売発行ライン(tds1s3508m000)セッションで新しい販売発行ラインを送信するときに、外部構成要素は[出荷累計]と[最終出荷]を提供します。販売発行が販売スケジュール(改訂)に処理されると、出荷累計は外部構成要素から受信した出荷累計と比較され同期されます。

次のフィールドに基づいて累計データが比較されます。

- [出荷累計]
- [最終出荷]
- [スケジュール]

注意

- 同じ出荷番号の複数の出荷済累計レコードが検出された場合、最新の [処理日] の出荷済累計レコードが比較のために使用されます。
- 販売発行ラインの [最終出荷] で出荷済累計レコードが検出されない場合、LN により累計は同期されないが、販売発行の処理を続行できるという警告が表示されます。

スケジュール累計の同期

出荷済累計レコードが検出された後、以下が適用されます。

- 販売発行ラインの [出荷累計] は、[出荷累計] と一致しています。そのため、出荷済累計レコードは出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションで [一致] に設定されます。[作成済] 状況の前のレコードはすべて [一致 (フィードバックなし)] に更新されます。
- 販売発行ラインの [出荷累計] は [出荷累計] より多いか少なくなります。そのため、出荷済累計は、外部構成要素の出荷済累計と一致するように修正値で修正されます。この出荷済累計レコードの状況は [同期] になります。[作成済] 状況の前のレコードはすべて [一致] に更新されます。

例

販売発行ライン (tdsls3508m000)					出荷済累計 (tdsls3532m000)				
出荷済累計	スケジュール	出荷 ID	出荷済累計	スケジュール	出荷 ID	処理日	状況	出荷済数量	新しい出荷済累計
-	DJ0001	-	10	DJ0001	XXX-1	4 月 1 日	一致	10	10
20	DJ0001	YYY-2	15	DJ0001	YYY-2	5 月 1 日	一致	5	15
-	DJ0001	-	-	DJ0001	YYY-2	現在の日付	同期	5	20
-	DJ0001	-	25	DJ0001	ZZZ-3	6 月 1 日	作成済	10	30
-	DJ0001	-	50	DJ0001	VVV-4	7 月 1 日	作成済	25	55

[同期] 状況の累計レコードには、以下が適用されます。

- 修正値 = 販売発行ライン (tdsls3508m000) セッションの出荷済累計 - 出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションの出荷済累計
- 出荷済数量 = 修正値
- 新しい出荷済累計 = 古い出荷済累計 + 修正値

累計のリセット

出荷済累計レコードが検出された後、販売発行ライン (tdsls3508m000) セッションの [顧客累計リセット日] は出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションの [累計リセット日] と異なる場合があります。

以下を適用することができます。

- 販売発行ラインの [顧客累計リセット日] が [累計リセット日] よりも前になっている。累計はリセットできないが販売発行の処理を継続できるという警告が表示されます。
- 販売発行ラインの [顧客累計リセット日] が [累計リセット日] より後になっている。この場合、販売スケジュールの累計は次のセッションでリセットされます。
 - 出荷済累計 (tdsls3532m000)
 - 請求済累計 (tdsls3533m000)
 - FAB/RAW 権限 (tdsls3134m000)
 これらの累計レコードの状況は [リセット] になります。

注意

- 出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションの [処理日] に基づいて、適用できる請求済累計レコードと権限レコードが決定されます。
- 累計のリセット (tdsls3230m000) セッションで累計をマニュアルでリセットできません。

リセット数量の計算

累計をリセットするには、リセット数量を計算する必要があります。

この数量は次のとおり計算されます。

計 出荷済累計 (tdsls3532m000) の [出荷累計] - 販売発行ライン (tdsls3508m000) の [出荷累計]

例

販売発行ライン (tdsls3508m000)

スケジュール	YYYYYY1
最新の出荷	XXXXXX1
出荷済累計	80
顧客リセット日	10/10/10

現在の累計:

出荷済累計 (tdsls3532m000)		請求済累計 (tdsls3533m000)		FAB/RAW 権限 (tdsls3134m000)	
スケジュール	YYYYYY1	スケジュール	YYYYYY1	スケジュール	YYYYYY1
最新の出荷	XXXXX1	-	-	FAB 権限	100
出荷済累計	100	請求済累計	100	RAW 権限	100
顧客リセット日	9/10/10	顧客リセット日	9/10/10	顧客リセット日	9/10/10
処理日	15/11/10	処理日	15/11/10	発行日	15/11/10

新しい累計 (販売発行の処理後):

出荷済累計 (tdsls3532m000)		請求済累計 (tdsls3533m000)		FAB/RAW 権限 (tdsls3134m000)	
スケジュール	YYYYYY1	スケジュール	YYYYYY1	スケジュール	YYYYYY1
最新の出荷	-	-	-	-	-
出荷済数量	-20	請求数量	-20	FAB 権限	80
出荷済累計	80	請求済累計	80	RAW 権限	80
顧客リセット日	10/10/10	顧客リセット日	10/10/10	顧客リセット日	10/10/10
処理日	0	処理日	0	処理日	0
状況	リセット	状況	リセット	-	-

販売スケジュールの調整

非参照販売スケジュールが承認される前に、販売スケジュールの超過納入または不足納入をチェックできます。

注意

- 参照販売スケジュール、資材発行、ピックアップシート、および納入契約の超過納入または不足納入はチェックまたは調整されません。
- 販売スケジュールの調整は、販売スケジュール手順ではオプションのステップです。
- 外部構成要素データに基づいて販売スケジュール累計を同期すると、引き続き調整機能を実行できます。ただし、スケジュール調整は外部構成要素によっても処理される可能性があります。

あるので、これは論理的ではありません。詳細は、次の情報を参照してください: 外部構成要素データに基づく累計の同期 (ページ 51)

受領した販売スケジュール要件を調整するには、次のいずれかを実行します。

- 販売スケジュールの調整 (tdsls3210m000) セッションを開始します。
- 販売スケジュールの承認 (tdsls3211m000) セッションを [調整] チェックボックスをオンにして実行します。

注意

販売スケジュールが条件契約にリンクされた販売契約に基づく場合、また条件契約についてスケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [販売スケジュールの調整活動適用] チェックボックスと [販売スケジュールの自動調整] チェックボックスがオンになっている場合、販売スケジュールの調整は自動的に行われます。

不足納入または超過納入を特定するために実行される計算は、使用する累計モデルによって異なります。この累計モデルは、品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) または販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションの [累計モデル使用] フィールドで指定されます。

次の累計モデルを使用できます。

- [オーダー基準]
- [入庫基準]

注意

すべての販売スケジュールの累計について [累計リセット日] が等しい場合のみ、超過納入または不足納入が計算可能になります。

オーダー基準

取引先と [オーダー基準] 累計モデルを使用することを合意する場合、取引先は販売スケジュールの新しい所要量を送信するときに [優先所要累計] を提供します。取引先が所要量を送信するたびに、新しい販売スケジュール改訂番号が作成されます。

[オーダー基準] CUM モデルの超過納入または不足納入を判断するため、次の計算が実行されます。

合計調整数量 = [出荷累計] - 優先所要累計

注意

販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで、[出荷累計] と [優先所要累計] を表示できます。

この計算結果がマイナスの場合、出荷数は取引先が必要とする数量を下回っています。このため、合計調整数量について新しい販売スケジュールラインが作成されます。この販売スケジュールラインの [所要量タイプ] は、[即時] です。

この計算結果がプラスの場合、出荷数は取引先が必要とする数量を上回っています。このため、次の販売スケジュールラインの所要数量が合計調整数量で減算されます。販売スケジュールラインの所要数量が減ると、その販売スケジュールラインの状況は [調整済] になります。合計調整数量が次の販売スケジュールラインの所要数量以上の場合、この販売スケジュールラインは取り消されます。そのため、合計調整数量のバランスが取れるまで、販売スケジュールラインが取り消され、販売スケジュールライン所要量が調整される間、[取消済] 状況が維持されます。所要数量

がゼロの販売スケジュールラインの詳細は、販売スケジュールラインのゼロ所要数量 (ページ 44) を参照してください。

注意

計算結果がプラスの場合、その結果は、まず超過納入ライン (存在する場合) から差し引かれ、次に未納入のラインから差し引かれます。

例

購買管理の次のスケジュール出庫日: 9 月 18 日

日付	17-09	18-09	19-09	20-09	21-09
ライン番号	1	-	-	2	3
オーダー済	10	-	-	10	10
入庫済	10	-	-	10	0
不足分	-	-	-	-	10

ライン番号 2 は次のスケジュール出庫日前にすでに入庫しているため、数量 10 は在庫に保管されます。9 月 20 日に 10 個という需要が 9 月 19 日に 20 個という需要に変更された場合、企業計画は在庫の 10 個を使用し、残りの 10 個については別のラインが追加されます。

日付	17-09	18-09	19-09	20-09	21-09
ライン番号	1	-	4	2	3
オーダー済	10	-	10	10	10
入庫済	10	-	0	10	0
不足分	-	-	10	-	10

購買管理から販売管理に数量が通知されると、次の出庫日以降に納入されるスケジュールライン数量は超過納入とみなされますが、次のように、スケジュール出庫日の 1 つのラインで通知されます。

日付	17-09	18-09	19-09	20-09	21-09
オーダー済	-	10	10	-	10

販売管理で合計出荷済数量が 20 の場合次の計算が実行されます。

合計出荷済累計 (20) - 優先所要累計 (10) = 10

販売管理は、次のように過剰納入を調整します。

日付	17-09	18-09	19-09	20-09	21-09
オーダー済	-	-	10	-	10

最初の販売スケジュールライン、つまり購買管理の納入済ラインの所要数量が調整されます。

入庫基準

取引先と [入庫基準] 累計モデルを使用することを合意した場合、取引先は販売スケジュールの新しい所要量を送信するときに [入庫累計] を提供します。[入庫累計] には取引先がこれまでに販売スケジュールで受領したすべての数量の合計が含まれています。取引先が所要量を送信するたびに、新しい販売スケジュール改訂番号が作成されます。

[入庫基準] 累計モデルについて超過納入または不足納入が判断可能になるように、次の計算が実行されます。

合計調整数量 = [出荷累計] - [入庫累計]

注意

販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで、[出荷累計] と [入庫累計] を表示できます。

この計算結果がプラスの場合、出荷数は取引先が受領した数量を上回っています。この結果、[出荷累計] と [入庫累計] の差異の分は輸送中であるとみなされます。このため、次の販売スケジュールラインの所要数量から合計調整数量が減算されます。販売スケジュールラインの所要数量が減ると、その販売スケジュールラインの状況は [調整済] になります。合計調整数量が次の販売スケジュールラインの所要数量以上の場合、この販売スケジュールラインは取り消されます。そのため、合計調整数量のバランスが取れるまで、販売スケジュールラインが取り消され、販売スケジュールライン所要量が調整される間、[取消済] 状況が維持されます。所要数量がゼロの販売スケジュールラインの詳細は、販売スケジュールラインのゼロ所要数量 (ページ 44) を参照してください。

この計算結果がマイナスの場合、出荷数は取引先が受領した数量を下回っています。この場合、販売スケジュールラインは調整されませんが、レポートに警告メッセージが追加されます。この理由は、[入庫基準] CUM モデルでは、取引先が差異を解決する責任を担っているからです (購買スケジュール累計も参照)。この場合、販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッション

での [修正] レコードの作成を決定できます。請求書訂正に関する情報の詳細は、販売スケジュールと請求 (ページ 72) を参照してください。

調整処理が実行された後で、調整された販売スケジュールラインと新しく作成された販売スケジュールラインがまだ承認されていない場合、販売スケジュールの承認 (tdsls3211m000) セッションで承認できます。

販売スケジュールの承認

状況が [作成済] または [調整済] の販売スケジュールは、処理する前に承認しておく必要があります。承認後、販売スケジュールの状況は [承認済] になります。販売スケジュールを承認する方法は、スケジュールのタイプによって異なります。

参照スケジュールの承認

販売スケジュールが参照スケジュールの場合、販売スケジュールラインを自動的にまたはマニュアルで承認できます。

自動承認

次のセッションの [参照済販売スケジュールの自動承認] チェックボックスをオンにします。

1. スケジュール条件 (tctrm1131m000)
販売スケジュールが条件契約にリンクされた販売契約に基づく場合、このセッションをオンにします。
2. 販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000)
販売スケジュールが販売契約に基づく場合このセッションをオンにします。
3. 品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000)
販売スケジュールが品目および販売取引先情報に基づく場合、このセッションをオンにします。

注意

- 販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスは、販売スケジュールを販売契約にリンクする必要があるかどうかを決定します。
- 各参照販売スケジュールラインが作成されると、それぞれ即時に承認されます。

マニュアル承認

[参照済販売スケジュールの自動承認] チェックボックスがオフの場合、参照販売スケジュールは次のように承認できます。

- 販売スケジュールの承認 (tdsls3211m000) セッションまたは、販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションの適切なメニューで販売スケジュールヘッダを使用する
- ピックアップシートの承認 (tdsls3211m200) セッションまたはピックアップシート (tdsls3107m100) セッションの適切なメニューでピックアップシートを使用する
- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションの適切なメニューで、販売スケジュールラインを使用して承認する。この場合、参照スケジュールは参照ごとに承認できます。

参照販売スケジュールの詳細は、参照販売スケジュール (ページ 35) を参照してください。

非参照スケジュールの承認

販売スケジュールが非参照スケジュールの場合、販売スケジュールラインを自動的にまたはマニュアルで承認できます。

- 自動承認
販売スケジュールが条件契約にリンクされた販売契約に基づき、また条件契約についてスケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [非参照販売スケジュールの自動承認] チェックボックスがオンの場合、販売スケジュールの承認は自動的に行われます。
- マニュアル承認
販売スケジュールの承認 (tdsls3211m000) セッションの販売スケジュールヘッダごと
- 販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションの適切なメニューから

非参照販売スケジュールの場合、承認処理時には次のようになります。

- 販売スケジュールの納入の過不足をオプションでチェックおよび調整できます。
- 販売スケジュールは調整できます。調整は、取引先の [入庫累計] が [出荷累計] と一致するかどうかをチェックすることを意味しています。累計が一致しない場合、解決する必要がある不一致が生成されます。

詳細は、次を参照してください。

- 販売スケジュールの調整の詳細は、販売スケジュールの調整 (ページ 54)を参照してください。
- 販売スケジュールの調整の詳細は、販売スケジュールの調整 (ページ 60)を参照してください。

承認プロセス

販売スケジュールラインの所要量によって、販売スケジュールを承認した場合に実行されるアクションが決まります。

[即時] または [確定]

販売スケジュールラインを承認したとき、[所要量タイプ] が [即時] または [確定] である場合、次の処理が行われます。

- 計画在庫処理 (whinp1500m000) セッションで計画在庫処理が作成されます。
- 品目マスタ計画 (cprmp2101m000) セッションの有効在庫が更新されます。有効在庫の更新の詳細は、販売スケジュールと企業計画 (ページ 64)を参照してください。
- 販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンになると、計画済倉庫オーダは自動的に生成されるか更新されます。詳細は、次の情報を参照してください: 計画済倉庫オーダ (ページ 18)
- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションで価格が入力されていない場合販売スケジュールラインにリンクされる販売契約が検索されます。品目、販売先取引先、出荷先取引先、販売オフィスの組合せに対して [有効] な通常契約を利用できる場合、この販売契約が販売スケジュールラインにリンクされ、販売契約の価格と値引が販売スケジュールに使用されます。リンクできる販売契約がない場合、価格設定で指定されている価格と値引が使用されます。販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションの [開始日] に従って、正確な価格が取得されます。価格設定で価格が指定されていない場合、品目 - 販売 (tdisa0501m000) セッションから価格が取得されます。
- 販売契約が販売スケジュールラインにリンクされている場合、販売契約ラインの [コール数量] が更新されます。

- 販売スケジュールと販売スケジュールラインの履歴が作成されます。この履歴は販売オーダー/スケジュール履歴 (tdsls5505m000) セッションで表示できます。
- 検査基準となる品質が更新されます。
- [不一致] 状況の販売スケジュール調整レコードが販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッション該当する販売スケジュールに存在する場合、承認レポートに警告メッセージが出力されます。[不一致] 状況の出荷済累計レコードの処理の詳細については、販売スケジュールの調整 (ページ 60)を参照してください。
- 取引先の未決済残高が更新されます。これは、販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションで表示できます。

[計画済]

販売スケジュールラインを承認したとき、[所要量タイプ] が [計画済] である場合、次の処理が行われます。

- 品目マスタ計画 (cprmp2101m000) セッションの有効在庫が更新されます。有効在庫の更新の詳細は、販売スケジュールと企業計画 (ページ 64)を参照してください。
- 品目マスタ計画 (cprmp2101m000) セッションで [未確認顧客オーダー] 数量が更新されます。
- FAB/RAW 権限 (tdsls3134m000) セッションで FAB/RAW 権限が作成されます。
- [不一致] 状況の販売スケジュール調整レコードが販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッション該当する販売スケジュールに存在する場合、承認レポートに警告メッセージが出力されます。

注意

- 販売スケジュールの承認は取り消すことができます。その場合、承認処理の結果は削除され、販売スケジュールの状況は [作成済] に設定されます。最後の販売スケジュール改訂の承認を取り消すには、販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションの適切なメニューから [スケジュールの復元 (S)] をクリックします。ただし、計画済倉庫オーダーを使用する場合はこの機能を使用できません。
- 販売先取引先 (tccom4110s000) セッションの [確認の使用] チェックボックスがオンの場合、[確認数量] および [確認日] フィールドに入力するまで購買スケジュールラインを承認できません。

販売スケジュールの調整

参照なし品目の資材発行と出荷スケジュールを調整できます。つまり、取引先の [入庫累計] を [出荷累計] と一致させます。累計 (CUM) が位置しない場合、解決する必要がある不一致が生成されます。

重要

- 品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションまたは販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションでは、[調整中の計画/実際納期を考慮] チェックボックスによって、[出荷累計] を販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッションおよび出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションで計算する方法が決まります。

- 販売スケジュールが条件合意にリンクされた販売契約に基づく場合、以下が適用されます。
 - スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [累計の同期] チェックボックスがオンの場合、販売スケジュールを調整できません。
 - スケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションの [最終出荷 ID の定義方法] フィールドで、入庫累計の計算に使用する最終出荷の設定方法を指定できます。

調整レコードを挿入するには

販売スケジュールの出荷を確認すると、販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッションの販売スケジュール調整レコードが次の情報で作成されます。

- 品目が出荷される日付
- 商品が出荷される出荷の番号
- 特定の出荷で出荷される数量
- 販売スケジュールについて受領した最後の数量
- 販売スケジュールについて出荷済の合計累計数量

各出荷に 1 つずつ、[作成済] 状況の調整レコードが作成されます。

販売スケジュールラインを承認すると、次の処理が実行されます。

1. 販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッションで、取引先に入庫した販売スケジュールの最終出荷の番号が挿入されます。
2. 販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッションで、取引先に入庫した販売スケジュールの最終数量が挿入されます。
3. 新しい[入庫累計]が計算されます。このとき、対象の調整レコードと次の調整レコードの[入庫累計]に[最終入庫数量]が加算されます。
4. 取引先の[入庫累計]が[出荷累計]と照合されます。これらの累計が等しい場合、調整レコードの状況は[一致]になります。これらの累計が等しくない場合、調整レコードの状況は[不一致]になります。

注意

[不一致] 状況の調整レコードが存在する販売スケジュールを承認すると、承認レポートに警告メッセージが出力されます。販売スケジュールの承認の詳細については、販売スケジュールの承認 (ページ 58)を参照してください。

調整状況

調整レコードに割り当てられる状況は次のとおりです。

- [作成済]
販売スケジュール調整レコードが作成され、関連する出荷について取引先の入庫済累計および最終入庫数量をまだ受け取っていません。
- [一致]
関連する出荷について取引先の入庫済累計および最終入庫数量を受け取り、それらの数量が出荷済累計および出荷済数量と一致しています。
- 外部構成要素から受け取った出荷済累計および累計リセット日は、出荷済累計および累計リセット日と一致しています。
- 出荷済累計レコードの状況が [同期] の場合、前のレコードは [一致] に設定されます。

- [不一致]
関連する出荷について取引先の入庫済累計および最終入庫数量を受け取りましたが、それらの数量が出荷済累計および出荷済数量と一致しません。
- [調整済]
取引先の入庫済累計と自社の出荷済累計の差について話し合い、入庫済累計を調整して出荷済累計と同じになるようにしました。
- [出荷累計調整済]
取引先の入庫済累計と自社の出荷済累計の差について話し合い、出庫済累計を調整して入庫済累計と同じになるようにしました。
- [出荷および入庫累計調整済]
取引先の入庫済累計と自社の出荷済累計の差について話し合い、出庫済累計および入庫済累計を調整しました。
- [一致 (調整後)]
関連する出荷について取引先から受け取った入庫済累計および最終入庫数量が出庫済累計および出庫済数量と一致しませんでしたでしたが、後のエントリの状況はすでに [一致] になっています。
- 販売スケジュール調整レコードの状況が [不一致] で、状況が [不一致] の以前のレコードを調整した結果としてその出荷済累計が更新されている場合、修正後の数量が一致していれば、現在のレコードは [一致 (調整後)] に設定されます。
- [一致 (フィードバックなし)]
関連する出庫について取引先の入庫済累計および最終入庫数量をまだ受け取っていませんが、後のエントリの状況はすでに [一致] または [調整済] です。入庫済累計および最終入庫数量はゼロのままです。
- 関連する出荷に関する入庫済外部構成要素の出荷済累計をまだ受け取っていませんが、後のエントリの状況はすでに [一致] です。
- [同期]
外部構成要素から受け取った出荷済累計は出荷済累計と等しくないので、出荷済累計を修正値で修正し、外部構成要素の出荷済累計と等しくします。
- [リセット]
販売スケジュール累計レコードまたは販売スケジュール権限レコードが累計のリセット (tdsls3230m000) セッションでリセットされます。
- 外部構成要素から受け取った累計リセット日は累計リセット日より後なので、販売スケジュール累計レコードまたは販売スケジュール承認レコードはリセットされます。

不一致を解決するには

販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッションを使用すると、特定の販売スケジュールに関して出荷累計と取引先の入庫累計の間の不一致を解決できます。調整レコードが [不一致] 状況の場合のみ、レコードを調整できます。

[不一致] 状況の販売スケジュール調整レコードを処理するには、販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッションの**特定メニュー**で次のいずれかを選択します。

- [入庫累計の調整]
[入庫累計] が [出荷累計] と等しくなるように調整されます。調整レコードの状況は、[調整済] となります。
- [出荷済累計の調整]
[出荷累計] が [入庫累計] と等しくなるように調整されます。販売スケジュール調整の状況は [出荷累計調整済] となります。

- [出荷および入庫累計の調整]
新規累計の入力 (tdsls3131s000) セッションが開始され、現在の [入庫累計] と [出荷累計] を置き換える数量を指定できます。販売スケジュール調整の状況は、[出荷および入庫累計調整済] となります。

注意

出荷済数量が、出荷済としてレポートされている数量より多いためにレコードが [不一致] 状況になる場合、[出荷済累計の調整] または [出荷および入庫累計の調整] を選択する代わりに余分な出荷済数量を倉庫管理で記録する必要があります。このため、出荷済累計を調整する場合、追加の出荷済数量に対する請求は生じません。

不一致が解決されると、次のようになります。

- [不一致] 状況のすべての以前のレコードは [一致 (調整後)] 状況になります。[作成済] 状況の以前のレコードは、[一致 (フィードバックなし)] 状況になります。
- 調整に従って次のレコードの [出荷累計] が調整されます。連続するレコードの [入庫累計] は更新されません。
- [出荷累計調整済] 状況または [出荷および入庫累計調整済] 状況のレコードについては、新しい [出荷累計] に基づいて次のレコードの状況が再判定されます。調整後に、[不一致] 状況のレコードの [出荷累計] が正しいことが判明した場合は、販売スケジュール調整レコードの状況は [不一致] から [一致 (調整後)] に変更されます。
- 入庫済累計を調整するように選択した場合、販売先取引先でも入庫済累計を調整する必要があります。請求済の購買スケジュールラインの場合、入庫済累計は入庫累計の更新 (tdpur3432m000) セッションで更新できます。入庫済累計が購買側で更新されない場合、購買スケジュールが送付されるたびに不一致が生じます。
- 出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションの出荷済累計レコードは、販売スケジュール調整 (tdsls3131m000) セッションで実行した調整に従って更新されます。

在庫の損失

[不一致] 状況の調整レコードに関して取引先と検討した結果、[出荷累計] を調整するように決定した場合、取引先との間で在庫の損失に対する支払責任がどちらに生じるかについても合意できます。

次のいずれかの場合が考えられます。

- 自社で在庫の損失を負担する。この場合、販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションで [修正] レコードを作成する必要があります。この結果、取引先に対して与信請求が生じます。
- 取引先が在庫の損失を負担する。この場合、販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションで [修正] レコードを作成する必要はありません。

注意

販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションで請求書訂正を作成する必要があるかどうかチェックできます。その際、請求済累計 (tdsls3533m000) セッションの [累計請求数量] と調整後の [入庫累計] を比較します。この結果、入庫と比較して顧客への請求が多すぎるか少なすぎるかを表示できます。

出荷訂正と販売スケジュール請求の詳細は、販売スケジュールと請求 (ページ 72) を参照してください。

販売スケジュールと企業計画

販売スケジュールが書運されると、企業計画で販売スケジュールの計画済所要量と確定所要量に基づいて計画済所要量が計算され、計画済供給が生成されます。

企業計画では、販売スケジュールが通常の販売オーダーとして処理されます。

企業計画で販売スケジュール所要量を処理するには

販売スケジュールを承認すると、企業計画による販売所要量の処理方法はスケジュールのタイプによって異なります。

出荷スケジュールと連続出荷スケジュール

[出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール] を承認すると、販売所要量が次のように保存されます。

- 計画在庫処理 (whinp1500m000) セッションでは、[販売スケジュール] タイプの計画在庫処理として保存されます。
- 品目マスタ計画 (cprmp2101m000) セッションでは、顧客オーダーとして保存されます。
- 品目オーダー計画 (cprrp0520m000) セッションでは、[販売スケジュール] タイプのオーダーとして保存されます。

資材発行

[資材発行] を承認した場合

- 品目マスタ計画 (cprmp2101m000)
関連品目の販売所要量が [未確認顧客オーダー] フィールドに保存されます。
- 品目オーダー計画 (cprrp0520m000)
所要量は、タイプ [販売スケジュール] のオーダーとして表示されます。

品目の顧客オーダーは、通常の販売オーダーに加えて、[所要量タイプ] が [確定] に設定されている資材発行のスケジュール所要量を表しています。企業計画では、顧客オーダーは品目の需要に追加され、予測から消費されます。[資材発行] が発生元の販売所要量は、品目マスタ計画で未確認顧客オーダーとして終了します。これらの所要量は、企業計画の計画に影響せず、顧客オーダーの未確認部分を示すためにのみ表示されます。

品目オーダー計画 (cprrp0520m000) セッションでは、[資材発行] の販売所要量を販売スケジュール予測として表示できます。

マスタ計画とオーダー計画

マスタ計画またはオーダー計画を更新、あるいはシミュレートする場合、販売スケジュールの所要数量が考慮されます。

次の数量が取得されます。

- 計画在庫処理 (whinp1500m000) セッションから [出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール] の計画数量
- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションから [資材発行] の数量

数量と日付の変更

販売スケジュールのオーダ数量または (納入) 日付が変更され、計画パラメータ (cprpd0100m000) セッションの [企業計画で有効在庫をオンライン更新] チェックボックスがオンの場合、企業計画により品目の 有効在庫更新が実行されます。この更新は、計画在庫処理 (whinp1500m000) セッションで計画入庫や計画出庫に何らかの変更が行われた場合に企業計画によって実行される有効在庫更新と同様のものです。

変更が行われると、企業計画によって品目 - 計画 (cprpd1100m000) セッションでネットチェンジ日付も設定されるため、変更が計画実行時に考慮されます。

計画期間の所要数量を取得するには

[出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール] は計画期間の途中で終了できます。これにより、その特定の計画期間では [出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール] と [資材発行] の間に重複が存在します。

このため、[出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール] と重複する [資材発行]、および重複していない [資材発行] が区別されます。

(連続) 出荷スケジュールと重複しない資材発行の計画数量を決定するには

計画期間の [出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール] と重複しない [資材発行] の場合、販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションから計画期間の合計所要数量が取得されます。

販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションまたは品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションの次のパラメータを使用して、計画済所要量を累計するかどうかが決まります。

- [計画所要量の割当]
- [期間開始日での需要の累計]

注意

[計画所要量の割当] がオフの場合、[期間開始日での需要の累計] は常にオンになっています。

例

例 1

[計画所要量の割当] チェックボックスと [期間開始日での需要の累計] チェックボックスがどちらもオンになっています。

曜日	1	2	3	4	5
MRL001	50	-	-	-	-
SHP001 / SEQ001	-	-	-	-	-
計画、販売スケジュール予測	50	-	-	-	-

[期間開始日での需要の累計] チェックボックスがオンのため、最初の日には、資材発行の合計数量が割り当てられます。

例 2

[計画所要量の割当] チェックボックスがオンで [期間開始日での需要の累計] チェックボックスがオフになっています。

曜日	1	2	3	4	5
MRL001	50	-	-	-	-
SHP001 / SEQ001	-	-	-	-	-
計画、販売スケジュール予測	10	10	10	10	10

資材発行の合計数量は累計できません。計画期間内で 5 暦日に分配されます。

(連続) 出荷スケジュールと重複する資材発行の計画数量を決定するには

計画期間の [出荷スケジュール] または [連続出荷スケジュール] と重複する [資材発行] については、販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションまたは品目 - 販売取引先 (tdisa0510m000) セッションの次のパラメータを使用して、計画済所要量の計算方法および分配方法が決定されます。

- [正味計画所要量]
- [線形推定]
- [計画所要量の割当]

注意

[正味計画所要量] チェックボックスがオフの場合、[線形推定] チェックボックスもオフになり、変更できません。

例

例 1

[正味計画所要量] チェックボックスがオフになり、[計画所要量の割当] チェックボックスがオンになります。

曜日	1	2	3	4	5
MRL001	50	-	-	-	-
SHP001 / SEQ001	20	10	-	-	-
計画、販売スケジュール	20	10	-	-	-
計画、販売スケジュール予測	10	10	10	10	10

[正味計画所要量] がオフになるので、出荷スケジュールによって割り当てられる日を含め (1 日目と 2 日目) 期間内の終日、計画数量を入力することができます。

[計画所要量の割当] がオンになっているので、資材発行の合計数量は期間の日数にわたって等しく分配されます。

例 2

[正味計画所要量]、[線形推定]、および [計画所要量の割当] チェックボックスはすべてオンになっています。

-	第 1 週					第 2 週					第 3 週				
曜日	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
MRL001	-	-	50	-	-	-	-	50	-	-	-	-	50	-	-
SHP001 / SEQ001	10	9	8	12	10	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-
計画、販売スケジュール	10	9	8	12	10	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-
計画、販売スケジュール予測	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	10	10	10

- 第 1 週
資材発行が存在しますが、期間全体に出荷スケジュールが割り当てられます。この結果、企業計画により出荷スケジュールのみが考慮されます。

- 第 2 週
資材発行と出荷スケジュールの間に重複があります。
- [正味計画所要量] がオンであるため、出荷スケジュールによって割り当てられない日 (3 日目、4 日目、および 5 日目) にのみ計画数量が適用されます。
- [線形推定] チェックボックスがオンであるため、計画期間の日数で資材発行の数量が除算され ($50 \div 5 = 10$)、重複しない期間の計画済所要量が決定されます ($10 \times 3 = 30$)。
- [計画所要量の割当] がオンであるため、出荷スケジュールによって割り当てられていない日は、計算結果 10 (30/3) が割り当てられます。
- 第 3 週
資材発行のみが存在し、企業計画により関連する数量が考慮されます。
- [計画所要量の割当] がオンになっているので、資材発行の合計数量は期間の日数にわたって等しく分配されます。

例 3

[正味計画所要量] チェックボックスがオンで [線形推定] チェックボックスと [計画所要量の割当] チェックボックスがオフになっています。

-	第 1 週					第 2 週					第 3 週				
曜日	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
MRL001	-	-	50	-	-	-	-	50	-	-	-	-	50	-	-
SHP001 / SEQ001	10	9	8	12	10	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-
計画、販売スケ ジュール	10	9	8	12	10	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-
計画、販売スケ ジュール予測	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	50	-	-	-	-

- 第 2 週
[線形推定] チェックボックスがオフであるため、線形推定なしで第 2 週の資材発行が分配されます。これは、期間についての出荷スケジュール数量が資材発行の合計数から差し引かれることを意味します ($50 - 21 = 29$)。
- [計画所要量の割当] チェックボックスがオフであるため、第 2 週の最初の日には出荷スケジュール数量がなく、資材発行の残数量で割り当てられます。
- 第 3 週
[計画所要量の割当] チェックボックスがオフのため、第 3 週の最初の日には、資材発行の合計数量が割り当てられます。

例 4

資材発行の数量が 50 から 60 に変更した場合。この例では、[正味計画所要量] チェックボックスと [計画所要量の割当] チェックボックスはオン、[線形推定] チェックボックスはオフになっています。

-	第 1 週					第 2 週					第 3 週				
曜日	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
MRL001	-	-	50	-	-	-	50	->	60	-	-	-	50	-	-
SHP001 / SEQ001	10	9	8	12	10	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-
更新	-	-	-	-	-	-	-	+3	+3	+4	-	-	-	-	-
計画、販売スケ ジュール	10	9	8	12	10	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-
計画、販売スケ ジュール予測	-	-	-	-	-	-	-	13	13	13	10	10	10	10	10

第 2 週

- [線形推定] チェックボックスがオフであるため、残数量は次のように計算されます: $60 - 12 - 9 = 39$
- [計画所要量の割当] チェックボックスがオンであるため、資材発行の残数量は期間の日数にわたって等しく分配されます。
- [正味計画所要量] がオンであるため、出荷スケジュールによって割り当てられない日 (3 日目、4 日目、および 5 日目) にのみ計画数量が入力されます。

計画数量が増加したため、企業計画により品目の有効在庫数量が減算されます。

例 5

出荷スケジュールの数量が第 2 週の 2 日目に 9 から 15 に変更した場合。この例では、[正味計画所要量] チェックボックスと [計画所要量の割当] チェックボックスはオン、[線形推定] チェックボックスはオフになっています。

-	第 1 週					第 2 週					第 3 週				
曜日	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
MRL001	-	-	50	-	-	-	-	60	-	-	-	-	50	-	-
SHP001 / SEQ001	10	9	8	12	10	12	15	-	-	-	-	-	-	-	-
更新	-	-	-	-	-	-	+6	-2	-2	-2	-	-	-	-	-
計画、販売スケ ジュール	10	9	8	12	10	12	15	-	-	-	-	-	-	-	-
計画、販売スケ ジュール予測	-	-	-	-	-	-	-	11	11	11	10	10	10	10	10

この変更によって、計画在庫処理 (whinp1500m000) セッションも変更されます。この変更が企業計画に送信され、有効在庫が更新されます。

明らかに、出荷スケジュール数量の変更は第 2 週の資材発行にも影響します。

第 2 週

- [線形推定] チェックボックスがオフであるため、残数量は次のように計算されます: $60 - 12 - 15 = 33$
- [計画所要量の割当] チェックボックスがオンであるため、資材発行の残数量は期間の日数にわたって等しく分配されます。
- [正味計画所要量] がオンであるため、出荷スケジュールによって割り当てられない日 (3 日目、4 日目、および 5 日目) にのみ計画数量が入力されます。2 日目に、以前に受信した計画数量が確定数量 15 で置き換えられます。

計画数量が減少したため、企業計画により品目の有効在庫数量が加算されます。

販売スケジュールと倉庫

販売スケジュールラインのオーダ品目が承認された後、それらを出荷できます。品目を出荷するには、販売スケジュールを倉庫管理へ発行する必要があります。

注意

次のいずれかを倉庫管理に発行する必要があります。

- [所要量タイプ] が [即時] または [確定] に設定された承認済販売スケジュールライン
- 販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンの場合、承認済販売スケジュールラインに対して生成される計画済倉庫オーダ

販売スケジュールと計画済倉庫オーダの倉庫管理への発行

販売スケジュールが条件契約にリンクされた販売契約に基づく場合、またスケジュール条件 (tctrm1131m000) セッションで次のチェックボックスがオンの場合、販売スケジュールまたは計画済倉庫オーダは自動的に倉庫管理に発行されます。

- [参照販売スケジュールをオーダに自動発行]
- [非参照販売スケジュールをオーダに自動発行]
- [参照スケジュール用にバックオーダを自動発行]
- [非参照スケジュール用にバックオーダを自動発行]

これらのチェックボックスがオフの場合販売スケジュールの請求への発行 (tdsls3207m000) セッションまたはピックアップシートを倉庫に発行 (tdsls3207m100) セッションを使用して、販売スケジュール、ピックアップシート、または計画済倉庫オーダを倉庫管理に発行する必要があります。

販売スケジュール (ライン) または計画済倉庫オーダが倉庫管理に発行されると、販売スケジュール/計画済倉庫オーダの倉庫オーダが作成され、販売スケジュールライン/計画済倉庫オーダの出庫オーダラインが作成されます。販売スケジュールラインの出庫オーダラインが作成されると、販売スケジュールラインの状況は [オーダ生成済] になります。計画済倉庫オーダの出庫オーダラインが作成されると、計画済倉庫オーダの状況は [倉庫管理へ発行済] になります。

注意

倉庫オーダの倉庫オーダタイプに指定されている出庫手順および出荷手順が実行されます。

連続出荷スケジュールの倉庫管理への発行

[連続出荷スケジュール] タイプの販売スケジュールラインが作成された場合、連続出荷情報 (tdsls3517m000) セッションで連続出荷情報が作成されます。このセッションでは、連続出荷情報の改訂が記録されます。

販売スケジュールラインが倉庫管理に発行された後、倉庫管理の出荷順序 (whinh4520m000) セッションで連続出荷データも作成されます。このセッションには、出荷順序情報の最新版のみが保管されます。

連続出荷情報によって、出荷先取引先が組立ラインに必要とする品目の順番が分かります。このため、出荷順序 (whinh4520m000) セッションで指定されている順番で商品を出荷する必要があります。出荷順序データを使用して、出荷と出荷ラインが作成されます。LN は、出荷参照ごとに出荷を作成します。出荷順序は、それぞれ出荷ラインになります。

販売スケジュールの出荷

倉庫管理で販売スケジュールラインの品目が出荷される場合、次の状況のいずれかが販売スケジュールラインと計画済倉庫オーダに割り当てられます

- - 販売スケジュールライン
 - [一部出荷]
オーダ数量の一部が出荷済計画済倉庫オーダを使用する場合、この状況は販売スケジュールラインには適用されません。
 - [納入済]
オーダ数量の全部が出荷済

■

計画済倉庫オーダ

- [部分納入済]
この倉庫オーダの初回出荷ラインは倉庫管理で確認されます。その他のラインはまだ確認されていません。
- [ファイナライズ済]
この倉庫オーダの最新の出荷は倉庫管理で確認されるか、たとえば倉庫オーダが取り消されたときなどは実際に納入されずに出荷処理が完了しています。

販売スケジュールラインの品目が出荷されると、次の処理が実行されます。

- 出荷済累計 (tdsls3532m000) セッションと販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで販売スケジュールの出荷済合計数量が更新されます。
- 販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m000) セッションで状況が [納入済] となっている実際納入ラインが作成されます。
- [最終出荷]、[最終納期]、および [納入数量] が販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションで更新されます。

注意

オーダ数量のすべてが出荷されていなくても、販売スケジュールが終了している場合、その販売スケジュールラインの状況は [納入済] になります。この結果、出荷されていない残りのオーダ数量は出荷できなくなります。販売スケジュールの終了の詳細は、販売スケジュールの終了 (ページ 76)

販売スケジュールと請求

販売スケジュールラインでオーダされている品目を一部またはすべて納入する場合、納入済商品を請求できます。請求書を送付できるようにするには、販売スケジュールラインを請求に発行する必要があります。

実際納入、請求ライン、および請求書訂正

(一部) 出荷を請求できるように、実際納入は販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m000) セッションおよび販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m100) セッションに保存されます。

販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) を使用して、納入数量を請求および修正できます。

注意

実際納入ラインは、請求ラインと考えることもできます。

実際納入

販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m000) セッションおよび販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m100) セッションで、販売スケジュールラインまたは計画済倉庫オーダに関して行われるすべての納入が保存されます。販売スケジュールラインのまたは計画済倉庫オーダのオーダ数量が (一部) 納入されると、納入数量の状況が [納入済] の実際納入ラインが作成されます。納入された品目に関する請求は、これらのセッションで指定された実際納入詳細に基づいて行われます。この設定により、部分的納入に対する請求も可能です。

実際納入ラインは、次の各状況を順に経ていきます。

1. [納入済]
2. [請求への発行]
3. [請求済]
4. [処理済]

請求書訂正

販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションを使用して、納入数量を訂正できます。これらの訂正は、財務上の理由で行われるのであり、ロジスティック上の理由ではありません。たとえば、出荷品目が出荷中に紛失してしまい、紛失した品目については取引先に請求しない場合は、納入数量を減らすことができます。その場合は、請求ラインを選択し、適切なメニューから [請求訂正の入力] を選択します。これにより、[訂正数量] を詳細セッションで指定できます。修正レコードの [レコードタイプ] は [修正] に設定されています。

状況が [処理済] 以外の販売スケジュールラインに対して請求書訂正を作成できます。

請求書訂正レコードは、次の各状況を順に経ていきます。

1. [作成済]
2. [請求への発行]
3. [請求済]
4. [処理済]

注意

[作成済] 状況の請求書訂正レコードは、請求に発行する前に確認する必要があります。請求書訂正レコードを確認するには、販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションの適切なメニューで [請求訂正の確認] を選択します。

訂正レコードを確認すると、次の処理が実行されます。

- 統合取引 (tfgld4582m000) セッションで [出荷差異] タイプの会計取引が作成されます。
- 取引先未決済残高から訂正金額が差し引かれます。
- 販売契約がリンクされている場合は販売契約が更新されます。
- 販売スケジュール履歴にレコードが挿入されます。
- 出荷訂正は、ロジスティックではなく財務上の理由でのみ実行されるため、出荷済累計は更新されません。

請求ラインと請求書訂正の請求への発行

請求ラインと請求書訂正を請求に発行するには、販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションの適切なメニューから [販売オーダー/スケジュールの請求への発行] を選択します。したがって、この場合は販売オーダー/スケジュールの請求への発行 (tdsls4247m000) セッションが開始されます。

次のオーダーのデータが請求に発行されます。

1. [納入済] 状況の請求ライン
2. [作成済] 状況の確認済訂正レコード

注意

- 請求ラインの発行、次に訂正レコードの発行が、連番の順序(作成順序)で実行されます。
- 販売スケジュール/計画済倉庫オーダを請求に発行すると、実際納入ライン、請求ライン、および訂正レコードの状況は [請求への発行] に変更されます。

販売スケジュールが請求に発行された場合、[納入済額] が次のように決定されます。

- 請求ライン
[納入数量] / [オーダ数量] [正味額]
- 訂正レコード
[訂正数量] ÷ 請求ラインの [納入数量] × 請求ラインの [納入済額]

注意

- [オーダ数量] と [正味額] を販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションから取得します。
- 販売スケジュールラインのすべての請求ラインと訂正レコードが [請求への発行] 状況の場合、その販売スケジュールラインの状況も [請求への発行] になります。

請求での請求書の作成と転記

販売スケジュールの請求書の作成と転記は、請求の請求書 (cisli3105m000) セッションで実行します。

注意

請求書訂正レコードの与信請求 (ライン) が作成されます。

販売スケジュールラインの請求ラインまたは訂正レコードの請求書が送付される場合

- 請求ラインまたは訂正レコードの状況は [請求済] になり、[請求書番号] と [請求日] フィールドが販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m000) セッション、販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m100) セッション、および販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションで入力されます。
- 請求済累計 (tdsls3533m000) セッションと販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションで販売スケジュールの合計請求数量が更新されます。
- 請求データによって販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションが更新されます。

販売スケジュールライン/計画済倉庫オーダのすべての請求ラインと訂正レコードの状況が [請求済] の場合、販売スケジュールライン/計画済倉庫オーダの状況も [請求済] になります。

販売スケジュールの処理と削除

販売スケジュールラインの請求書が送付された後、その販売スケジュールラインの状況は [請求済] になります。[請求済] 状況のラインを含む販売スケジュールを処置および削除できます。

納入済販売スケジュールの処理 (tdsls3223m000) セッションを使用して、販売スケジュールを処理します。

販売スケジュールのアーカイブおよび削除 (tdsls3224m000) セッションを使用して、処理済、取消済、および交換済の販売スケジュールを削除します。

処理

納入済販売スケジュールの処理 (tdsls3223m000) セッションで販売スケジュールを処理した場合、次の処理が実行されます。

- 処理済の販売スケジュールについて販売スケジュール取引高が作成されます。取引高履歴は、販売オーダー/スケジュール履歴セッションで表示できます。
- 販売契約が販売スケジュールラインにリンクされている場合、販売契約ラインの [請求数量] が更新されます。
- 販売スケジュールの状況、販売スケジュールラインの状況、および販売スケジュールラインの実際納入ラインの状況が [請求済] から [処理済] に変更されます。
- 状況が [請求済] のリンクされた計画済倉庫オーダーを処理します。

注意

未請求の請求書訂正がある場合、販売スケジュールは処理できません。

販売スケジュールライン、販売スケジュールの実際納入ライン、または請求書訂正のいずれかが [請求済] 状況ではない販売スケジュールを処理する場合、次の処理が実行されます。

1. [請求済] 状況の販売スケジュールライン、実際納入ライン、および請求書訂正の状況を [処理済] へ変更します。
2. [請求済] 状況ではない販売スケジュールライン、実際納入ライン、および請求書訂正の状況は変更されません。
3. 販売スケジュールの状況が [処理実行中] に変更されます。

状況が [処理実行中] の販売スケジュールで、処理されていない販売スケジュールライン、実際納入ライン、または請求書訂正の状況が [請求済] になった場合、これらの販売スケジュールライン、実際納入ライン、および請求書訂正が自動的に処理され、販売スケジュールの状況が [処理済] に変更されます。

削除

販売スケジュールのアーカイブおよび削除 (tdsls3224m000) セッションで、[取消済]、[交換済]、および [処理済] の販売スケジュールラインを削除できます。

処理済の販売スケジュールを削除する場合、販売スケジュールに関連する次のデータがすべて削除されます。

- 販売スケジュールおよび販売スケジュールライン
- ピックアップシートおよびピックアップシートライン
- 販売発行、発行ライン、および発行ライン詳細
- 連続出荷情報
- 販売スケジュール実際納入ライン
- 出荷済累計
- 請求済累計
- FAB 権限および RAW 権限

注意

- 販売スケジュールラインは、リンクされた倉庫オーダー、計画済倉庫オーダーリンク、および計画済倉庫オーダーが正しく削除できた後のみ削除できます。

- あるスケジュールのすべてのラインを削除すると、そのスケジュールヘッダも自動的に削除されます。

販売スケジュールの終了

取引先との関係が終了し、販売先取引先固有の品目データを変更する場合は、販売スケジュールを終了できます。リンクされた計画済倉庫オーダまたは販売スケジュールの状況が終了プロセスに影響することがあります。

注意

販売スケジュールを終了するには、販売スケジュールの終了 (tdsls3211m100) セッションを使用します。

作成済、調整済、承認済、または計画済

販売スケジュールを終了する場合、関連する販売スケジュールの状況が [作成済]、[調整済]、または [承認済] であれば、販売スケジュールラインの状況は [取消済] に変更されます。

販売スケジュールを終了する場合、関連する計画済倉庫オーダの状況が [計画済] であれば、計画済倉庫オーダの状況は [取消済] に変更されます。

注意

次の販売スケジュールラインのいずれかが取り消されると、承認プロセスの結果は元に戻されます。

- [承認済] 状況の販売スケジュールライン
- 出庫処理がまだ開始されていない [オーダ生成済] 状況の販売スケジュールライン

オーダ生成済または倉庫管理への発行

販売スケジュールを終了する場合、販売スケジュールラインの状況が [オーダ生成済] であれば、またはリンクされた計画済倉庫オーダの状況が [倉庫管理へ発行済] であれば、関連する出庫オーダラインは計画済倉庫オーダ/販売スケジュールラインを取り消せるかどうかを決定します。

- 出庫処理がまだ開始されていない場合、出庫オーダラインが削除され、計画済倉庫オーダ/販売スケジュールラインの状況は [取消済] になります。
- 出庫処理が開始されている場合、出庫オーダラインおよび計画済倉庫オーダは [取消済] に設定され、販売スケジュールラインの状況は [取消処理中] になります。
- [取消済] に設定されている出庫オーダラインの状況が [出荷済] の場合、販売スケジュールラインの状況は [取消済] になります。

一部出荷または部分納入済

販売スケジュールを終了する場合、販売スケジュールラインの状況が [一部出荷] であれば、またはリンクされた計画済倉庫オーダの状況が [部分納入済] であれば、関連する出庫オーダラインは、計画済倉庫オーダ/販売スケジュールラインを取り消せるかどうかを決定します。

- 出庫処理がまだ開始していない場合
残数量の出庫オーダラインは削除されます。計画済倉庫オーダの状況は [ファイナライズ済] になり、販売スケジュールラインの状況は [納入済] になります。

- 出庫処理が開始した場合
残数量の出庫オーダーラインは [取消済] に設定され、販売スケジュールラインの状況は [一部出荷] のままになります。[取消済] に設定されている出庫オーダーラインの状況が [出荷済] の場合、販売スケジュールラインの状況は [納入済] になります。
- 計画済倉庫オーダー数量の取り消された部分が計画済倉庫オーダー上で更新され、[取消済数量] として更新されます。計画済倉庫オーダーにリンクされている販売スケジュールラインの状況は [納入済] になります。
- 取り消された計画済倉庫オーダーにリンクされた販売スケジュールラインには、取消履歴レコードが存在します。これらの履歴レコードの取消済数量の合計は、リンクする計画済倉庫オーダーの取消済数量と同じです。

納入済、ファイナライズ、請求への発行、請求済

販売スケジュールを終了する場合、リンクされた計画済倉庫オーダーの状況が [ファイナライズ済]、[請求への発行済]、または [請求済] であれば、または販売スケジュールラインの状況が [納入済]、[請求への発行]、または [請求済] であれば、販売スケジュール手順は [処理済] 状況になるまでに終了する必要があります。

販売スケジュール状況

終了する販売スケジュールの状況は、次のように計画済倉庫オーダー/販売スケジュールラインの状況によって決まります。

- 計画済倉庫オーダー/販売スケジュールラインの状況のいずれかが [処理済] または [取消済] の場合、販売スケジュールの状況は [終了処理中] になります。
- すべての計画済倉庫オーダー/販売スケジュールラインの状況が [処理済] または [取消済] の場合、販売スケジュールの状況は [終了] になります。

販売スケジュールの状況が [終了処理中] または [終了] の場合、販売スケジュールに新しい改訂を追加することはできません。

販売スケジュール履歴

販売オーダー履歴によって、販売スケジュールの作成および修正を追跡できます。オリジナルスケジュールが完了した後も特定の情報を保持できます。

オーダーおよびスケジュールの作成、取消、または処理の履歴を登録するには、販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500)、[スケジュール履歴のログ] および [実際スケジュール納入履歴のログ] チェックボックスをオンにします。

履歴ファイルの内容

スケジュール履歴には、次のファイルが含まれています。

- すべての作成済スケジュール (ライン) 処理。これらのスケジュールおよびスケジュールラインはまだ処理されていません。
- すべての請求済スケジュール (ライン)。これらは、処理済のスケジュールおよびスケジュールラインです。

履歴ファイルは、次のレコードタイプで構成されます。

- [入力]
スケジュールラインが追加、変更、または削除されました。
- [取消]
スケジュールラインが取り消されました。
- [取引高]
スケジュールラインが納入済販売スケジュールの処理 (tdsls3223m000) セッションで処理済です。

次の表に示すフィールドが、スケジュール履歴ファイルを更新するかどうか、また更新する場合のタイミングとその方法を決定します。

フィールド	セッションから取得
[スケジュール履歴のログ]	販売スケジュール (tdsls3111m000)
[入力のログ記録レベル]	販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500)
[実際スケジュール納入履歴のログ]	販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500)

注意

- 履歴ログは承認中に開始します。
- 計画済倉庫オーダが販売スケジュールに使用される場合、販売スケジュールライン履歴は計画済倉庫オーダ情報に基づきます。

履歴ファイルの削除

販売オーダ/スケジュール履歴のアーカイブおよび削除 (tdsls5201m000) セッションを使用すると、履歴データの合計金額を制限できます。

履歴ファイルは、統計の基準になります。履歴ファイルを削除する前に、統計がすべて更新されていることを確認してください。更新前に履歴ファイルを削除すると、統計を完全に更新することができなくなります。

注意

履歴データは修正できません。これは、参考情報の目的でのみ使用します。

扱い単位

代替の扱い単位構造

あらゆる業種で商品が見込在庫からピッキングされています。これは、在庫に扱い単位が存在せず、このために扱い単位が発送確定保管場所に移されないことを意味しています。発送確定保管場所では、商品を出荷できる状態にするための最終準備が行われます。商品の梱包には、木枠やパレットなどの梱包資材が使用されます。

このビジネスシナリオの場合は、ピッキングの確認時に扱い単位が自動的に作成されます。LNでは、倉庫オーダ出庫ラインの梱包定義に基づいて扱い単位が作成されます。倉庫オーダ出庫ラインにデフォルト設定された梱包定義が通常の状況で品目または品目と取引先の組合せに適用される梱包定義になります。

梱包資材の不足が発生することが時々あります。ほとんどの場合、適切な梱包資材が利用可能になるまで商品の出荷を延期できません。実際には、種類/大きさの異なるボックスや他のパレットなどの代替梱包資材が使用されます。

つまり、代替の梱包定義または扱い単位テンプレートを使用する必要があります。

この場合は、出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションの適切なメニューで、[扱い単位] をクリックするか、次のいずれかのオプションを選択します。

- [代替梱包定義]
詳細は、次のオンラインヘルプを参照してください: 代替梱包定義の選択 (whinh4231m400) セッション
- [特定梱包]
詳細は、次の情報を参照してください: 出荷ライン固有扱い単位テンプレート (ページ 80)

次の場合、いずれのオプションも使用できません。

- 出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションの [梱包定義] フィールドが [可変] タイプではないか、空である
- 出庫オーダライン (whinh2120m000) セッションの [梱包定義まとめ] チェックボックスがオン
- 出荷ラインの状況が [オープン] ではない
- 扱い単位が在庫を参照していない。出荷ラインにリンクされた扱い単位には、リンク済ロットに関する情報が含まれています。このシナリオでは、出荷ラインレベルで扱い単位を削除することができません。この理由は、出荷ラインにリンクされた扱い単位にのみ含

まれている在庫特徴情報が失われるためです。この情報は、出荷ラインには保存されていません。

- 次の場合は、扱い単位を作成できません。
 - 出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションで出荷ラインが [マニュアル] としてマークされている
 - 倉庫が WMS 管理されている
 - マニュアルでの出庫処理が許可されていない
 - 扱い単位が出荷で使用されていない
 - 出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションの [未出荷数量(棚卸単位)] 数量がゼロより大きい

出荷ライン固有扱い単位テンプレート

出荷ラインに固有の梱包構造を構成できます。この構造は該当する出荷ラインにのみ適用され、他の出荷ラインでは再使用できません。たとえば、通常はパレットに積載しているボックスをコンテナに積載したい場合があります。

梱包材を置き換えるには、出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションの適切なメニューで、[扱い単位] と [特定梱包] を選択します。扱い単位テンプレート (whwmd4160m000) セッションが開始されます。このセッションで出荷ライン固有扱い単位テンプレートを定義できます。

出荷ライン固有扱い単位テンプレートがあらかじめ用意されていない場合は、次の手順が実行されます。

1. 新しい扱い単位テンプレート ID が作成されます。
2. 新しい出荷ライン固有テンプレートがデフォルト設定されます。デフォルトになるテンプレートは、次の場所からコピーされます。
 - a. 出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションの [梱包定義] フィールド
 - b. 出庫ラインの梱包定義
 - c. 上記のステップの梱包定義がいずれも未入力の場合は、出荷ライン固有テンプレートがデフォルト設定されません。
3. 補助梱包品目がある場合は、新しい出荷ライン固有テンプレートにコピーされます。

扱い単位テンプレート (whwmd4160m000) セッションの [扱い単位の (再) 生成] ボタンをクリックすると、この出荷ライン固有扱い単位テンプレートに基づいて新しい扱い単位構造が作成されます。

注意

システムから出荷ラインが削除されると、それに対応する出荷ライン固有扱い単位テンプレートも削除されます。

扱い単位を (単一品目から複数品目に、またはその逆に) 変更する場合の例

LN では、単一品目扱い単位しか作成されません。複数品目扱い単位の作成はマニュアルでの処理になります。単一品目扱い単位を複数品目扱い単位に変更することができます。単一品目扱い単

位を複数品目扱い単位に変更すると、多くの場合に別のラベルレイアウトが適用されます。詳細は、次のオンラインヘルプを参照してください:

- 倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [複数品目扱い単位の自動ラベル] フィールド
- 扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの [複数品目ラベルレイアウト] フィールド

例

車の内部ミラーと外部左側ミラーという 2 つの品目で構成された出荷があるとします。最初の段階で、この出荷には 2 つの出荷ライン (品目「内部ミラー」における 1 つのラインと品目「外部左側ミラー」における 1 つのライン) があります。単一品目マスタが 2 つあり、マスタごとにシングルが 2 つあると想定します。つまり、(単一品目) 親扱い単位ごとに 2 つの子扱い単位があることになります。この場合は、4 つの単一品目シングル (4 つの子扱い単位) があります。定義されたラベルレイアウトコードを次の表に示します。

販売品目	シングルの梱包情報	マスタの梱包情報
内部ミラー	KLT1234、単一品目ラベルレイアウトコード = AAA	パレット、単一品目ラベルレイアウトコード = KKK、複数品目ラベルレイアウトコード = LLL
外部左側ミラー	KLT5678、単一品目ラベルレイアウトコード = BBB	コンテナ、単一品目ラベルレイアウトコード = MMM、複数品目ラベルレイアウトコード = NNN

さまざまなシナリオ

- シナリオ 1: 外部左側ミラーを含むシングルをコンテナからマニュアルで取得し、内部ミラーを含むパレットに配置します。この場合は、パレットが複数品目扱い単位になります。これ以降、パレットのラベルの出力に複数品目ラベルレイアウト「LLL」が使用されることになります。シングルのラベルの出力には、まだラベルレイアウト「AAA」と「BBB」が使用されます。コンテナの複数品目ラベルレイアウト「NNN」は使用されなくなります。
- シナリオ 2: もう一方の選択肢として、内部ミラーを含むシングルをパレットからマニュアルで取得し、外部左側ミラーを含むコンテナに配置します。この場合は、コンテナが複数品目扱い単位になります。これ以降、コンテナのラベルの出力に複数品目ラベルレイアウト「NNN」が使用されることになります。シングルのラベルの出力には、まだラベルレイアウト「AAA」と「BBB」が使用されます。パレットの複数品目ラベルレイアウト「LLL」は使用されなくなります。
- シナリオ 3: マスタ扱い単位を新規に作成します。シングルをパレットとコンテナから取得し、新規の扱い単位に配置します。新規の扱い単位を作成すると、梱包定義もデフォルトラベルレイアウトも使用できなくなります。この場合は、エンドユーザが目的に合ったラベルレイアウトコードをマニュアルで入力する必要があります。

順序付

出庫処理では、[順序付] 機能を使用して、扱い単位を事前定義構造に梱包し、積荷連番に基づいて昇順に扱い単位を出庫に発行します。

積荷連番と、出庫勧告ラインまたはピッキングリストラインが、発生元の販売スケジュールラインの参照番号に基づいて作成されます。

扱い単位構造は、発生元の販売スケジュールラインの参照番号と梱包参照番号に基づきます。

参照番号に基づいて、勧告ラインまたはピッキングラインが昇順に発行されます。

注意

積荷プラットフォームで実施される実際の積荷活動は監視しません。扱い単位を降順で積み込む必要がある場合、ドッキング担当者の責任において、最大の連番を持つ扱い単位を最初に積み込みます。

処理詳細

発生元の販売スケジュールラインの参照番号は、販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションの [参照] フィールドで指定します。

発生元の梱包参照番号は、販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションの [梱包参照 A] フィールドおよび [梱包参照 B] フィールドに指定します。

販売スケジュールラインから、出庫オーダーライン参照配分 (whinh2529m000) セッションおよび出荷ライン参照配分 (whinh4529m000) セッションの参照および梱包参照のフィールドに参照番号が渡されます。

順序付機能は予想出荷を使用するため、出庫オーダーラインの作成時には積荷および出荷構造が作成されます。

出庫処理で、参照番号ごとに出庫勧告ラインが生成されます。出庫手順でピッキングリストが使用されている場合は、参照番号ごとにピッキングリストラインが生成されます。

出庫勧告の発行時またはピッキングリストの確定時に、以下のことが行われます。

- 参照番号と梱包参照 A コードまたは梱包参照 B コードに基づいて、扱い単位構造が作成されます。次を参照してください。例
- 参照番号に基づいて、勧告ラインまたはピッキングリストラインが昇順に発行されます。

この順序に従わないと、処理が停止し、エラーメッセージが表示されます。たとえば、より小さい連番の付いたラインがまだピッキングされていないにもかかわらず、ピッキングリストラインをマニュアルでピッキング済および確定済にすると、エラーメッセージが表示されます。

扱い単位作成

梱包定義 (whwmd4110m000) セッションおよび品目 - 梱包定義 (whwmd4130m000) セッションの [参照に基づく扱い単位の作成 (出荷)] チェックボックスがオンの場合、参照番号別に扱い単位が作成されます。

扱い単位の構造は、扱い単位テンプレートノードの [単一参照]、[単一梱包参照 A] または [単一梱包参照 B] チェックボックスの設定に基づきます。

最下位ノードが仮想に設定されている場合、最下位の扱い単位およびそれに含まれる品目の数量は可変です。ただし、最下位ノードの合計品目数量が親ノードの数量を超過することはできません。次を参照してください。柔軟なテンプレート - 仮想扱い単位。

設定

1. 出荷手順の梱包定義を定義します。
2. 梱包定義 (whwmd4110m000) セッションおよび品目 - 梱包定義 (whwmd4130m000) セッションの [参照に基づく扱い単位の作成 (出荷)] チェックボックスをオンにします。
3. 扱い単位テンプレート (whwmd4160m000) セッションで以下のチェックボックスをオンにします。
 - 親ノードの [出荷に対して複数の品目を許可]
 - 第 2 レベルノードの [単一梱包参照 A] または [単一梱包参照 B]
 - 最下位ノードの場合:
 - [単一参照]
 - [単一梱包参照 A] または [単一梱包参照 B]
 - オプションで [仮想ノード] 次を参照してください。例
4. 倉庫別品目データ (whwmd2110s000) セッションの [扱い単位の自動生成時点] セクションにある [予想出荷の作成] フィールドで、[No] を選択します。
5. 以下のチェックボックスをオンにします。
 - 在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [使用中の予想出荷]
 - 倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの関連倉庫オーダタイプの [使用中の予想出荷] および [順序付]
 - 倉庫別品目データ (whwmd2110s000) セッションの [ピッキング確定時に扱い単位を自動生成]

例

扱い単位テンプレート T1 について、この構造が定義されています。

ノード	梱包品目	梱包品目 数量	品目数 量	複数品目	単一参照	単一参照 A	仮想ノード
1	パレット	1		オン			適用なし
2	木枠	2	40	オン	オフ	オン	適用なし
3	ボックス		適用なし	適用なし	オン	オン	オン

出荷ライン参照配分 (whinh4529m000) セッションには、予想出荷ライン SHP1000/10 が以下の参照情報とともに表示されます。

ライン	参照	品目	梱包参照 A	数量
1	1111	A1	80	20
2	3333	A1	100	15
3	2222	A2	100	5

順序付ルールに従い、参照番号 1111 のライン 1 が最初にピッキングされます。ライン 1 の場合、この扱い単位構造はテンプレート T1 に基づいて生成されます。

ノードレベル	扱い単位	梱包品目	参照	梱包参照 A	品目	品目数量
1	HU001	パレット	1111	80	A1	
2	HU002	木枠	1111	80	A1	
3	HU003	ボックス	1111	80	A1	20

次に、参照番号 2222 のライン 3 がピッキングされます。ライン 3 の場合、さらにボックス 1 個と木枠 1 個が生成されます。これは、単一参照 A の制限が木枠レベルに適用され、HU003 のボックスにはボックスレベルに定義された最大品目数量が入っているためです。以下の扱い単位構造が生成されます。

ノードレベル	扱い単位	梱包品目	参照	梱包参照 A	品目	品目数量
1	HU001	パレット				
2	HU002	木枠	1111	80	A1	
3	HU003	ボックス	1111	80	A1	20
2	HU004	木枠	2222	100	A2	
3	HU005	ボックス	2222	100	A2	5

最後に、参照番号 3333 のライン 2 がピッキングされます。ライン 2 には、梱包参照 A 100、数量 15 があります。HU0006 のボックスが作成され、木枠 HU004 に追加されます。

ノードレベル	扱い単位	梱包品目	参照	梱包参照 A	品目	品目数量
1	HU001	パレット				
2	HU002	木枠	1111	80	A1	
3	HU003	ボックス	1111	80	A1	20
2	HU004	木枠		100		
3	HU005	ボックス	2222	100	A2	5
3	HU006	ボックス	3333	100	A1	15

ライン 1 の数量全体が 1 個のボックスに入れます。このテンプレートでボックスレベルの品目数量が 15 に設定されている場合、ボックスがもう 1 個生成されますが、実際にはドッキング担当者が何らかの方法で品目を 1 個のボックスに入れると考えられます。この状況で仮想最下位ノードを使用する利点は、個々の木枠について正確なボックス数が不要であることです。これにより、木枠 1 個あたりの最大品目数量が 20 品目を超過しない限り、異なる品目数量を含む異なるボックス数を最下位ノードに生成できます。

したがって、1 個のパレットで 2 個の木枠を運び、各木枠に最大 20 品目を含み、各ボックスの固定品目数量が重要でないすべての構造で、同じテンプレートを使用できます。

扱い単位マスク

扱い単位 ID 番号は、扱い単位マスクに基づいて生成されます。マスクを使用すると、発注先番号などの特定の取引先に関連する特徴を扱い単位 ID に指定できます。

次の扱い単位を指定して、扱い単位 ID 番号を生成できます。

マスク	セッション
[取引先固有扱い単位マスク]	出荷先取引先 (tccom4511m000)
[取引先固有扱い単位マスク]	販売先取引先 (tccom4510m000)
[出荷扱い単位マスク]	倉庫 (whwmd2500m000)
[扱い単位マスク]	倉庫マスタデータパラメータ (whwmd0100s000)

これらのマスクは、入庫手順および出庫手順で扱い単位が生成されるときに使用されます。

入庫手順

1. 生成される扱い単位が需要ペギングを通して販売先取引先に引き当てられている場合、販売先取引先に定義された出荷扱い単位マスクが使用されます。
2. 入庫倉庫に定義された出荷扱い単位マスクが使用されるのは、次の場合です。
 - 入庫した製品が販売先取引先に引き当てられていない、または扱い単位マスクが販売先取引先に定義されていない
 - 倉庫別品目データ (whwmd2510m000) セッションの [出荷] チェックボックスがオン
3. [出荷] チェックボックスがオフ、または出荷扱い単位マスクが入庫倉庫に定義されていない場合、倉庫マスターデータパラメータ (whwmd0100s000) セッションで定義されている一般的な扱い単位マスクが使用されます。

出庫手順

1. 出荷に対して扱い単位が生成される場合、出荷先の取引先に定義された出荷扱い単位マスクが使用されます。
2. 出荷先の取引先に出荷扱い単位マスクが存在しない場合、販売先取引先に定義された出荷扱い単位マスクが使用されます。
3. 販売先取引先に出荷扱い単位マスクが定義されていない場合、出庫倉庫に定義された出荷扱い単位マスクが使用されます。
4. [出荷で扱い単位を使用] チェックボックスがオフ、または出荷扱い単位マスクが入庫倉庫に定義されていない場合、倉庫マスターデータパラメータ (whwmd0100s000) セッションで定義されている一般的な扱い単位マスクが使用されます。

扱い単位 (whwmd5130m000) セッションにおけるさまざまな扱い単位 ID

扱い単位 ID は、在庫にある扱い単位の内部扱い単位マスクに基づいて生成されます。内部扱い単位マスクは、倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [内部扱い単位マスク] フィールドで定義されます。

このような扱い単位が出荷のために出庫され、出荷扱い単位マスクが存在する場合

- 内部扱い単位マスクに基づく扱い単位 ID は、扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの [扱い単位] フィールドに表示されます。
- 出荷扱い単位マスクに基づく扱い単位 ID は、扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの [出荷ラベル] フィールドに表示されます。

それ以外の場合はすべて、[扱い単位] フィールドと [出荷ラベル] フィールドの扱い単位 ID、およびその ID が基づくマスクが同じになります。

ライン側ラベル

製造からの完成品の入庫を確認するときに、発生元需要オーダーに関連するさまざまなフィールドを扱い単位ラベルに出力することができます。これは、出荷ドックではなく製造中または入庫中にコンテナラベルを添付することによってラベル付の間違いを減らすためです。

発生元需要オーダーは、完成品の製造オーダーが開始された販売スケジュールと関連する販売契約です。

発生元需要オーダに関連するフィールドの例を以下に挙げます。

- [販売先取引先]
- [出荷先取引先]
- 販売契約の販売先および出荷先住所フィールド
- [取引先品目]
- [取引先品目]
- [取引先品目改訂]

[取引先品目] と [取引先品目] は、入庫済品目および引当済取引先に関連する品目コードシステムから取得されます。[取引先品目改訂] 番号は、取引先品目コードを介して取得されます。

ラベル出力で利用できる需要オーダフィールドの完全なリストについては、次を参照してください。ライン側ラベルのラベルレイアウト (ページ 104)。

需要オーダフィールドの取得方法

入庫中に需要オーダフィールドを取得するには、需要ペギングが品目に対して実施されている必要があります。入庫した扱い単位 (存在する場合) または製造オーダの入庫ラインの仕様を使用して、発生元需要オーダのフィールドが取得され、それが扱い単位ラベルに出力されます。

需要オーダフィールドの取得は、需要ペギングタイプが [顧客基準] および [顧客所在地基準] の場合にサポートされます。

注意

品目に販売契約または販売スケジュールが複数存在する場合、どの契約またはスケジュールが該当する契約またはスケジュールか判断できないため、ラベルに出力される情報は不完全です。

需要ペギングの設定

1. 導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0100s000) セッションで [需要ペギング] チェックボックスをオンにします。
2. 品目 (tcibd0501m000) セッションで該当する品目の [需要ペギング] チェックボックスをオンにして、[需要ペギングタイプ] フィールドで [顧客基準] または [顧客所在地基準] を指定します。

注意

扱い単位が入庫中に使用される場合、倉庫別品目データ (whwmd2510m000) セッションの [引当レベル] フィールドに [物的品目] を指定します。その結果、扱い単位は需要オーダの仕様になります。

取引先品目コードシステムおよび品目の設定

1. 品目コードシステム - 品目 (tcibd0104m000) セッションで販売先取引先の品目コードシステムと取引先品目コードを指定します。
2. 取引先品目 - 改訂 (tcibd0114m000) セッションで取引先品目改訂を指定します。

ラベル出力の設定

次のいずれかのセッションで、ラベルに出力されるフィールドのラベルレイアウトを定義します。

- ラベルレイアウト (whwmd5520m000)
- 活動別ラベルレイアウト (whwmd5121m000)

ラベルのレイアウトと出力

ラベルレイアウト (whwmd5520m000) セッションでは、次の目的に使用できるラベルの作成とメンテナンスが行えます。

- [カンバン] ラベルの出力
- [入庫勧告の作成]
- [出庫勧告の作成...]
- 扱い単位のラベル出力
- [直接資材供給]

ラベルレイアウトは、ラベルレイアウト出力 (whwmd5420m000) セッションで出力できます。

注意

ラベルレイアウトにバーコードを含める方法については、バーコードの出力を参照してください。

ラベルレイアウト

ラベルレイアウトには、ラベルコードの形で複数のラベルフィールドを含めることができます。これらのラベルコードの前には、ハッシュ記号、「lb」、およびピリオド (#lb.) を付ける必要があります。出力されたラベル上では、ラベルコードは対応するラベルフィールドの値に置き換えられます。

*

供給場所は、固定保管場所 (whwmd3502m000) セッションで供給倉庫と品目に定義されている固定保管場所です。このフィールドをラベルに出力できるのは、商品が倉庫から供給される場合だけです。詳細は、次の情報を参照してください: [供給設定]。

各倉庫/品目に複数の固定保管場所が存在する場合、優先順位が最も高い (値が最も小さい) 固定保管場所が出力されます。

列、レベル、および棚は、倉庫 - 保管場所 (whwmd3100s000)

セッションの保管場所定義の一部です。

* *

カンバン納入は、実際にはワークセンタをサポートする工程倉庫に対して行われます。ワークセンタを出力できるのは、工程倉庫がワークセンタをサポートする場合だけです。

バーコードの出力

バーコードを出力するには、`#bc.lb.[label_code]` のように、シャープ記号と「lb」の間に「bc.」を挿入します。

例: `#bc.lb.item.desc` と指定すると、品目記述のバーコードが出力されます。

注意

- バーコードは、画面上には表示されません。
- 正しいカートリッジが取り付けられているか確認してください。

扱い単位のラベル出力

扱い単位 (コンテナ、品目、梱包など) を一意に識別するために、ラベルを出力できます。高品質の出力を得るために、ラベル出力アプリケーションを使用することもできます。このようなアプリケーションへの入力 LN から供給されます。ラベルは単なるバーコードではなく、通常は品目コードと扱い単位番号の組合せ (どちらも数字とバーコードで表示) であることに注意してください。

特定の扱い単位のラベルを作成するには、扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの [状況] タブで、[ラベル付] チェックボックスをオンにします。

扱い単位のラベルを出力するには、ラベルの出力 (whwmd5430m100) セッションを使用します。ラベルは、ラベルレイアウト (whwmd5520m000) セッションで指定したレイアウトに従って出力されます。ラベルにシリアル番号が出力されるのは、次のような場合だけです。

- 品目 - 倉庫管理 (whwmd4100s000) セッションの [シリアル追跡] チェックボックスがオン
- 1 つのシリアル番号付品目が出荷ラインにリンクしている
- 在庫がシリアル番号管理されている

扱い単位が指定されていない入庫および出荷ラベルの出力

詳細は、次の情報を参照してください: 扱い単位が指定されていない入庫および出荷ラベルの出力。

注意

梱包定義を使用する場合、扱い単位構造の特定の部分に対してラベルが自動的に作成されるように指定できます。

「入庫」手順では、次のフィールドをラベルに出力できます。

フィールド	表記	バーコード表記
出荷元タイプ	lb.shfr.type	bc.lb.shfr.type
出荷元のコード	lb.shfr.code	bc.lb.shfr.code
出荷先タイプ	lb.shto.type	bc.lb.shto.type
出荷先コード	lb.shto.code	bc.lb.shto.code
出荷元保管場所	lb.shfr.loc	bc.lb.shfr.loc
出荷先保管場所	lb.shto.loc	bc.lb.shto.loc
実行番号	lb.run.number	bc.lb.run.number
任務	lb.mission	bc.lb.mission
品目	lb.item	bc.lb.item
品目数量	lb.quan.str	bc.lb.quan.str
品目数量 - 棚卸単位	lb.quan.inv	bc.lb.quan.inv
取引先品目コード	lb.cus.itm	bc.lb.cus.itm
取引先品目改訂	lb.cus.itm.rev	bc.lb.cus.itm.rev
単位	lb.unit	bc.lb.unit
オーダー発生元	lb.order.orig	bc.lb.order.orig
オーダー番号	lb.order	bc.lb.order
オーダーセット	lb.order.set	bc.lb.order.set
オーダーライン	lb.order.line	bc.lb.order.line
オーダーライン連番	lb.order.seq	bc.lb.order.seq
勧告番号	lb.advice	bc.lb.advice
ロットコード	lb.lot	bc.lb.lot

シリアル番号	lb.serial	bc.lb.serial
在庫日付	lb.inv.date	bc.lb.inv.date
梱包定義	lb.pack.def	bc.lb.pack.def
組立キット	lb.ass.kit	bc.lb.ass.kit
ラインステーション	lb.ln.station	bc.lb.ln.station
ジョブ順序	lb.job.seq	bc.lb.job.seq
親シリアル	lb.parent.seri	bc.lb.parent.seri
組立オーダ	lb.ass.order	bc.lb.ass.order
オーダ参照	lb.reference	bc.lb.reference
部品表ライン	lb.bom.line	bc.lb.bom.line
品目記述	lb.item.desc	bc.lb.item.desc
製造元	lb.manuf	bc.lb.manuf
製造元記述	lb.manuf.desc	bc.lb.manuf.desc
製造元製品番号	lb.manuf.prt.n	bc.lb.manuf.prt.n
製造元製品番号記述	lb.manuf.prt.d	bc.lb.manuf.prt.d
入庫日	lb.rec.date	bc.lb.rec.date

次を参照してください。ライン側ラベルのラベルレイアウト (ページ 104)。

「出庫」手順では、次のフィールドをラベルに出力できます。

フィールド	表記	バーコード表記
出荷元タイプ	lb.shfr.type	bc.lb.shfr.type
出荷元のコード	lb.shfr.code	bc.lb.shfr.code
出荷先タイプ	lb.shto.type	bc.lb.shto.type
出荷先コード	lb.shto.code	bc.lb.shto.code
出荷元保管場所	lb.shfr.loc	bc.lb.shfr.loc
出荷先保管場所	lb.shto.loc	bc.lb.shto.loc
実行番号	lb.run.number	bc.lb.run.number
任務	lb.mission	bc.lb.mission
品目	lb.item	bc.lb.item
取引先品目コード	lb.cus.itm	bc.lb.cus.itm
取引先品目改訂	lb.cus.itm.rev	bc.lb.cus.itm.rev
有効化コード	lb.eff.unit	bc.lb.eff.unit
数量 (保管単位)	lb.quan.str	bc.lb.quan.str
数量 (棚卸単位)	lb.quan.inv	bc.lb.quan.inv
単位	lb.unit	bc.lb.unit
オーダー発生元	lb.order.orig	bc.lb.order.orig
オーダー番号	lb.order	bc.lb.order
オーダーセット	lb.order.set	bc.lb.order.set
オーダーライン	lb.order.line	bc.lb.order.line
オーダーライン連番	lb.order.seq	bc.lb.order.seq
勧告番号	lb.advice	bc.lb.advice

ロット	lb.lot	bc.lb.lot
シリアル	lb.serial	bc.lb.serial
在庫日付	lb.inv.date	bc.lb.inv.date
梱包定義	lb.pack.def	bc.lb.pack.def
組立キット	lb.ass.kit	bc.lb.ass.kit
ラインステーション	lb.ln.station	bc.lb.ln.station
ジョブ順序	lb.job.seq	bc.lb.job.seq
親シリアル	lb.parent.seri	bc.lb.parent.seri
組立オーダ	lb.ass.order	bc.lb.ass.order
オーダ参照	lb.reference	bc.lb.reference
部品表ライン	lb.bom.line	bc.lb.bom.line
品目記述	lb.item.desc	bc.lb.item.desc
納入地点	lb.del.point	bc.lb.del.point
納入地点記述 1	lb.dp.dsca.1	bc.lb.dp.dsca.1
納入地点記述 2	lb.dp.dsca.2	bc.lb.dp.dsca.2
機械	lb.machin	bc.lb.machin
機械記述	lb.machin.desc	bc.lb.machin.desc
作業手順	lb.operation	bc.lb.operation
タスク	lb.task	bc.lb.task
タスク記述	lb.task.desc	bc.lb.task.desc
ワークセンタ	lb.work.cent	bc.lb.work.cent
ワークセンタ記述	lb.work.c.desc	bc.lb.work.c.desc

「扱い単位」では、次のフィールドをラベルに出力できます。

フィールド	表記	バーコード表記
扱い単位	lb.handl.unit	bc.lb.handl.unit
開始扱い単位	lb.from.huid	bc.lb.from.huid
扱い単位バージョン	lb.version	bc.lb.version
表示単位	lb.visible	bc.lb.visible
出荷元タイプ	lb.shfr.type	bc.lb.shfr.type
出荷元のコード	lb.shfr.code	bc.lb.shfr.code
出荷元会社	lb.shfr.comp	bc.lb.shfr.comp
出荷先タイプ	lb.shto.type	bc.lb.shto.type
出荷先コード	lb.shto.code	bc.lb.shto.code
出荷先会社	lb.shto.comp	bc.lb.shto.comp
参照	lb.reference	bc.lb.reference
親扱い単位	lb.parent.huid	bc.lb.parent.huid
状況	lb.status	bc.lb.status
完了	lb.complete	bc.lb.complete
不合格	lb.rejected	bc.lb.rejected
複数品目	lb.multi.item	bc.lb.multi.item
品目	lb.item	bc.lb.item
品目記述	lb.item.desc	bc.lb.item.desc
有効化コード	lb.eff.unit	bc.lb.eff.unit
ロット	lb.lot	bc.lb.lot
在庫日付	lb.inv.date	bc.lb.inv.date

シリアル	lb.serial	bc.lb.serial
数量 (保管単位)	lb.quan.str	bc.lb.quan.str
単位	lb.unit	bc.lb.unit
数量 (棚卸単位)	lb.quan.inv	bc.lb.quan.inv
梱包定義	lb.pack.def	bc.lb.pack.def
梱包品目	lb.pack.item	bc.lb.pack.item
資産タグ	lb.asset.tag	lb.asset.tag
梱包品目数量	lb.quan.pack	bc.lb.quan.pack
取引先品目コード	lb.cus.itm	bc.lb.cus.itm
取引先品目改訂	lb.cus.itm.rev	bc.lb.cus.itm.rev
倉庫	lb.warehouse	bc.lb.warehouse
保管場所	lb.location	bc.lb.location
総重量	lb.gross.wght	bc.lb.gross.wght
正味重量	lb.net.wght	bc.lb.net.wght
重量単位	lb.weight.unit	bc.lb.weight.unit
容積	lb.volume	bc.lb.volume
フロアスペース	lb.floor.space	bc.lb.floor.space
高さ	lb.height	bc.lb.height
幅	lb.width	bc.lb.width
奥行	lb.depth	bc.lb.depth
寸法単位	lb.dim.unit	bc.lb.dim.unit
ブロック済	lb.blocked	bc.lb.blocked

循環棚卸ブロック	lb.counting	bc.lb.counting
処理日	lb.trans.date	bc.lb.trans.date
ログ名	lb.log.name	bc.lb.log.name
製造元	lb.manuf	bc.lb.manuf
製造元記述	lb.manuf.desc	bc.lb.manuf.desc
製造元製品番号	lb.manuf.prt.n	bc.lb.manuf.prt.n
製造元製品番号記述	lb.manuf.prt.d	bc.lb.manuf.prt.d
所有者	lb.owner	bc.lb.owner
所有権	lb.ownership	bc.lb.ownership
複数所有者	lb.multi.owner	bc.lb.multi.owner
オーダ発生元	lb.order.orig	bc.lb.order.orig
オーダ番号	lb.order	bc.lb.order
オーダセット	lb.order.set	bc.lb.order.set
オーダライン	lb.order.line	bc.lb.order.line
オーダ順序	lb.order.seq	bc.lb.order.seq
部品表ライン	lb.bom.line	bc.lb.bom.line
入庫	lb.receipt	bc.lb.receipt
入庫ライン	lb.receipt.ln	bc.lb.receipt.ln
出荷	lb.shipment	bc.lb.shipment
出荷ライン	lb.shipment.ln	bc.lb.shipment.ln
積荷	lb.load	bc.lb.load
コンテナ	lb.container	bc.lb.container

組立キット	lb.ass.kit	bc.lb.ass.kit
ラインステーション	lb.ln.station	bc.lb.ln.station
ジョブ順序	lb.job.seq	bc.lb.job.seq
親シリアル	lb.parent.seri	bc.lb.parent.seri
組立オーダ	lb.ass.order	bc.lb.ass.order
検査	lb.inspect	bc.lb.inspect
クロスドッキング	lb.crossdock	bc.lb.crossdock
移送先保管場所	lb.dest.loc	bc.lb.dest.loc
入庫 - 運送業者	lb.rec.carr	bc.lb.rec.carr
出荷元住所 - 名前 1	lb.sf.ad01	bc.lb.sf.ad01
出荷元住所 - 名前 2	lb.sf.ad02	bc.lb.sf.ad02
出荷元住所 1	lb.sf.ad03	bc.lb.sf.ad03
出荷元住所 2	lb.sf.ad04	bc.lb.sf.ad04
出荷元住所 - 番地	lb.sf.ad05	bc.lb.sf.ad05
出荷元住所 - 私書箱番号	lb.sf.ad06	bc.lb.sf.ad06
出荷元住所 - 市	lb.sf.ad07	bc.lb.sf.ad07
出荷元住所 - 市 2	lb.sf.ad08	bc.lb.sf.ad08
出荷元住所 - 郵便番号	lb.sf.ad09	bc.lb.sf.ad09
出荷元住所 - 国	lb.sf.ad10	bc.lb.sf.ad10
出荷先住所 - 名前 1	lb.st.ad01	bc.lb.st.ad01
出荷先住所 - 名前 2	lb.st.ad02	bc.lb.st.ad02
出荷先住所 1	lb.st.ad03	bc.lb.st.ad03

出荷先住所 2	lb.st.ad04	bc.lb.st.ad04
出荷先住所 - 番地	lb.st.ad05	bc.lb.st.ad05
出荷先住所 - 私書箱番号	lb.st.ad06	bc.lb.st.ad06
出荷先住所 - 市	lb.st.ad07	bc.lb.st.ad07
出荷先住所 - 市 2	lb.st.ad08	bc.lb.st.ad08
出荷先住所 - 郵便番号	lb.st.ad09	bc.lb.st.ad09
出荷先住所 - 国	lb.st.ad10	bc.lb.st.ad10
入庫 - 積荷	lb.rec.load	bc.lb.rec.load
入庫 - 出荷	lb.rec.shpm	bc.lb.rec.shpm
出荷 - 受渡条件	lb.shpm.tod	bc.lb.shpm.tod
出荷 - 権利移動地点	lb.shpm.potp	bc.lb.shpm.potp
出荷 - 運送業者 PRO 番号	lb.shpm.cpro	bc.lb.shpm.cpro
追跡番号	lb.track.nr	bc.lb.track.nr
出荷 - 計画納期	lb.shpm.deld	bc.lb.shpm.deld
出荷 - 計画入庫日	lb.shpm.prdt	bc.lb.shpm.prdt
出荷 - 関税値	lb.shpm.cval	bc.lb.shpm.cval
出荷 - 関税値通貨	lb.shpm.curr	bc.lb.shpm.curr
積荷 - 運送業者/LSP	lb.load.carr	bc.lb.load.carr
積荷 - 経路	lb.load.route	bc.lb.load.route
出荷参照	lb.ship.ref	bc.lb.ship.ref
納入地点	lb.del.point	bc.lb.del.point
納入地点記述 1	lb.dp.dsca.1	bc.lb.dp.dsca.1

納入地点記述 2	lb.dp.dsca.2	bc.lb.dp.dsca.2
引当先取引先	lb.alloc.bp	bc.lb.alloc.bp
引当先オーダ発生元	lb.alloc.oorg	bc.lb.alloc.oorg
引当先オーダ	lb.alloc.order	bc.lb.alloc.order
引当先オーダ参照	lb.alloc.oref	bc.lb.alloc.oref
参照に割当	lb.alloc.ref	bc.lb.alloc.ref
不合格	lb.quarantine	bc.lb.quarantine
製品バリエーション	lb.prod.var	bc.lb.prod.var
追加情報フィールド 1	lb.addinfo.1	bc.lb.addinfo.1
追加情報フィールド 2	lb.addinfo.2	bc.lb.addinfo.2
追加情報フィールド 3	lb.addinfo.3	bc.lb.addinfo.3
追加情報フィールド 4	lb.addinfo.4	bc.lb.addinfo.4
追加情報フィールド 5	lb.addinfo.5	bc.lb.addinfo.5
追加情報フィールド 6	lb.addinfo.6	bc.lb.addinfo.6
追加情報フィールド 7	lb.addinfo.7	bc.lb.addinfo.7
追加情報フィールド 8	lb.addinfo.8	bc.lb.addinfo.8
追加情報フィールド 9	lb.addinfo.9	bc.lb.addinfo.9
追加情報フィールド 10	lb.addinfo.10	bc.lb.addinfo.10

注意

扱い単位構造では、最下位レベルの扱い単位のラベルが出力されます。最下位レベルの扱い単位に複数のストックポイントが含まれている場合は、ストックポイント情報がラベルに出力されません。この理由は、ラベルフィールドに複数のコードを含めることができないためです。たとえば、扱い単位に3つのストックポイントが含まれていて、ストックポイント詳細である [在庫日付] フィールド (lb.inv.date) がラベル定義に含まれている場合、アプリケーションは3つの在庫日付のいずれを出力するかを認識できません。

「カンバン」では、次のフィールドをラベルに出力できます。

フィールド	表記	バーコード表記
品目	lb.item	bc.lb.item
梱包品目	lb.pack.item	bc.lb.pack.item
数量 (棚卸単位)	lb.quan.inv	bc.lb.quan.inv
単位	lb.unit	bc.lb.unit
出荷元タイプ	lb.shfr.type	bc.lb.shfr.type
出荷元のコード	lb.shfr.code	bc.lb.shfr.code
出荷先タイプ	lb.shto.type	bc.lb.shto.type
出荷先コード	lb.shto.code	bc.lb.shto.code
処理リマーク	lb.hand.rmrk	bc.lb.hand.rmrk
カンバン ID	lb.kanban.id	bc.lb.kanban.id
保管場所	lb.location	bc.lb.location
転送保管場所の列	lb.dloc.row	bc.lb.dloc.row
転送保管場所のレベル	lb.dloc.lev	bc.lb.dloc.lev
転送保管場所の棚	lb.dlob.bin	bc.lb.dlob.bin
転送保管場所の記述	lb.dloc.desc	bc.lb.dloc.desc
品目記述	lb.item.desc	bc.lb.item.desc
ワークセンタ	lb.work.cent	bc.lb.work.cent
供給保管場所	lb.supp.loc	bc.lb.supp.loc
供給保管場所の列	lb.sloc.row	bc.lb.sloc.row
供給保管場所のレベル	lb.sloc.lev	bc.lb.sloc.lev
供給保管場所の棚	lb.sloc.bin	bc.lb.sloc.bin

供給保管場所の記述

lb.sloc.desc

bc.lb.sloc.desc

ライン側ラベルのラベルレイアウト

ライン側ラベルが関係する「入庫」手順では、次の需要オーダフィールドをラベルに出力できます。

フィールド	記述	表記	バーコード表記
tdsls300.ofbp	[販売先取引先]	lb.dpsoto.bp	bc.lb.dpsoto.bp
tdsls300.ofad	[販売先住所]	lb.dpsoto.addr	bc.lb.dpsoto.addr
ccom130.nama	[名前]	lb.dpsoto.ad01	bc.lb.dpsoto.ad01
tccom130.namb	[名前 2]	lb.dpsoto.ad02	bc.lb.dpsoto.ad02
tccom130.namc	[地区]	lb.dpsoto.ad03	bc.lb.dpsoto.ad03
tccom130.namd	[地区 2]	lb.dpsoto.ad04	bc.lb.dpsoto.ad04
tccom130.hono	[番地]	lb.dpsoto.ad05	bc.lb.dpsoto.ad05
tccom130.pobn	[私書箱番号]	lb.dpsoto.ad06	bc.lb.dpsoto.ad06
tccom130.ccit	[都市コード]	lb.dpsoto.ad07	bc.lb.dpsoto.ad07
tccom130.namf	[都市 2]	lb.dpsoto.ad08	bc.lb.dpsoto.ad08
tccom130.pstc	[郵便番号]	lb.dpsoto.ad09	bc.lb.dpsoto.ad09
tccom130.ccty	[国]	lb.dpsoto.ad10	bc.lb.dpsoto.ad10
tdsls311.corn	[顧客オーダ]	lb.dpcust.ordr	bc.lb.dpcust.ordr
tdsls301.stbp	[出荷先取引先]	lb.dpshto.bp	bc.lb.dpshto.bp
tdsls301.stad	[出荷先住所]	lb.dpshto.addr	bc.lb.dpshto.addr
tccom130.nama	[名前]	lb.dpshto.ad01	bc.lb.dpshto.ad01
tccom130.namb	[名前 2]	lb.dpshto.ad02	bc.lb.dpshto.ad02
tccom130.namc	[地区]	lb.dpshto.ad03	bc.lb.dpshto.ad03

tccom130.namd [地区 2]	lbpshto.ad04 bc.lb.dpshto.ad04
tccom130.hono [番地]	lbpshto.ad05 bc.lb.dpshto.ad05
tccom130.pobn [私書箱番号]	lbpshto.ad06 bc.lb.dpshto.ad06
tccom130.ccit [都市コード]	lbpshto.ad07 bc.lb.dpshto.ad07
tccom130.namf [都市 2]	lbpshto.ad08 bc.lb.dpshto.ad08
tccom130.pstc [郵便番号]	lbpshto.ad09 bc.lb.dpshto.ad09
tccom130.ccty [国]	lbpshto.ad10 bc.lb.dpshto.ad10
tdsls301.cwar [倉庫]	lbpsfr.code bc.lb.dpsfr.code
tcmcs003.cadr [住所コード]	lbpsfr.addr bc.lb.dpsfr.addr
tccom130.nama [名前]	lbpsfr.ad01 bc.lb.dpsfr.ad01
tccom130.namb [名前 2]	lbpsfr.ad02 bc.lb.dpsfr.ad02
tccom130.namc [地区]	lbpsfr.ad03 bc.lb.dpsfr.ad03
tccom130.namd [地区 2]	lbpsfr.ad04 bc.lb.dpsfr.ad04
tccom130.hono [番地]	lbpsfr.ad05 bc.lb.dpsfr.ad05
tccom130.pobn [私書箱番号]	lbpsfr.ad06 bc.lb.dpsfr.ad06
tccom130.ccit [都市コード]	lbpsfr.ad07 bc.lb.dpsfr.ad07
tccom130.namf [都市 2]	lbpsfr.ad08 bc.lb.dpsfr.ad08
tccom130.pstc [郵便番号]	lbpsfr.ad09 bc.lb.dpsfr.ad09
tccom130.ccty [国]	lbpsfr.ad10 bc.lb.dpsfr.ad10
tdsls302.pkdf [梱包定義]	lbppack.def bc.lb.dppack.def
tdsls302.cfrw [運送業者/LSP]	lbpcarr.lsp bc.lb.dpcarr.lsp
tdsls302.pcsi [クリティカル安全品目の出力]	lbpprint.csi bc.lb.dpprint.csi

tdsls302.pqap [品質保証処理]	lbdpqualproc bc.lb.dpqual.proc
tcibd004.aitc 顧客品目コード	lb.cus.itm bc.lb.cus.itm
tcibd004.aitd 顧客品目記述	lbcusitm dsc bc.lb.cus.itm.dsc
tcibd014.revi 顧客品目改訂	lbcusitmrev bc.lb.cus.itm.rev
tccom000.lgid [商工会議所 ID]	lb.duns.nr bc.lb.duns.nr
tccom000.cadr 会社 [住所コード]	lbcpshfraddr bc.lb.cps hfr.addr
tccom130.nama [名前]	lbcpshfrad01 bc.lb.cps hfr.ad01
tccom130.namb [名前 2]	lbcpshfrad02 bc.lb.cps hfr.ad02
tccom130.namc [地区]	lbcpshfrad03 bc.lb.cps hfr.ad03
tccom130.namd [地区 2]	lbcpshfrad04 bc.lb.cps hfr.ad04
tccom130.hono [番地]	lbcpshfrad05 bc.lb.cps hfr.ad05
tccom130.pobn [私書箱番号]	lbcpshfrad06 bc.lb.cps hfr.ad06
tccom130.ccit [都市コード]	lbcpshfrad07 bc.lb.cps hfr.ad07
tccom130.namf [都市 2]	lbcpshfrad08 bc.lb.cps hfr.ad08
tccom130.pstc [郵便番号]	lbcpshfrad09 bc.lb.cps hfr.ad09
tccom130.ccty [国]	lbcpshfrad10 bc.lb.cps hfr.ad10

部品変更タグと理由

扱い単位ごとに、発注先は 2 組の部品変更タグと部品変更理由を指定して、出荷先取引先に部品の設計、製造、検査または梱包の変更を通知できます。部品とは、最終品目または構成要素品目です。

部品変更タグと理由は、扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの以下のフィールドに指定します。

- [部品変更タグ 1]
- [部品変更理由 1]
- [部品変更タグ 2]
- [部品変更理由 2]

各タグのフィールドに、部品変更タグの関連コードをマニュアルで指定する必要があります。各理由のフィールドで、必須の部品変更理由を選択します。

出庫または出荷処理の任意のステージで、部品変更タグおよび理由の指定または変更ができます。

扱い単位の出荷確認後、部品変更タグおよび理由は以下に発行されます。

- 出庫の事前出荷通知 (ASN)
- 梱包リスト
- ビジネスオブジェクト文書 (BOD)

ASN および梱包リストは、Automotive Exchange アプリケーション TFS (Transformation Services) および EXM (Automotive Exchange Export Manager) で作成される伝票です。

出荷構築

出荷参照に基づく 出荷作成

出荷構築とは、ピッキング済出庫勧告に基づいて出荷が自動的に作成される処理です。

出荷構築基準を次に示します。

- 出荷元タイプ、出荷元コード、出荷元住所
- 出荷先タイプ、出荷先コード、出荷先住所
- 積荷計画 (Y/N)
- マニュアル出荷 (Y/N)
- オフィス
- オフィス会社
- 経路
- 受渡条件
- 権利移動地点
- 輸送理由
- 運送業者
- 計画納期
- 納入地点
- 出荷参照

さまざまな基準の中でも特に出荷参照によって、発注先倉庫からピッキングされた商品がどのように出荷に分類されるかが決まります。同じ出荷参照が適用された販売スケジュールラインの品目を1つの出荷として顧客に出荷する必要があります。これは自動車業界では、ピックアップシート (PUS) 処理と呼ばれています。出荷参照は、主に発生元が販売スケジュールの倉庫オーダーについて生成されます。出荷参照の値は、販売スケジュール計画倉庫オーダー (tdsls3520m000) セッションの [出荷参照] フィールドによってオーダー管理から倉庫管理に渡されます。

出荷参照に基づいて次の出荷作成パラメータを倉庫オーダータイプ (whinh0110m000) セッションで使用できます。

- [出荷ごとに固有の出荷参照]
- [出荷ごとに 1 出荷参照]

[出荷ごとに固有の出荷参照]

このチェックボックスがオンの場合、LNにより、各出荷参照番号について固有の出荷が作成されます。次の場合には、同じ出荷参照に対して複数の出荷を作成することができません。

- それぞれの出荷の出荷先取引先が同じである
- 出荷先取引先は異なっているが、それぞれの出荷の販売先取引先が同じである。ただし、出荷先取引先が異なっており、関連した販売先取引先も異なっている場合は、LN で同じ出荷参照に複数の出荷を作成することができます。

このパラメータは次の結果を伴います。

- 出荷参照基準によって、計画納期の出荷作成基準が無効になります。すべてのスケジュールラインで計画納期は異なっているが、出荷参照は同じである場合は、該当する出荷参照に対し、すべてのスケジュールラインを含む 1 つの出荷が作成されます。
- 品目が完全に不足しているピックアップシートラインには、出庫勧告と出荷ラインが作成されません。同じピックアップシートのそれ以外のラインは、ピックアップして出荷できます。品目が不足している出庫ラインはオープンのままになり、すでに出荷されたピックアップシートのピックアップシート番号が割り当てられます。このようなオープンのままの出庫ラインを処理すると、使用済のピックアップシート番号が設定された出荷が作成される場合があります。スケジュールラインを取り消すか、またはスケジュールラインに新しいピックアップシート番号を割り当てることができます。

注意

- 同じ出荷参照に対し確定出荷がすでに存在する場合は、LN で出荷の作成が中止され、エラーメッセージが表示されます。
- 出荷を分割/構成する場合には、1つのピックアップシート番号に対し複数の出荷が発生したり、逆に1つの出荷に対し複数のピックアップシート番号が発生したりしないようにする必要があります。出荷を構成した結果、ピックアップシート番号の重複が発生した場合は、LN で出荷の作成が中止され、エラーメッセージが表示されます。

[出荷ごとに 1 出荷参照]

このチェックボックスがオンの場合、LN で同じ出荷参照に複数の出荷を作成できます。このパラメータは次の結果を伴います。

- 出荷参照が同じで、計画納期が異なる 2 つの出荷ラインが存在する場合は、同じ出荷参照が適用された 2 つの出荷が作成されます。
- 異なる出荷参照番号が設定された複数の出庫ラインは別々の出荷に配置されます。
- 他の出荷作成基準で許可されている場合、同じ出荷参照番号が設定された複数の出庫ラインは同じ出荷に配置されます。それ以外の場合は、別々の出荷に配置されます。

出荷参照のシナリオ

既存の出荷ヘッダの内容	出庫ラインの出荷参照	関連オーダータイプが単一参照であるか (Yes/No)	アクション
単一参照 = No、出荷参照 = 空	空	No	出荷に追加
	空	Yes	出荷に追加
	AAA	No	出荷に追加
	AAA	Yes	新しい単一参照出荷の作成
単一参照 = No、出荷参照 = AAA (このシナリオでは、エンドユーザが出荷ヘッダの出荷参照をマニュアルで入力する)	空	No	出荷に追加
	空	Yes	出荷に追加
	AAA	No	出荷に追加
	AAA	Yes	出荷に追加 (すべての出荷ラインに参照「AAA」が設定されており、これが単一参照出荷になる場合)、新しい単一参照出荷の作成 (それ以外の場合)
	BBB	なし	出荷に追加
単一参照 = Yes、出荷参照 = AAA	BBB	Yes	新しい単一参照出荷の作成
	空	No	新しい出荷の作成
	空	Yes	新しい出荷の作成
	AAA	No	出荷に追加
	AAA	Yes	出荷に追加
	BBB	なし	新しい出荷の作成
単一参照 = Yes、出荷参照 = 空	BBB	Yes	新しい単一参照出荷の作成
	適用なし		

輸送との統合

ピックアップシート処理に使用されているフィールドのうち、[出荷参照] フィールドは、輸送が導入されている場合に出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションから対応する輸送オーダーに転送されます。輸送パッケージでは、このような出荷参照 (入力されている場合) は、計画の生

成 (fmlbd0280m000) セッションでの積荷作成手順で出荷作成基準として考慮する必要があります。

[出荷ごとに 1 出荷参照] チェックボックスをオンにして計画の生成 (fmlbd0280m000) セッションを実行する際に、異なる出荷参照が適用可能な場合は、複数の出荷を作成する必要があります。このことは、複数の出荷が同じ移送先住所かつ同じ日時に (つまり、同じ積荷内で) 納入される場合にも当てはまります。

たとえば特定の期間/輸送オーダ範囲について [出荷ごとに固有の出荷参照] チェックボックスをオンにして計画の生成 (fmlbd0280m000) セッションを実行する際に、納入日時が異なる複数の輸送オーダライン (出庫ライン) に同じ参照がリンクされている場合は、LN で 1 つの参照につき 1 つの単一出荷を作成する必要があります。これは、両方のラインが同じ 1 つの出荷に含まれるように、オーダラインの納入日時の範囲が広げられることを意味しています。1 つの単一出荷を作成するためには、必ず他の基準 (該当する場合) も満たされていなければなりません。

納入地点に基づく出荷構築

出荷構築とは、(ピッキング済) 出庫勧告に基づいて出荷が自動的に作成される処理です。

納入地点の値は、販売スケジュールライン (tdsls3107m000) セッションの [納入地点] フィールドを介して販売から倉庫管理に渡されます。スケジュールラインが倉庫管理に転送された時点で、納入地点が出庫倉庫オーダラインに渡されます。

既存の出荷構築基準を次に示します。

- 出荷元タイプ、出荷元コード、出荷元住所
- 出荷先タイプ、出荷先コード、出荷先住所
- 積荷計画 (Y/N)
- マニュアル出荷 (Y/N)
- オフィス
- オフィス会社
- 経路
- 受渡条件
- 権利移動地点
- 輸送理由
- 運送業者
- 計画納期
- 納入地点
- 出荷参照

LN では、商品の移送先が最も詳細に定義されているレベルは出荷先取引先と出荷先住所です。ただし、顧客/相手先ブランド製造者 (OEM) の施設が広大であるために、商品を入庫できる納入地点が複数存在することがよくあります。商品の納入が円滑に済むように、発注先/輸送会社は、商品の荷卸を行う特定の納入地点を把握しておく必要があります。このためには、納入地点を納品先住所に追加し、出荷構築基準に含めます。

LN では、出荷ラインと同じ「納入地点」が設定された出庫勧告が 1 つの出荷に分類されます。倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの [出荷ごとに 1 納入地点] チェックボックスを使用すると、出荷構築時に出荷ラインを納入地点別に分類できます。このチェックボックスがオンの場合、LN で出庫ラインが次のとおりに分類されます。

- 他のお荷構築基準で許可されている場合、同じ納入地点が設定された複数の出庫ラインは、同じ出荷に出荷ラインとして配置されます。それ以外の場合は、別々の出荷に出荷ラ

インとして配置されます。つまり、特定のケースでは、同じ納入地点に対して複数の出荷を作成することができます。

- 異なる納入地点が設定された複数の出庫ラインは別々の出荷に配置されます。

納入地点に基づいて出荷が作成されるシナリオの例を次に示します。

オーダ	位置	出荷先取引先	納入地点	出荷
SSC000123	10	VW	ドック A	SHP000234
SSC000123	20	VW	ドック B	SHP000235
SSC000124	10	Opel	ドック A	SHP000236
SSC000125	10	VW	ドック A	SHP000234
SSC000126	10	Opel		SHP000237

輸送との統合

出庫オーダラインに納入地点が指定されており、倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの [出荷ごとに 1 納入地点] チェックボックスがオンになっている場合は、その納入地点が対応する輸送オーダに渡されます (輸送が導入されている場合)。[出荷ごとに 1 納入地点] チェックボックスは、輸送では変更することができません。つまり、輸送での積荷構築は常に、倉庫管理の出荷構築指示書に基づいて行われることになります。これは、輸送の計画エンジンによって、納品先住所ではなく納入地点ごとに別々の出荷が構築されることを意味しています。このため、1つの積荷内の 1 つの荷卸住所に対して複数の出荷が発生することがあります。

事前出荷通知番号の長さ

LN では、生成される出荷番号と積荷番号 (つまり、事前出荷通知番号) の長さを制限できます。これにより、事前出荷通知番号の長さを 8 文字までに制限している VDA 規格など、特定の産業部門の要件/規格を満たすことができます。VDA (Verband der Automobilindustrie) は、自動車業界に貢献しているドイツの組織です。

例

次の例では、積荷/出荷番号がどのように生成されるかを示します。

シリーズの長さ = 3

シリーズ = AAA

先頭空番号 = 23

積荷番号/出荷番号の長さ = 9 番号 = AAA000023

積荷番号/出荷番号の長さ = 8 番号 = AAA00023

積荷番号/出荷番号の長さ = 6 番号 = AAA023

LNでは、積荷と出荷を輸送で作成する場合に、倉庫管理の在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションに定義されている [積荷の長さ] と [出荷の長さ] が適用されます。LN

注意

輸送が導入され、倉庫管理パラメータが定義されていない場合、LN では積荷フィールドと出荷フィールドの実際の長さが使用されます。

ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) - 梱包品目の登録

ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) は、独立した VMI/委託タイプの倉庫として LN の倉庫管理で扱われます。在庫の所有権は発注先にあります。

注意

- 顧客が消費した時点での梱包品目処理の記録は、VMI/LSP 倉庫の消費済ストックポイント情報を基準とするものではありません。梱包材の処理は、標準品目の消費とは別に記録する必要があり、販売消費の処理時に扱われます。

LSP に基づくシナリオでは、発注先への消費メッセージは、エンド顧客 (OEM) ではなく、常に LSP から送信されます。

前提条件

LN では、次の場合にのみ梱包品目処理が記録されます。

- 倉庫マスタデータパラメータ (whwmd0100s000) セッションの [拡張梱包品目の登録] チェックボックスがオン
- 梱包品目 (whwmd4505m000) セッションの [登録対象] チェックボックスがオン
- [在庫管理] チェックボックスがオフ

重要

LNが消費メッセージを受け取った後で該当する梱包品目取引を更新するLSPシナリオには、次の2とおりがあります。

- LSP (VMI) 倉庫が顧客によって運営/管理されており、おそらくその顧客のサイトに所在している
- LSP (VMI) 倉庫がおそらく発注先と関係の深い第三者によって運営されている

適用されるシナリオを表すために、倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [出荷資材取引の更新時] フィールドにある次のオプションを提示します。

- [VMI 倉庫向け出荷] : LSP 倉庫が顧客によって管理されている場合に使用します。
- [顧客別消費] : LSP 倉庫が発注先または発注先と関係の深い第三者によって運営されている場合に使用します。

[VMI 倉庫向け出荷] オプションの使用 - シナリオ

次の場合には、[VMI 倉庫向け出荷] オプションを使用する必要があります。

- VMI (LSP) 倉庫に出荷される商品が発注先の倉庫から出た時点で出荷資材取引を更新する必要がある。LN では、商品が発注先の倉庫から VMI 倉庫 (LSP) に納入する VMI シナリオの場合に販売転送オーダが使用されます。
- LSP から送信された消費メッセージに梱包情報が記載されていない場合に出荷資材取引を更新する必要がある。商品が発注先の倉庫から LSP 倉庫に出荷 (転送) された時点で、出荷資材取引を更新する必要があります。

[顧客別消費] オプションの使用 - シナリオ

次の場合には、[顧客別消費] オプションを使用する必要があります。

- 顧客/OEM による消費が処理された時点で出荷資材取引を更新する必要がある。LSP から (発注先に) 送信される消費メッセージには、必要な梱包情報がすべて記載されていなければなりません。

出荷先 VMI (LSP) 倉庫 (商品の転送先) の [出荷資材取引の更新時] フィールドによって、適用されるシナリオが決まります。

出荷資材取引

ここでは、梱包品目の登録機能について説明します。

出荷資材取引

出荷資材取引を使用すると、梱包品目の数量と支払について取引先とやり取りできます。また、出荷資材取引を使用すると、取引先への報告を目的として梱包品目を分類することもできます。

詳細は、次のオンラインヘルプを参照してください: 出荷資材取引 (whwmd4170m000) セッション

注意

LN では、次の場合にのみ梱包品目処理が記録されます。

- 倉庫マスタデータパラメータ (whwmd0100s000) セッションの [拡張梱包品目の登録] チェックボックスがオン
- 梱包品目 (whwmd4505m000) セッションの [登録対象] チェックボックスがオン

重要

同じ出荷資材取引内で 1 つの取引先から別の取引先にすべての品目をコピーできます。

出荷資材取引 (SMA) の検索

LN では、出荷資材処理を記録する場合に、該当する処理にリンクされる出荷資材取引 (SMA) を次の順に検索します。

1. 該当する処理の取引先、梱包品目、および処理日を組み合わせて SMA を検索します。
ステップ 1 では、空の SMA が検索されることもあります。これは、該当する品目が特定の取引先の取引から除外されていることを意味しています。ステップ 1 で SMA が見つかった場合は検索アクションが終了し、見つからなかった場合はステップ 2 が実行されます。
2. 該当する処理の取引先と処理日を組み合わせて SMA を検索します。

上記の手順で、LN は、処理日に最も近い発効日が設定されたエントリを出荷資材取引の中から検索します。出荷資材取引の有効期限は設定されていません。出荷資材取引の既存エントリの有効期限は、取引体系の新規エントリの発効日によって決定されます。

梱包品目の登録

LN では、梱包品目の入庫数量と出庫数量が日付別に記録され、梱包品目に関連した処理を含む入庫処理と出庫処理の実行時にセッションが更新されます。梱包品目は、扱い単位、入庫ライン、出荷、またはコンテナにリンクさせることができます。梱包品目処理 (whinr1115m000) セッションは、出荷資材取引が梱包品目に使用されていない場合でも更新されます。

梱包品目処理をマニュアルで入力することもできます。

重要

- 梱包品目処理に取引先が関連付けられていない場合、転送オーダと調整オーダは梱包品目処理に記録されません。
- コンテナと販売オーダの間に固有のリンクを設定できないため、販売転送オーダでコンテナに関連した出荷は記録されません。

転送タイプの販売オーダでは、例外として、商品が「VMI 倉庫」を経由する VMI シナリオがサポートされています。販売転送オーダは、商品が自社倉庫から「VMI 倉庫」に納入された後で顧客宛てに出庫される VMI シナリオに使用されます。取引先はオリジナルの販売オーダに設定されています。供給処理のどの段階で、梱包品目に関連した処理を LN の倉庫 (whwmd2500m000) セッションの [出荷資材取引の更新時] フィールドで更新するかを選択できます (ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) シナリオの場合)。このフィールドは、自社で倉庫管理が行われない VMI 倉庫の場合

合にのみ有効になります。供給処理の次の段階で、梱包品目に関連した処理を LN で更新できます。

- [VMI 倉庫向け出荷]: 標準倉庫から VMI 倉庫への (梱包) 品目の出荷時に出荷資材取引を更新する必要があります。
- [顧客別消費]: VMI 倉庫 (ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) 倉庫) から顧客/OEM (相手先ブランド製造者) への (梱包) 品目の出荷時に出荷資材取引を更新する必要があります。
- [適用なし]: LN では、自社で倉庫管理が行われている倉庫にこの値が割り当てられます。梱包品目処理を記録するには、倉庫マスターデータパラメータ (whwmd0100s000) セッションの [拡張梱包品目の登録] チェックボックスをオンにする必要があります。

制限事項

- このセッションには、ロジスティックデータだけが保存されます。財務データは保存されません。このため、請求はマニュアルで行います。
- 梱包品目処理セッションでは、取引先に関連付けられた入庫と出荷だけが更新されます。また、関連する梱包品目残高が記録されるセッションでは、取引先に関連付けられた処理だけが更新されます。このため、倉庫移動オーダーと在庫調整は考慮されません。転送タイプの販売オーダーでは、例外として、商品が「VMI 倉庫」を経由する VMI シナリオがサポートされています (詳細は、次の情報を参照してください: ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) - 梱包品目の登録 (ページ 112))。
- 顧客が消費した時点での梱包品目処理の記録は、VMI/LSP 倉庫の消費済ストックポイント情報にもとづいて行われません。梱包材の処理は、標準品目の消費とは別に記録する必要があります。 (販売) 消費の処理時に扱われます。

出荷資材取引体系

LN では、取引先と梱包品目の組合せが出荷資材取引 (SMA) にリンクされます。取引先と品目の組合せによって、梱包品目処理の出荷資材取引が表されます。出荷資材取引体系 (whwmd4171m000) セッションを使用すると、梱包品目処理に適切な出荷資材取引を見つけることができます。

取引先と品目の組合せを出荷資材取引にリンクさせる場合は、発効日にもとづいて行います。将来の発効日を指定して、新しい一連の出荷資材取引を今後利用できるようにすることもできます。品目を指定しないと、すべての品目に対して SMA が取引先にリンクされることになります。また、SMA を指定しないと、品目が考慮されなくなります。

出荷資材取引体系の重要な特徴を次に示します。

- 取引先/品目
これは、梱包品目処理の追跡における最も詳細なレベルです。取引先と特定の品目に対して取引が定義されます。
- 取引先
これは、より広範なレベルであり、品目フィールドを未入力のままにして定義できます。取引先 (のグループ) のすべての品目を結合して 1 つの取引に関連付ける場合に、このレベルを使用できます。

取引を処理にリンクさせる場合、LN は、まず取引先と品目の組合せレベルで取引の検索を試行します。取引先と品目の組合せレベルで取引が見つからない場合は、より広範な取引先レベルに戻して、処理にリンクさせる取引の検索を試行します。

出荷資材取引体系が取引先レベルで定義されている場合は、取引先 (のグループ) のすべての品目が 1 つの取引にリンクされます。詳細な処理ログから特定の梱包品目を除外する場合には、次のオプションを使用できます。

- 該当する品目を考慮対象外とマーク付けできます。梱包品目 (whwmd4505m000) セッションで該当する品目に対して [登録対象] チェックボックスをオフにする必要があります。これにより、該当する品目が出荷資材取引で完全に使用できなくなります。
- [出荷資材取引] フィールドを未入力のままにして出荷資材取引体系にエントリを定義できます。
- ダミー出荷資材取引を定義し、出荷資材取引体系にそのダミー出荷資材取引のエントリを作成できます。

処理にリンクさせる出荷資材取引 (SMA) を検索する場合、LN は、処理日に最も近い発効日が設定されたエントリを出荷資材取引体系から検索します。有効期限は設定されていません。出荷資材取引体系の既存エントリの有効期限は、取引体系の新規エントリの発効日によって決定されます。

同じ出荷資材取引体系に複数の取引先をリンクできます。考えられるシナリオを次に示します。

シナリオ 1: すべての梱包品目を 1 つの SMA にリンクさせる

このシナリオを実現するには、次の内容のエントリを取引体系に定義します。

- 取引先が指定されている
- 品目が指定されていない

取引先	品目	発効日	SMA
VW1			SMA_VW_ GLOBAL
VW2			SMA_VW_ GLOBAL

シナリオ 2: すべての梱包品目を 1 つの SMA にリンクさせ、取引から特定の品目を除外する

このシナリオを実現するには、取引先が指定されているが、品目が指定されていないエントリを取引体系に定義します。また、取引先と品目の組合せが指定されているが、出荷資材取引が指定されていないエントリも取引体系に定義する必要があります。

取引先	品目	発効日	SMA
VW1			SMA_VW_ GLOBAL
VW1	ホイール		
VW2			SMA_VW_ GLOBAL
VW2	ホイール		

シナリオ 3: 梱包品目の一部を指定し、その部分だけを 1 つの SMA にリンクさせる

選択された品目だけが SMA にリンクされます。このシナリオを実現するには、取引先と品目の組合せが指定された一連のエントリを取引体系に定義します (1 つの品目につき、1 つのエントリ)。

取引先	品目	発効日	SMA
VW1	KLT345		SMA_VW_SPEC
VW1	KLT521		SMA_VW_SPEC
VW1	KLT978		SMA_VW_SPEC
VW2	KLT345		SMA_VW_SPEC
VW2	KLT521		SMA_VW_SPEC
VW2	KLT978		SMA_VW_SPEC

シナリオ 4: 梱包品目の大部分を 1 つの取引にリンクさせ、梱包品目のごく一部を別の取引にリンクさせる

このシナリオを実現するには、2 つの取引を設定します。取引先が指定されているが、品目が指定されていない 1 つのエントリを取引体系に作成します。取引先と品目の組合せが指定されている別のエントリを作成します。

取引先	品目	発効日	SMA
VW1			SMA_VW_GLOBAL
VW1	KLT345		SMA_VW_SPEC
VW1	KLT521		SMA_VW_SPEC
VW1	KLT978		SMA_VW_SPEC
VW2			SMA_VW_GLOBAL
VW2	KLT345		SMA_VW_SPEC
VW2	KLT521		SMA_VW_SPEC
VW2	KLT978		SMA_VW_SPEC

CINDI 処理

自動車製造元は、発注先への構成要素のオーダ処理に各種の納入コンセプト/手順を使用しており、この結果、自動車業界のすべての発注先が従う必要のある手順と情報の要件が確立されました。これらの手順の 1 つは CINDI と呼ばれる広範な手順で、次の 4 つの様相で構成されます。

- 輸送 ID
- 物流ゾーン/工順コード
- 登録承認番号/カンバン/納入コール番号
- 消費地/仕向地

輸送 ID

輸送 ID は、出荷指示として顧客組織から発注先に送信され、工場に到着する必要がある納入 (積荷/出荷) を指定します。

LN では、輸送 ID として既存の出荷参照を使用できます。1 つの出荷につき輸送 ID を 1 つのみ使用可能にする場合は、倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの [出荷ごとに固有の出荷参照] チェックボックスをオンにします。顧客が輸送 ID を指定しない場合、出荷参照の定義が必須であるため、LN で一時 ID が作成されます。ただし、この ID は後日マニュアルで、出庫処理時に最終 ID に置換できます。一時 ID は、最終輸送 ID に置換されるまで、[凍結済] または [出荷済] の状況に維持できます。

一時 ID を最終輸送 ID (出荷参照) に適時置換するのは、ユーザの責任です。

物流ゾーン/工順コード

発注先に、納入先として、組織内の移送先をより細かく通知できます。この移送先は、物流ゾーンまたは工順コードとして定義できます。移送先は、荷降ドックでの入庫後に商品が移動する先の中間保管場所です。

物流ゾーン (または工順コード) が顧客組織から指定された場合、梱包を構築する基準として 物流ゾーン (または工順コード) を常時使用する必要があります。この目的で、販売スケジュールラインに [梱包参照 A] というフィールドが追加されています。このフィールドは、出荷時に扱い単位を生成する基準として、倉庫オーダ、および出庫手順と出荷手順によりピッキングされます。

同一の物流ゾーンを移送先とする輸送 ID に含まれる要件/品目は、同一の扱い単位に結合できません。他の物流ゾーンを移送先とする品目/扱い単位と結合することはできません。

OEM 担当者が扱い単位の (中間) 移送先を即時認識できるように、物流ゾーン/工順コードを備考として、ラベルおよび伝票で利用可能にする必要があります。

消費地/仕向地

消費地 (POC) または仕向地 (POD) は、入庫品目の最終移送先です。これは通常、構成要素が使用される製造ラインまたは組立ラインです。

消費地 (POC) が顧客組織で定義され、かつ販売スケジュールに記録される場合、POC は扱い単位作成基準として使用されます。新しい扱い単位が、POC ごとに開始されます。したがって、新しい参照フィールドである [梱包参照 B] が追加されます。このフィールドは販売スケジュールから取得され、出庫オーダライン (whinh2120m000) セッションの [参照] メニューの [参照配分] オプション、および出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションの [参照] メニューの [参照配分] オプションで表示できます。

扱い単位の作成時に、作成される単品 (最下位の梱包レベル、例: ボックス) は、消費地/仕向地が同一の品目を含む必要があります。ボックスとピッキングされる商品で消費地/仕向地が同一の場合にのみ、品目をボックス (単品) に梱包して出荷できます。

正確な POC への引当を容易にするために、POC の情報を梱包ラベルに出力する必要があります。

登録承認番号/カンバン/納入コール番号

登録承認番号 (RAN) も顧客組織が指定できます。この番号は、マスタ扱い単位についてカンバン/登録承認番号 番号が 1 つのみ使用できるシナリオで、マスタ扱い単位 (最上位の梱包品目、例: パレット) を作成するときの追加制約として使用できます。このようなマスタ扱い単位は「同種」と呼ばれます。一方、複数の 登録承認番号、つまり 登録承認番号 が混在する扱い単位は「異種」と呼ばれます。

登録承認番号情報は、ラベル、および出荷伝票に出力できます。

資材の完全梱包

自動車製造元が受け取る資材の数量と梱包方法。自動車製造元は多くの場合、完全梱包資材 (木枠、ボックス、パレットなど) のみを受け取ります。これは、梱包構造のすべてのレベルに適用す

ることも、特定のレベルにのみ適用することもできます。LN では、これは扱い単位構造の各梱包レベルで [完全梱包のみ] の機能を使用して管理できます。

[完全梱包のみ] の機能の影響:

オーダ入力

販売スケジュールに関連する扱い単位テンプレート内にあるノード/レベルについて [完全梱包のみ] の機能を導入した場合、計画倉庫オーダの数量は、完全梱包数量の倍数になります。販売契約ラインのロジスティックデータについて梱包定義が定義された場合、販売スケジュールと、使用する扱い単位テンプレートとの間に関係が設定されます。これにより、ユーザは販売スケジュールについて [完全梱包のみ] の機能を有効にすることができます。

計画倉庫オーダを作成し、その計画倉庫オーダについて梱包定義または扱い単位テンプレートの [完全梱包のみ] チェックボックスがオンになっている場合、オーダ数量は必ずしもリンクされた販売スケジュール (複数可) の合計にならないことがあります。これは、完全梱包のみの条件に合わせて数量を調整可能であるからです。1つのオーダの梱包品目数量の倍数は、梱包定義と品目から決定されます。例:

ノード	梱包品目	梱包品目数量	数量 (保管単位)	完全梱包のみ
1	パレット	1	0 個	なし
2	ボックス	10	0 個	あり
3			100	あり

この例のオーダ数量は、梱包品目数量 10 個の倍数にする必要があります (ノード 3 の 100 個は、ノード 2 のボックス 10 単位に梱包される)。保管単位は、棚卸単位と同一です。保管単位にボックスを使用し、1つのボックスに 4 個を入れることにした場合、次のようになります。

ノード	梱包品目	梱包品目数量	数量 (保管単位)	完全梱包のみ
1	パレット	1	0 個	なし
2	木枠	10	0 個	あり
3			ボックス 40 単位	あり

この例のオーダ数量は、16 の倍数の個数にする必要があります (ノード 3 のボックス 40 単位をノード 2 の木枠 10 単位に梱包) $\times$ 4 (個数からボックスへの変換係数 4)。

出庫処理

出庫オーダーラインについて出庫勧告が生成された後、出庫勧告をマニュアルで修正できます。出庫勧告の修正、または不足の特定を行ったときに、結果の数量が完全梱包数量の倍数でない場合、「完全梱包のみ」の条件が満たされていないことを示す警告メッセージが表示されます。ただし、処理を続行できます。

同一の原則が、部分出荷の場合に適用可能です。「完全梱包のみ」の条件からの逸脱が許容され、完全数量に満たない梱包を納入できます。出庫勧告の生成時に警告メッセージが表示された場合、「完全梱包のみ」の条件に合わせて数量を変更できます。

注意

LN では、出荷の確認時に「完全梱包のみ」のチェックを再実行しません。

梱包参照配分

商品をピッキングして出荷にリンクすると、出荷ラインの下に梱包参照配分が作成されるか更新され、出荷ラインの扱い単位が作成されるときに使用されます。これは、販売スケジュール用に作成された出荷ラインにのみ適用可能です。

配分は、出庫オーダーライン参照配分に基づいて作成されます。次の表で、これらの参照を説明します。

参照	記述
出荷参照	輸送 ID
参照	自動車業界では、同一の参照を持つマスタ扱い単位を出荷する必要があります。扱い単位テンプレートの単一参照のレベルをモデル化できます。
梱包参照 A	自動車業界では、同一の参照 A を持つマスタ扱い単位全体を出荷する必要があります。扱い単位テンプレートの単一参照 A のレベルをモデル化できます。
梱包参照 B	自動車業界では、同一の参照 B を持つ単一扱い単位を出荷する必要があります。扱い単位テンプレートの単一参照 A のレベルをモデル化できます。

出庫扱い単位用の梱包処理と出荷処理

業界は、製品を効率的に納入するために各種の梱包処理と出荷処理を必要としています。

梱包処理と出荷処理を強化するために、次の機能を利用できます。

- 扱い単位の充填
- 資材の完全梱包 (ページ 119)
- 梱包参照配分 (ページ 121)
- 出荷順序
- スtockポイント詳細の統合

扱い単位の充填

在庫処理パラメータ (whinh0100m000) セッションの [ストックポイントを 1 つの出荷ラインに統合] パラメータに基づいて、扱い単位を充填し、出荷ラインを統合できます。

同一の扱い単位構造内で扱い単位を充填する前提条件は次のとおりです。

- 出荷ラインの梱包定義コードが、ピッキングした商品の梱包定義と一致する必要があります。
複数品目の構造を扱うときにはテンプレートも比較されます。
 - ノード数が等しい必要があります。
 - 梱包品目数量が等しい必要があります。
 - 補助梱包品目が同一である必要があります。
 - 補助梱包品目数量が等しい必要があります。
- 扱い単位は在庫に存在してはならず、ピッキング確認処理で生成される必要があります。扱い単位が在庫からピッキングされる場合、ピッキングリストの [出荷] が入力されます。この状況では、ピッキングリストがクローズされ、内容が [出荷用扱い単位] に転送されます。
- 使用する場合、単一梱包参照が、扱い単位テンプレートに一致する必要があります。
- 充填時に、単一扱い単位に入れられる品目が、ピッキング済品目に一致する必要があります。
- ピッキングされて同一出荷に入れられた商品は、扱い単位構造に従って充填されます (可能な場合)。

充填の条件

出荷作成処理の開始時に、商品の出荷に使用できる既存の出荷ラインがチェックされます。ピッキング時の扱い単位が作成されるときに、ピッキングした商品が扱い単位に達しない場合、出庫オーダーラインの梱包定義が使用されます。梱包定義が入力されると、この梱包定義に基づいて、関連する扱い単位と同じ梱包定義を持つ既存の出荷ラインが検索されます。出庫オーダーラインに梱包定義が定義されていない場合、出荷作成処理により、梱包定義を持たない出荷ラインが検索されます。ピッキング時の扱い単位が作成されるときに、関連する扱い単位を持つ出荷ラインも検索され、適宜充填されます。

ピッキング済商品に使用可能な出荷ラインが特定された場合、次のアクションが実行されます。

- 梱包定義について現在の扱い単位構造を検証する。検証が不合格の場合、ピッキング済商品について新しい扱い単位構造が作成される。これは、扱い単位に関連するすべての出荷

ラインの [状況] が [発送確定済] に設定されている場合のみです。[状況] が [オープン] の扱い単位が存在する場合、検証なしで充填が実行されます。

- まだ全量に達していない単品にピッキング済の商品が追加され、内容が既存の扱い単位に追加される。関連する制約:
 - 単一の扱い単位の品目は、ピッキング済品目と同一である必要がある
 - 参照、梱包参照 A、および梱包参照 B が同一である必要がある
- マスタ扱い単位にまだ利用可能なスペースがある場合、梱包をマスタ扱い単位 (複数可) に追加する

単一品目の制約:

- マスタについて扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの [単一参照] チェックボックスがオンの場合、マスタ扱い単位の参照がピッキング参照と一致する必要がある
- マスタについて扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの [単一梱包参照 A] チェックボックスがオンの場合、マスタ扱い単位の梱包参照 A がピッキング済の梱包参照 A と一致する必要がある
- マスタについて扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの [単一梱包参照 B] チェックボックスがオンの場合、マスタ扱い単位の梱包参照 B がピッキング済の梱包参照 A と一致する必要がある

複数品目の制約:

- ピッキングしたピッキングリストに関連する出庫オーダラインの扱い単位テンプレートについて、扱い単位テンプレート (whwmd4160m000) セッションの [出荷に対して複数の品目を許可] チェックボックスをオンにする必要がある
- 扱い単位テンプレートが、梱包品目と一致する必要がある (梱包品目の内容を除く)
- マスタについて [単一参照] インジケータが選択されている場合、マスタ扱い単位の参照はピッキング済参照と一致する必要がある
- マスタについて [単一梱包参照 A] チェックボックスがオンの場合、マスタ扱い単位の [梱包参照 A] がピッキング済梱包参照 A と一致する必要がある
- マスタについて [単一梱包参照 B] チェックボックスがオンの場合、マスタ扱い単位の [梱包参照 B] がピッキング済梱包参照 A と一致する必要がある
- 既存のマスタ内容を追加できないか単一参照の制約が一致しない場合、かつまだ梱包が必要な商品が存在する場合は、新規のマスタ扱い単位を追加する

梱包参照配分の検証/CINDI

正しくない構造での出荷を防ぐために、出荷を確認する前に構造の検証を実行します。確認/凍結する出荷ラインの場合、梱包参照配分の検証の基準は扱い単位構造です。CINDI の詳細については、CINDI 処理 (ページ 118) を参照してください。

扱い単位の構成

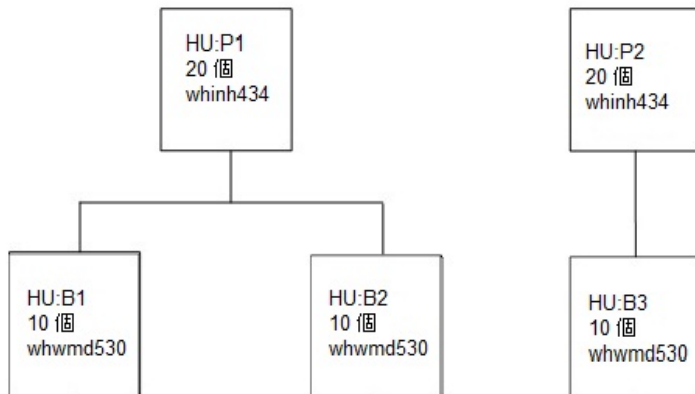
扱い単位の構成時に、参照に関するチェックを実行する必要があります。ある親から別の親に扱い単位を移動するときに、扱い単位作成の制約が考慮されます。

例

次の扱い単位が定義されます。

ノード	梱包品目	単一梱包参照	単一梱包参照 A	単一梱包参照 B
1	パレット	V	V	X
2	ボックス	V	V	V

次の扱い単位構造が存在します。



扱い単位 P1 に関して、次の参照が入力されます。

- 参照: REF001
- 参照 A: REFA001
- 参照 B: REFB001

扱い単位 P2 に関して、次の参照が入力されます。

- 参照: REF001
- 参照 A: REFB001
- 参照 B: REFB001

ユーザが扱い単位 B2 を P1 から P2 に移動しようとする、エラーメッセージが表示されます。これは、親扱い単位 (パレット) の参照 A が一致しないからです。次の表に、ボックス全体の移動が可能な場合を示します。

ターゲット (パレット)		パレット P1 単一参照: V 単一参照 A: V 単一参照 B: V			パレット P2 単一参照: X 単一参照 A: V 単一参照 B: V			パレット P3 単一参照: V 単一参照 A: X 単一参照 B: X			パレット P4 単一参照: X 単一参照 A: X 単一参照 B: X		
		参照 001	参照 A A01	参照 B B01	参照 001	参照 A A02	参照 B B02	参照 002	参照 A A01	参照 B B01	参照 002	参照 A A01	参照 B B01
参照	001	V			X			X			V		
参照 A	A01												
参照 B	B01												
参照	001	X			V			V			V		
参照 A	A02												
参照 B	B01												
参照	002	X			X			V			V		
参照 A	A01												
参照 B	B01												
参照	001	X			X			X			V		
参照 A	A01												
参照 B	B02												
参照	002	X			V			V			V		
参照 A	A02												
参照 B	B02												
参照	003	X			X			X			V		
参照 A	A03												
参照 B	B03												

出荷の構成

出荷ラインをある出荷から別の出荷に移動すると、出荷ライン参照配分も新しい出荷ラインに移動します。参照配分がコピーまたは更新されます。扱い単位構造を構成することにより、扱い単位をマニュアル入力する必要があります。

出荷ラインの分割

出荷ラインを分割すると、梱包参照配分も分割されます。扱い単位を出荷ラインから分割すると、扱い単位参照フィールドを使用して、コピーする出荷ライン参照配分の部分が決定されます。

ただし、扱い単位が存在せず、出荷ライン参照配分が存在する場合、分割する数量は、割り当てられた梱包参照配分の割合を継承します。分割数量のすべてが割り当てられるまで、配分が高いラインの順に使用されます。

出荷伝票

通常、扱い単位は出荷伝票に出力されます。ある出荷について、複数品目扱い単位構造が存在する場合、複数品目レベルは出力されません。

出荷検証

出荷検証は、出庫フローに追加できるオプションのステップです。これは、特定の取引先要件が満たされているかどうかを検証するプロセスです。このため、このプロセスでは出荷と積荷について、以下のような各種チェックを行います。

- 必要な扱い単位が存在するかどうか
- 追跡番号が存在するかどうか
- 発注先番号が存在するかどうか

出荷検証は LN の外部で、Automotive Exchange Export Manager (EXM) によって実行されます。検証チェックの定義は EXM で行われます。必要な出荷、積荷、およびその他のマスタデータ情報を LN から EXM に送信し、EXM から LN に検証結果を返すには、BOD を使用します。

出荷検証処理

ステップ 1: [凍結済]: 出荷検証の開始

出荷または積荷が [凍結済] になると、出荷検証処理が開始されます。これは、EXM で検証チェックが開始されることを意味します。検証の進行中は、検証状況が [検証中] に設定されます。

出荷検証状況は、出荷 (whinh4130m000) または積荷 (whinh4140m000) セッションの [公開状況] フィールドに表示されます。

ステップ 2: [凍結済]: チェック完了、出荷伝票の出力

EXM で検証チェックが完了すると、出荷検証状況は次のいずれかになります。

- [検証済]
EXM での検証が成功しました。出荷伝票が出力されます。次のステップを参照してください。
- [検証エラー]
LN で積荷または出荷を修正し、修正内容を EXM に送信する必要があります。これにより、検証状況が [検証中] に設定されます。

ステップ 3: [確認済]: 検証済の場合に確認

検証が成功した場合は、検証状況が [検証済] に設定されます。ユーザは出荷と積荷を確認することができます。確認を行うと、EXM から 事前出荷通知 (ASN) が出されます。これにより、出荷伝票と 事前出荷通知 の正確性が向上し、出荷処理の費用対効果/効率を高めることができます。

設定

出荷検証を使用するには

- 倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションで、[凍結必須] および [出荷検証] のチェックボックスをオンにします。
- BOD 発行を有効にします。

注意

検証状況が [検証中] または [検証エラー] の場合は、出荷または積荷を確認できません。状況が [検証済] の積荷または出荷のみ、確認することができます。

出荷検証 - 検証エラーの修正

EXM は、次のような各種の検証エラーを返すことがあります。

- マスタデータ (販売先取引先の [弊社発注先番号] など) の欠落
- 出荷データ ([追跡番号]、扱い単位など) の欠落または誤り
- 出荷または扱い単位構造の不適合

検証エラーに関する詳細は、メッセージログ (tcstl1500m000) セッションに表示されます。このセッションは、出荷 (whinh4130m000) または積荷 (whinh4140m000) セッションの適切なメニューで開くことができます。(出荷検証状況が [検証済] の場合で) エラーがなければ、このセッションは使用できません。

出荷構造、扱い単位構造、およびその他の多くの出荷データを修正するには、積荷または出荷の再オープンと再凍結が必要です。再凍結を行うと、このデータが EXM に自動的に発行されます。

ただし、以下のデータの修正には、積荷または出荷の再オープンと再凍結は不要です。

- 出荷の [追跡番号] と積荷の [運送業者追跡番号]。凍結済の出荷または積荷でこれらの番号を変更すると、検証状況が [修正済] に変わります。
- 出荷または積荷でメンテナンスされるのではなく、出荷伝票に出力されるマスタデータ ([弊社発注先番号] など)。このデータを修正しても、検証状況には影響しません。

再オープンと再凍結が不要な修正済の積荷、出荷またはその他マスタデータを発行するには、出荷 (whinh4130m000) セッションまたは積荷 (whinh4140m000) セッションの出荷の公開または積荷の公開オプションを使用します。

再凍結をしたり、発行オプションを使用すると、検証状況が [検証中] にリセットされます。

注意

- 積荷にリンクしている出荷の状況に関係なく、積荷を発行できます。
- 積荷を確認するには、積荷の出荷と積荷自体の状況が [検証済] になっている必要があります。
- 積荷にリンクされた出荷の 1 つを除くすべてが確定されている場合、この最後の出荷は、積荷の状況が [検証済] の場合にのみ確定できます。これにより、積荷の検証エラーの見落としを防ぐことができます。

EXM の [検証中] または [検証エラー] 状況を無効化するには

検証が未完了か検証エラーがあるにもかかわらず、ただちに出荷する必要がある場合は、権限を持つユーザが [検証中] または [検証エラー] の状況を使用して出荷や積荷を検証することができます。このために、出荷 (whinh4130m000) セッションまたは積荷 (whinh4140m000) セッションの [出荷の発行] または [積荷の発行] オプションを使用します。これにより、状況が [検証済] に設定されます。

この権限は、ユーザプロファイル (whwmd1540m000) セッションの [未検証積荷/出荷の発行] チェックボックスがオンになっているユーザに付与されます。

出荷確認 - 出荷受入および検証スキヤンの操作

出荷確認を出荷受入手順および検証スキヤン手順とともに使用する場合は、出荷受入のタイプによって、これらの手順の使用順序が決まります。

出荷元受入

出荷元受入は、状況が [オープン] の出荷について実行されます。したがって、出荷元受入は出荷確認または検証スキヤンの前に実施する必要があります。この理由は、後の手順で出荷を [凍結済] にする必要があるためです。

出荷先受入

出荷先受入は、状況が [確認済] の出荷について実行されます。したがって、出荷先受入は出荷確認または検証スキヤンの後に実施する必要があります。この理由は、後の手順で出荷を [凍結済] にする必要があるためです。

検証スキヤン

検証スキヤンは、出庫フローに追加できるオプションのステップです。この処理は、発送確定保管場所でもなく積荷予定の扱い単位が、LN の出荷ラインにリンクされた扱い単位と一致するかどうかを検証する際に使用します。一致する場合は、扱い単位を積荷し、出荷を確定し、事前出荷通知を送付することができます。

検証スキヤン処理を開始するには、スキヤンの進行中に出荷に変更が加えられないように、出荷を [凍結済] に設定する必要があります。

検証を行うには、積荷ドックにある扱い単位のラベルをスキヤンします。

スキヤンされた扱い単位ラベルが LN の扱い単位ラベルと一致する場合は、その扱い単位の [出荷確認済] チェックボックスがオンになります。すべての扱い単位が正常にスキヤンされた場合は、検証スキヤン処理が完了し、扱い単位のリンク先の出荷ラインを確定することができます。

注意

扱い単位の [出荷確認済] チェックボックスがオンになっている場合、その扱い単位の状況は [発送確定済] のままです。

リンク先の出荷ラインが確定済の場合は、扱い単位の状況が [出荷済] に設定されます。倉庫オーダータイプ (whinh0110m000) セッションの [扱い単位確認時に出荷ラインを確認] チェックボックスの設定によって、リンクされたすべての扱い単位が確定済の場合に出荷ラインを自動的に確定済にするかどうかが決まります。

出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションの [インジケータ] フィールドには、(検証スキャン処理を含めることができる) 出荷手順の実行に必要なアクションが表示されます。出荷 (whinh4130m000) セッションと出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションの [扱い単位基準確認] チェックボックスは、扱い単位基準確定が必須かどうかを示します。

設定

検証スキャン機能を使用するには、倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションで [凍結必須] チェックボックスと [扱い単位基準確認] チェックボックスをオンにする必要があります。

扱い単位の確定時に出荷ラインを自動またはマニュアルで確定

倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの [扱い単位確認時に出荷ラインを確認] チェックボックスの設定によって、リンクされたすべての扱い単位が確定済の場合に出荷ラインを自動的に確定済にするかどうかが決まります。

扱い単位は、次のいずれかの方法で確定されます。

- [扱い単位ツリー] で [確認] オプションを使用する
- 扱い単位 (whwmd5130m000) セッションの [出庫実行] サブメニューで確認オプションを使用する
- 検証走査処理を使用する場合は、走査に合格した後

この結果、扱い単位の [出荷確認済] チェックボックスがオンになります。

扱い単位の出荷ラインが確定済の場合は、扱い単位の状況が [出荷済] に変更されます。[扱い単位確認時に出荷ラインを確認] チェックボックスがオンで、リンクされた扱い単位がすべて確定済の場合は、出荷ラインが自動的に確定されます。

扱い単位が含まれた出荷ラインが自動的に確定される場合は、最終扱い単位が正常にスキャンされた後、出荷ラインの状況が [確認済] に変わり、扱い単位の状況が [出荷済] に変わります。したがって、出荷ラインと扱い単位に対する変更は禁止されます。

扱い単位の確定後に出荷ラインが自動的に確定されない場合は、出荷ラインの状況 [凍結済] と扱い単位の状況 [発送確定済] が保持されます。したがって、必要に応じて出荷構造を調整できます。

たとえば、出荷ラインにタイプ [ボックス] の扱い単位が 100 個あるが、トラックにはボックスが 80 個までしか入らないとします。この問題を解決するには、出荷ラインを再オープンし、タイプ [ボックス] の扱い単位 20 個を [未出荷] に設定します。これにより、これらの扱い単位は元の出荷の一部ではなくなり、[出荷確認済] チェックボックスがオフになります。

スキャン完了後に未確定の扱い単位

バーコードスキャナのスキャン後にエラーメッセージが返され、LN で出荷の扱い単位の一部が未確定になると、出荷の未確定扱い単位のラベルが、積荷ドックにあるスキャン済扱い単位のラベルと一致なくなります。このため、誤った扱い単位がピッキングされ、正しい扱い単位との交換が必要になります。交換後は、新たにピッキングされた扱い単位についてスキャン処理を繰り返す必要があります。

承認過剰輸送費 (AETC)

さまざまな組織が、輸送費を管理するために、輸送費が事前に合意した額を超える場合は承諾を求めるよう発注先に要求しています。発注先は、顧客承認番号を要求します。

顧客が認めると、発注先は顧客承認番号を積荷に指定します。

また、発注先は、[理由] フィールドに理由コードを指定し、[責任] フィールドに過剰費用の責任主体の参照を指定します。責任主体は、たとえば、実際に輸送を実行する運送業者です。

注意

これは輸送と倉庫管理の積荷に適用されます。輸送の積荷に指定された値が倉庫管理の積荷にコピーされ、逆も同様です。

積荷の顧客承認番号、理由、責任主体を指定するには

1. 積荷の以下の追跡番号フィールドの 1 つに [顧客権限番号] タイプの追跡番号を指定します。
 - [運送業者追跡番号]
 - [追跡番号]
 - [追跡番号 1]
 - [追跡番号 2][顧客権限番号] タイプの追跡番号を追加できるのは、これらの追跡番号フィールドのうち 1 つのみです。顧客承認番号を追加すると、[理由] および [責任] フィールドが利用可能になります。
2. [理由] フィールドに、[顧客権限番号] タイプの理由コードを指定します。
3. [責任] フィールドに、過剰輸送費の責任主体を指定します。

設定

1. 発注先からの AETC 承認を必要とする顧客の出荷先取引先役割割の場合、出荷先取引先 (tccom4511m000) セッションで [過剰輸送費の承認] チェックボックスをオンにして、取引先が過剰輸送費の承認番号を必要とすることを指定します。
この取引先が積荷に指定されていると、積荷の [過剰輸送費の承認] チェックボックスはオンです。
2. 該当するオーダタイプの場合、倉庫オーダタイプ (whinh0110m000) セッションの [積荷ごとに 1 出荷先コード] チェックボックスをオンにします。これは、[過剰輸送費の承認] チェックボックスの設定が異なる複数の出荷を組み合わせることで 1 つの積荷にできないようにするためです。
3. 理由 (tcmts0105m000) セッションの [理由] フィールドで、タイプが [顧客権限番号] の理由コードを定義します。
タイプが [顧客権限番号] の理由コードを指定すると、[過剰輸送費の理由] フィールドが利用可能になります。
4. [過剰輸送費の理由] フィールドで、過剰輸送費の理由を指定するか、デフォルト値の [適用なし] を使用します。

中間荷受人

多様な顧客が、商品を中間荷受人に出荷するように発注先に要求します。中間荷受人の場所で、商品の再梱包や再分配が行われてから顧客の最終移送先に送付されます。すべてのロジスティックスと、税金および税関 (該当する場合) の処理は顧客が引き受けます。

処理フロー

中間荷受人が適用可能である場合、EDI およびスケジュール BOD を使用して顧客 (OEM) から発注先に中間荷受人コードが送信されます。

スケジュール BOD 情報が LN に転送されると、中間荷受人コードが販売発行ライン詳細に追加されてから、販売管理の販売スケジュールラインに転送されます。そこからこのコードが倉庫管理の出庫オーダーラインと積荷に転送されます。

顧客の EDI メッセージの中間荷受人コードには住所が含まれていないため、BOD から中間荷受人コードが販売発行ライン詳細に追加されるときに、中間荷受人 (tccom1161m000) セッションから中間荷受人の住所が販売発行ライン詳細に追加されます。

次に、中間荷受人の情報が販売スケジュールラインに転送されると、販売先取引先または出荷先取引先に中間荷受人コードが指定されているかどうか LN によりチェックされます。

指定されていない場合、つまり顧客の送信した中間荷受人コードが発注先では不明の場合、販売発行を処理することはできません。処理を続行するには、ユーザは中間荷受人コードをマニュアルで照合する必要があります。

設定

中間荷受人コードは、中間荷受人 (tccom1161m000) セッションで定義します。中間荷受人ごとに、住所と、発注先に中間荷受人の使用を要求する出荷先取引先または販売先取引先、あるいはそれらの両方を指定する必要があります。

顧客が複数の製造工場など各種のサイトを持ち、それらの場所を移送先とする商品が同一の中間荷受人を経由する必要がある場合、以下の設定が必要です。

1. 顧客を販売先取引先として定義します。
2. サイトを出荷先取引先として定義します。
3. 中間荷受人を定義します。
4. 中間荷受人の住所を定義します。
5. 顧客の販売先取引先を中間荷受人にリンクします。

結果として、販売先取引先のすべての出荷先取引先が、指定済の中間荷受人を使用できます。

販売先取引先の一部の出荷先取引先で使用している中間荷受人が異なる場合は、出荷先取引先ごとに対応する中間荷受人を指定する必要があります。

注意

中間荷受人コードが顧客から EDI 経由で提供されない場合、販売管理および倉庫管理の対応するセッションで中間荷受人をマニュアルで指定できます。

以下のセッションで、中間荷受人 (tccom1161m000) セッションにズームして中間荷受人を指定できます。

- 販売発行ライン詳細 (tdsls3515m000)
- 販売発行ライン - 連続出荷スケジュール (tdsls3116m000)
- 販売発行ライン詳細 - ピックアップシート (tdsls3116m100)
- 販売発行ライン - 連続出荷スケジュール (tdsls3116m200)
- 販売契約ライン (tdsls3501m000)
- 販売契約ライン (tdsls3501m100)
- 販売スケジュールライン (tdsls3107m000)
- ピックアップシート (tdsls3107m200)
- 販売スケジュールライン (tdsls3107m300)
- ピックアップシート (tdsls3107m400)
- 販売スケジュール計画倉庫オーダー (tdsls3520m000)
- 販売スケジュール計画倉庫オーダーリンク (tdsls3521m000)
- 販売スケジュール計画倉庫オーダーリンク (tdsls3521m100)
- 出庫オーダーライン (whinh2120m000)
- 積荷 (whinh4140m000)
- 積荷 (whinh4640m000)

倉庫管理

中間荷受人は、同一の中間荷受人に出荷する必要がある商品を統合するために積荷構築で使用されます。

輸送

輸送では、中間荷受人がサポートされていません。輸送の積荷構築機能に用意されているプールポイントは、中間荷受人として使用されません。

注意

輸送オーダーに基づく出荷ラインを含む倉庫管理の積荷の場合、中間荷受人は指定できません。

自己請求請求書の照合

自己請求請求書は、次を基準として自動的に照合できます。

- 固定基準

次のフィールドは固定照合基準です。

- [請求先取引先]
- [通貨]
- [納入済単位数量]
- [課税国]
- [税金コード]

注意: 状況が [確認済] で [請求書の受取] チェックボックスがオンの請求可能ラインだけが照合に考慮されます。

- オプション基準

次のフィールドはオプション照合基準です。

- [販売オーダー]
- [顧客オーダー番号]
- [出荷]
- [出荷ライン]
- [梱包票]
- [梱包票外部]
- [品目]
- [VAT 番号顧客]
- [出荷参照]
- [出荷先住所]
- [納入地点]

フィールド照合で (オプション) フィールドを含める、または除外するには、照合コード (tcmcs0158m000) セッションにアクセスします。このセッションでは、複数の照合コードを作成してさまざまな請求先取引先に割り当てることができます。

注意

- 照合済 SBI 関係コードで識別された各照合について、自己請求請求書ライン関係 (cisl5110m000) セッションでラインが作成されます。このセッションから承認済ユーザは、拒否されている照合を承認できるほか、正常に終了している照合を取り消すことができます。

- マニュアルで自己請求請求書の照合を行うには、自己請求請求書の照合 (cisli5200m000) セッションまたは自己請求請求書 (cisli5100m000) セッションを使用します。

照合済自己請求請求書の承認

照合した自己請求請求書は、承認する必要があります。マニュアルで一定範囲の自己請求請求書を承認する場合は、照合済自己請求請求書の承認 (cisli5210m000) セッションを使用します。

注意

- 請求パラメータ (cisli0100m000) セッションで、[自己請求請求書の自動照合] チェックボックスに加えて [自己請求請求書の自動承認] もオンになっている場合でも、LN で当初拒否されており、その後承認済ユーザが受け入れた照合には承認ステップが適用されます。
- 照合済の自己請求請求書を承認できるのは、自己請求承認権限 (cisli0120m000) セッションにリストされているユーザだけです。

自己請求請求書照合処理

自己請求請求書照合処理は、以下のステップで構成されています。

ステップ 1: 自己請求請求書の照合

LN で自動的に自己請求請求書ラインが販売および倉庫オーダーラインと照合されるようにするには、自己請求請求書の照合 (cisli5200m000) セッションを実行します。[照合] をクリックすると、LN は固定基準、および請求先取引先に割り当てられている照合コードに基づいて自己請求請求書照合を実行します。

照合済 SBI 関係コードで識別された照合ごとに、LN は自己請求請求書ライン関係 (cisli5110m000) セッションでラインを作成します。

ステップ 2: 照合済自己請求請求書の承認

この権限を持っている場合、照合済自己請求請求書の承認 (cisli5210m000) セッションを使用して自己請求請求書を承認できます。[承認] をクリックすると、選択した照合が、自己請求承認権限 (cisli0120m000) セッションで設定された、ユーザの許容範囲内であるかどうかチェックされます。

承認済の照合を取り消すには、自己請求請求書ライン関係 (cisli5110m000) セッションを使用します。

注意

2 つのステップを 1 つにまとめるには、請求パラメータ (cisli0100m000) セッションで以下のチェックボックスがどちらもオンになっていることを確認します。

- [自己請求請求書の自動照合]
- [自己請求請求書の自動承認]

自己請求請求書の設定

自己請求請求書を設定するには

1. 条件ライン (tctrm1620m000) セッションで、請求タブの以下のチェックボックスがオンになっていることを確認します。
 - [自己請求]
 - [請求書の受取]
2. 照合コード (tcmcs0158m000) セッションで、照合コードを少なくとも1つ定義します。
3. 請求パラメータ (cisli0100m000) セッションで、[その他] タブの [自己請求請求書] にある次のフィールドを必要に応じて指定します。
 - [照合コード] (必須)
 - [自己請求請求書の自動照合] (推奨)
 - [自己請求請求書の自動承認]
4. 同じセッションの [番号グループ] タブで、番号グループと自己請求請求書シリーズを指定します。
5. 自己請求承認権限 (cisli0120m000) セッションで、照合済自己請求請求書を承認する際のユーザの最小および最大の金額と割合を決定します。

販売スケジュールに関連する自己請求請求書

請求可能ラインの一部請求

受領した請求書の数量が、請求可能ラインの数量より少ない場合があります。この場合は、一部照合請求可能ラインについて請求を実行できます。

承認時の数量の差異

照合済の自己請求請求書と請求可能ラインの承認において、2とおりの数量差異が発生する可能性があります。

- 自己請求請求書の数量が請求可能ラインの数量を超過しています。
この場合、承認は取り消されます。
- 自己請求請求書の数量が請求可能ラインの数量より少ないです。
この場合、承認が可能になるように請求可能ラインが分割されます。請求可能ラインの残りの数量は、後で照合できます。

中間原価

請求可能ラインを分割すると、レポート通貨で中間原価の勘定が合わない場合があります。このため、請求可能ラインを完全に請求した後に差異がある場合は、統合勘定に対する丸め為替差の計算 (tfgld4295m500) セッションを実行します。

中間収益と売上原価の転記

自己請求請求可能ラインの場合、中間収益および中間売上原価の統合取引は、請求可能ラインの承認時に転記されます。LN で請求書が転記されると、中間収益および原価が反転します。

価格差異

自己請求請求書と請求可能ラインの間に価格差異がある場合、自己請求請求書の価格が請求および売掛金取引の作成に使用されます。また、価格差異は価格差異統合取引として転記されます。価格差異は、請求書ライン (cisl3110m000) セッションの [請求額差異] フィールドに保存されます。

注意

- 割引差異は無視されます。受領された自己請求請求書と請求可能ラインの間の差異は、すべて価格差異に起因するものとみなされます。
- 価格差異を正確なものにするため、照合コードを定義して、自己請求請求書ラインと請求可能ラインの間の一意のリンクを作成します。これを行わないと、差異金額がいずれかの請求可能ラインに配賦されます。その場合、間違った販売スケジュールラインが価格差異の原因とみなされる可能性があります。

数量差異

請求可能ラインが顧客によって完全には請求されない場合があります。原因として、配送中の紛失や品質の問題などが考えられます。その場合は、該当する請求可能ラインをクローズできます。

注意

- 数量差異を正確なものにするため、照合コードを定義して、自己請求請求書ラインと請求可能ラインの間の一意のリンクを作成します。これを行わないと、差異がいずれかの請求可能ラインに配賦されます。その場合、間違った販売スケジュールラインが数量差異の原因とみなされる可能性があります。

請求可能ラインの償却

請求可能ライン (cisl8110m000) セッションで、償却が必要な請求可能ライン ([回収請求] がオンで状況が [確認] の販売スケジュール) を選択し、適切なメニューから [自己請求請求書の償却] を選択できます。この請求可能ラインの残りの数量について、請求書訂正が作成および確認され、請求に発行されます。償却の対象として選択された請求書訂正請求可能ラインおよび元の請求可能ラインは、構成参照を介して結合され、合わせて請求されます。

請求可能ライン償却の取引タイプ

償却で作成される請求書は本当の請求書ではありませんが、統合取引の転記のために作成されます。請求取引タイプ (cisl0101m000) セッションでこれらの請求書を区別し、請求可能ラインをプラスおよびマイナスの金額と結合できるように、ソースタイプ [販売オーダ] および請求シナリオ [自己請求請求書の償却] に取引タイプが存在することを確認してください。

構成

請求シナリオ [自己請求請求書の償却] について指定された取引タイプは、償却対象として選択された請求可能ラインを処理するときに、構成で使用されます。請求回数を最小限にするため、償却対象として選択されたすべての請求可能ラインは、単一の請求バッチで、単一の構成参照を使用して処理されます。

評価済入庫決済 – 設定

評価済入庫決済 (ERS) を設定するには

1. 現預金管理パラメータ (tfcmg0500m000)
 - [その他] タブの [出荷] セクションで、[出荷に対する回収] チェックボックスをオンにします。
 - [現預金明細] タブの [現預金の割当オプション] セクションで、次のチェックボックスおよび関連アクションをオンにします。
 - [支払超過の許可]
 - [支払不足の許可]
 - [請求書なしの許可]
 - [デフォルト送金通知理由]
 - 同じタブの [送金通知] セクションで、次のデータを指定します。
 - [番号グループ]
 - [シリーズ]
2. 条件ライン (tctrm1620m000)
[請求] タブで、[自己請求] チェックボックスをオンにします。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

参照

組立管理によって決定される場合は、ラインステーション、組立キット、および親シリアル番号の一意の組合せを参照する番号

購買管理によって決定される場合は、倉庫管理から生成される一意の購買スケジュールコールオフを参照する番号

バックフラッシュ

論理的な使用量、および完了とレポートされた品目の数量に基づく、在庫からの資材の自動出庫、または品目の製造に使用された時間の計算

照合済 SBI 関係コード

照合済 (顧客) 自己請求請求書ラインと請求可能ラインのセットを識別する番号

自己請求請求書ライン

電子的に受け取る、受信自己請求請求書の固有データ部分。このデータには、販売オーダー、出荷、納入数量、価格が含まれます。

販売スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。販売スケジュールは、頻繁に納入される長期の販売をサポートします。品目、販売先取引先、出荷先取引先、および納入パラメータが同じである要求はすべて、同じ販売スケジュールに保存されます。

有効在庫

ある品目の、ある日付に顧客に確約できる数量

LN では、有効在庫 (ATP) は、確約可能在庫 (CTP) と呼ばれる、より高度なオーダー確約技術の構成要素となっています。確約可能在庫は、品目の有効在庫が不十分な場合に当初計画より増産する可能性も考慮する点で、有効在庫より高度な機能を備えています。

標準的な有効在庫機能のほかに、チャンネル有効在庫も使用されます。この用語は、特定の販売チャンネルについて販売制約を考慮した、そのチャンネルについての品目の調達可能性を指しています。

LN で使用されるこれ以外のすべてのタイプのオーダー確約機能については、確約可能在庫という用語を使用します。

頭字語: 有効在庫

略字: 有効在庫

有効在庫

次を参照してください: 有効在庫 (ページ 142)

有効在庫

次を参照してください: 有効在庫 (ページ 142)

品目マスタ計画

販売、内部供給、外部供給、および在庫に対するロジスティックターゲットと計画データを含む、品目別の総合ロジスティック計画。品目マスタ計画のすべての計画データは、計画期間で指定します。企業計画は、このデータを使用してマスタ計画シミュレーションを実行します。

品目マスタ計画は、次のサブ計画に分類することができます。

- 需要計画
- 供給計画
- 在庫計画

さらに、品目マスタ計画には、実際の需要、実際の供給、計画オーダーという形での計画供給、および予測在庫に関する情報が含まれます。

その品目にマスタ計画があり、チャンネルが定義されている場合、通常は各チャンネルに固有のマスタ計画があります。チャンネルマスタ計画には、需要データ、販売制約に関する情報といった、チャンネル固有の情報のみが含まれます。

品目マスタ計画とチャンネルマスタ計画は、シナリオ内で定義されています。これらのシナリオは、条件分析 (what-if 分析) に使用できます。シナリオのうちの 1 つが実際の計画です。

マスタ基準計画

すべての計画データを、既定の長さを持つタイムバケット内に累計する計画方式

マスタ計画では、すべての需要、供給、および在庫データがこれらのタイムバケットに基づいて取り扱われ、マスタ計画に保存されます。

マスタ計画では、供給は供給計画の形で計画されます。この供給計画は、需要予測、実際のオーダー、およびその他の情報に基づいて計算されます。製造計画では、この計画方法は、品目のクリティカル部品表およびクリティカル能力資源表に記録されたクリティカル所要量のみを考慮します。

注意

企業計画では、すべての供給をオーダー計画で計画した場合でも、品目のマスタ計画をメンテナンスすることができます。

オーダー基準計画

計画データをオーダーの形式で取り扱う計画方式

オーダー計画では、供給は計画オーダーの形で計画されます。個々の計画オーダーの開始日と終了日が考慮されます。製造計画では、この方法により、品目のBOMおよび工順に記録されたすべての資材所要量と能力所要量が考慮されます。

注意

企業計画では、すべての供給をオーダー計画で計画した場合でも、品目のマスタ計画をメンテナンスすることができます。

仕様

たとえば品目が割り当てられている取引先や所有権の詳細など、品目関連データの集まり

仕様を使用して、供給と需要を突き合えます。

仕様は、次の1つまたは複数に属することができます。

- 販売オーダーや製造オーダーなど、品目の数量に対する供給予定
- 扱い単位に収容される品目の特定の数量
- 販売オーダーなど、品目の特定の数量に対する要件

出庫

倉庫から商品を取り出す作業

出庫勧告

商品をピッキングして出庫する保管場所とロットを勧告するために、ブロック済保管場所や出庫方法などの要因を考慮して生成されるリスト

倉庫オーダ

倉庫内の商品进行处理するオーダ

倉庫オーダは次のいずれかの在庫処理タイプになります。

- [入庫]
- [出庫]
- [転送]
- [仕掛品振替]

オーダには、それぞれ発生元があります。また、倉庫処理に必要なすべての情報が含まれています。品目 (ロット品目または非ロット品目) および倉庫 (保管場所の有または無) に応じて、ロットや保管場所を割り当てることができます。オーダは、事前定義された倉庫手順に従います。

注意

製造では、倉庫オーダを Warehousing Order、または Warehouse Order といいます。

同義語: 倉庫オーダ

倉庫オーダ

次を参照してください: 倉庫オーダ (ページ 144)

販売業者管理在庫 (VMI)

発注先がそれぞれの顧客や外注先の在庫を管理する際に通常従う在庫管理方法です。また、発注先は供給計画も管理している場合があります。他にも、在庫は顧客が管理し、供給計画は発注先が担当している場合もあります。在庫管理や在庫計画は、ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) に外注することもできます。

発注先が納入する在庫は、発注先、または顧客が所有します。多くの場合、在庫の所有権は顧客が在庫を消費する際に発注先から顧客に変更されますが、契約で規定されている時期に所有権の移行が生じることもあります。

販売業者管理在庫は、計画や資材の調達に関連する内部コストを削減できるほか、販売業者はサプライチェーンを明確に把握しながらそれぞれの在庫をよりよく管理できます。

品目

購買、保管、製造、販売などができる原材料、部分組立品、完成品、および工具

品目は、1つのキットとして処理される一連の品目を表すことも、複数の製品バリエーションに存在することもできます。

非物理的な品目、つまり、在庫には保持されないが、原価を転記したりサービス料金を顧客に請求したりするために使用できる品目も定義できます。非物理的な品目の例は次のとおりです。

- 原価品目 (電気代など)
- サービス品目
- 外注サービス
- リスト品目 (メニュー/オプション)

追加情報フィールド

さまざまなセッションに追加できるさまざまなフィールドフォーマットのユーザ定義フィールド。ユーザはこれらのフィールドを編集できます。これらのフィールドの内容には機能ロジックが関連付けられていません。

追加情報フィールドはデータベーステーブルにリンクできます。テーブルにリンクすると、そのデータベーステーブルに対応するセッションにフィールドが表示されます。たとえば、whinh200 テーブルに定義されているフィールドは倉庫オーダ (whinh2100m000) セッションの追加フィールドとして表示されます。

追加情報フィールドの内容をデータベースのテーブル間でやり取りできます。たとえば、あるユーザが倉庫オーダ (whinh2100m000) セッションの追加情報フィールド A に指定した情報は、出荷 (whinh4130m000) セッションの追加情報フィールドに転送されます。このため、whinh200 テーブルと whinh430 テーブル (whinh430 は出荷 (whinh4130m000) セッションに対応) には、フィールドフォーマットが同一でフィールド名が A である追加情報フィールドが存在する必要があります。

次を参照してください: [追加情報フィールド](#)

マスク

識別コードの構成を示すテンプレート。マスクは、カレンダー作業時間の更新 (tcccp0226m000) のいずれかのセッションを通じてシフトの ID を生成するために使用します。

次を参照してください: [マスクセグメント](#)

外注

別の関係者から、プロジェクトの一部実行、製造オーダの作業などの特定のサービスを借用すること

消費

顧客による、または顧客の代理による、委託品目の倉庫からの出庫。顧客は、これらの品目を販売、製造などに使用することを目的としています。品目が出庫されると、顧客はその品目の所有者になるため、発注先に支払を実行する必要があります。

扱い単位

梱包と内容からなる一意に識別可能な物理的な単位。扱い単位には、品目を含めることができます。扱い単位には、品目の梱包に使用する梱包資材の構造があります。または、扱い単位がその構造の一部を構成します。

扱い単位には、次の属性が含まれています。

- 識別コード
- 梱包品目 (オプション)
- 梱包品目数量 (オプション)

品目を扱い単位にリンクさせる場合、その品目は扱い単位によって梱包されます。梱包品目は、扱い単位を構成するコンテナやその他の梱包資材のタイプを指します。たとえば、扱い単位を木枠に指定するには、扱い単位の梱包品目に木枠を定義します。

次を参照してください: [扱い単位構造](#)

管理倉庫

取引先で管理されている倉庫のビューを提供する倉庫。管理倉庫は取引先のシステムで管理されている物理的な倉庫に対応しています。この物理的な倉庫では、入庫および出庫処理が実行されます。管理倉庫は、取引先の倉庫に存在している在庫レベルを反映します。

管理倉庫は、次のような状況で使用されます。

- 倉庫は自社のサイトにあるが、発注先が管理しており、品目を実際に使用するまでは発注先がおそらくその在庫を所有している
- 倉庫は顧客のサイトにある。在庫は顧客が品目を使用するまで自社で所有しているが、在庫の管理は顧客が行っている
- 倉庫は外注先のサイトにある。倉庫に未完成商品があり所有しているが、在庫の管理は外注先が行っている

管理倉庫は、LN で定義できる倉庫タイプの 1 つではありません。管理倉庫の設定には、さまざまなパラメータ設定が必要です。

積荷

LN では、特定の日時に、特定の経路を使用して、特定の輸送手段で運搬されたすべての商品、出荷、あるいはそれら両方を指します。

輸送オーダー

特定の数の商品を輸送するための命令。輸送オーダーは、1 つのオーダーヘッダと 1 つまたは複数のオーダーラインから構成されます。

輸送オーダーヘッダには、輸送オーダーにリストされている商品の納期、およびこの商品を受領する顧客の名前と住所など、一般情報が含まれます。

輸送オーダーラインには、輸送する品目の他に、この品目に関する明細 (数量や寸法など) が含まれます。

出荷

特定の日時に、特定の住所へ特定の経路で輸送されるすべての商品。積荷の識別可能な部分

追加コスト

追加の梱包や保険などの追加サービスに対する費用。出荷、積荷、または輸送オーダークラスタの輸送費に追加コストが付加されます。追加コストは出荷ラインまたは輸送オーダークラスタラインに課され、顧客に請求できます。これは、取引先との間で結ばれている協定によって決まります。

追加コスト

オーダーまたは出荷の追加コストを課するために販売オーダーまたは出荷に加えることができる原価品目

計画済倉庫オーダー

販売で作成されるオーダーであり、ほとんどのスケジュール関連処理の基準となります。販売スケジュールの承認時に作成される計画済倉庫オーダーであり、これによってスケジュール更新および改訂が倉庫オーダーから分離されます。これは、販売と倉庫管理および請求との間のインターフェースにもなります。

超過納入

元のオーダー数量からのプラス偏差

販売発行

次の特徴を共有する販売スケジュールを、1つの発行番号で識別します。

- 販売先取引先
- 出荷先取引先
- 出荷先住所
- 発行タイプ (資材発行/出荷スケジュール/連続出荷スケジュール/ピックアップシート)
- 出荷基準スケジュール/入庫基準スケジュール
- スケジュール数量タイプ
- 予測範囲開始および終了
- 販売発行発生元
- 顧客発行
- (顧客オーダー)
- 顧客契約参照

ピックアップシート

特定の日に顧客に輸送するために、特定の運送業者が発注先のサイトで集荷する品目リスト

所要量タイプ

期限内の所要量を表す所要量タイプは3つあり、スケジュールに使用されます。

利用可能な所要量タイプは次のとおりです。

- [即時]
- [確定]
- [計画済]

非参照スケジュールの場合、所要量タイプはセグメントにリンクされます。

プル予測スケジュールの場合、所要量タイプは常に [計画済] または [即時] です。プルコールオフスケジュールの場合、所要量タイプは常に [確定] です。

梱包定義

品目とその梱包固有の構成。品目の梱包定義は、たとえば、1つのパレットに12個のボックスがあり、各ボックスに4個が含まれる、のようになります。

次を参照してください: 一般レベル梱包定義、品目レベル梱包定義

積荷構築

輸送の輸送計画エンジン。積荷構築エンジンは、輸送を必要とする商品を出荷および積荷にグループ化します。

バーコード

電子スキャナで読み取ることができるエンコード情報で、文書または製品に印刷されたバーコード

中間荷受人

発注先から送付された商品が統合され、通常は顧客の送信された最終移送先に出荷される前に再梱包される物流センタ。中間荷受人は、顧客または顧客を代行する運送業者に帰属します。

パターン

発行や納入などの活動を実行したい曜日、日にち、時間を定義する方法

事前出荷通知

仮請求書のフォーム。顧客は事前に出荷の詳細通知を受け取ります。

頭字語: ASN

倉庫オーダタイプ

倉庫オーダのタイプを識別するコード。倉庫オーダタイプにリンクしたデフォルトの倉庫手順は、その倉庫オーダタイプが割り当てられた倉庫オーダの倉庫での処理方法を決定します。ただし、デフォルトの手順は、倉庫オーダごと、またはオーダラインごとに修正できます。

梱包票

出荷する特定の梱包内容を詳細に記載したオーダ文書。項目には、品目の説明、荷主または顧客の品目番号、出荷数量、および出荷品目の在庫単位などがあります。

梱包リスト

積荷のすべての出荷が記載された伝票

扱い単位テンプレート

梱包定義の要素の 1 つ。扱い単位テンプレートでは、品目の梱包に使用する梱包資材や、梱包資材の組立方法に関する情報が得られます。梱包構造は、階層状になっており、親と子の関係を持つ複数のノードで構成されます。梱包資材は複数の扱い単位を指し、各ノードは 1 つの扱い単位を表します。

扱い単位が、特定のオーダの品目について生成される場合、そのオーダにリンクされている梱包定義の扱い単位テンプレートの定義に従って作成および組み立てられます。

販売契約

販売契約は、商品の納入について、販売先取引先との合意を登録するために使用します。

契約は次の要素で構成されます。

- 一般取引先データが記載され、オプションで条件合意が記載された販売契約ヘッダ
- 品目または価格グループに適用される価格/値引合意および数量情報を持つ、1つまたは複数の販売契約ライン

遡及請求

前に請求済の品目について、価格の再交渉に基づいて貸方または借方請求書を発行する処理。契約または個別のオーダーやスケジュールにリンクされたオーダーまたはスケジュールに対して遡及請求を実行できます。

同義語: 遡及請求

遡及請求

次を参照してください: 遡及請求 (ページ 149)

バックオーダー

顧客オーダー不足分、または後日に納入される部分。品目に対する需要で、在庫が不十分であるため需要を満足できないもの

ASN

次を参照してください: 事前出荷通知 (ページ 148)

EDI メッセージ

組織名とメッセージから成る、標準の電子取引文書。電子データ交換 (EDI) メッセージは、着信または発信メッセージとして処理されます。

各 EDI メッセージには、オーダー確認や事前出荷通知 (ASN) などに関するものがあります。

EDI メッセージの標準 (規格) は、次の団体/組織によって策定されています。

- ANSI
- X12
- UN/EDIFACT
- ODETTE
- VDA

電子データ交換 (EDI)

標準フォーマットの標準ビジネス文書のコンピュータ間転送。内部 EDI は、同じ内部会社ネットワーク (マルチサイトまたは複数会社とも呼ばれる) 上での会社間のデータ転送を意味します。外部 EDI は、自社と外部取引先間のデータ転送を意味します。

品目コードシステム

品目をコード化する、外部の代替方法。コーディングシステムは、一般標準システム (EANなど) または特定の取引先に依存するシステムを使用できます。

プール

計画方法 (計画アルゴリズム) の 1 つ。物流センタや港など、経路計画でカバーされる複数の固定住所に立ち寄ります。このようなケースでは、輸送経路は通常複数のプロセスから構成されます。

プロセスごとに、出荷は同じ経路をたどり、一緒にプールされ、目的地または物流ポイントに送られます。物流ポイントに送られた場合は、異なる輸送手段に出荷が再度割り当てられ、最終目的地に届けられます。

例

まず 50 台の自転車がアムステルダムからニューヨークへ、次の 50 台がアムステルダムからフィラデルフィアへ、さらにもう 20 台がアムステルダムからピッツバーグへ送られるとします。最初のプロセスは、アムステルダムからロッテルダムへのトラックによる輸送です。ロッテルダムはプール地点で、ここで自転車は船に載せられます。ニューヨークで一度荷降しされ、トラックに載せられ、ニューヨーク、ピッツバーグ、フィラデルフィアの各最終目的地に届けられます。

出荷手順

倉庫オーダまたは出荷について輸送処理するときに行われる手順。出荷手順では、出荷を輸送するときにどの輸送書類 (梱包リスト、梱包票、または積荷証券) を出力するのかを指定できます。各出荷ごとに、出荷手順が定義されます。出荷が [確認済] 状況になると、出荷手順に指定されている書類が出力されます。

扱い単位構造

品目を扱い単位によって梱包する方法の説明

扱い単位構造には、次のいずれかの要素が含まれます。

- 最上位
パレットなど、全体構造を含む扱い単位
- 親
パレット上の木枠など、1 つ以上の子を含む扱い単位
- 子
木枠に梱包されているボックスなど、親にリンクされている扱い単位

非参照スケジュール

参照番号のないラインを含むスケジュール。スケジュールラインについて特定の所要量が存在しないので、非参照スケジュールラインは、最初にクラスタ化して、一緒にオーダ、出荷、および入庫できます。

参照スケジュール

参照番号を持つラインを含むスケジュール。商品が出荷、入庫、および請求される場合、参照番号は、発注先や他の LN パッケージとの通信に使用されます。

発行タイプ

発行のタイプを特定するために使用される分類であり、この分類に基づいてスケジュール所要量がグループ化され、EDI メッセージを生成できます。これらのメッセージは、使用するスケジュールによって示されます。

連続出荷スケジュール

所要の製造や納入についての正確な情報を含む出荷スケジュール。このスケジュールには、製造順序や納入順序のほか、オーダ、場所、出荷後の荷降の時間なども含めることができます。

販売先取引先

企業が扱う商品またはサービスに対してオーダを出す取引先、企業がメンテナンスを請け負う設備機器の所有者、または企業が実行するプロジェクトの受益者。一般的には顧客の購買部署

販売先取引先との契約には次のような事柄が含まれます。

- 別途取り決めない限り適用される、価格と値引についての合意内容
- 別途取り決めない限り適用される、販売オーダについての合意内容
- 受渡条件
- 関連する出荷先取引先および請求先取引先

出荷先取引先

オーダ商品の出荷先取引先。通常、これは顧客の物流センタまたは倉庫を表します。この定義には、商品の出荷元となるデフォルト倉庫、運送業者および関連の販売先取引先が含まれます。

同義語: 出荷先顧客

出荷先顧客

次を参照してください: 出荷先取引先 (ページ 151)

条件合意

商品の販売、購買、転送に関する取引先間の契約であり、オーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件を定義し、正しい条件を取得するための検索メカニズムを定義できます。

契約には次が含まれます。

- 合意タイプと取引先が記載されたヘッダ
- 検索優先順位、選択した検索属性 (フィールド) とリンクしている条件グループから構成される検索レベル
- 検索レベルの検索属性値が示される 1 つまたは複数のライン
- ラインのオーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件が示される条件グループ

照合コード

自己請求請求書が対応するオーダデータと自動照合される際に適用する必要がある一式の優先順位に基づく追加基準を定義するコード

追加コストライン

追加コストとしてオーダまたは出荷にリンクできる原価品目を含みます。追加コストラインの例として、オーダ金額が一定の値より少ない場合にオーダ原価に追加される管理費や、販売/購買商品の総重量が一定の値を超える場合にオーダに追加される輸送費があります。

累計リセット日

スケジュールの累計/権限がリセットされる日時

累計 (CUM)

会計年度初日から今日までの、出荷済、入庫済、および請求済数量についての合計

累計は、需要と比較して状況がスケジュールより前後するかどうかを追跡するためのスケジュール統計として使用されます。

ロジスティック合意条件

スケジュールメッセージ、凍結期間、権限、納入パターン、運送業者などのロジスティックデータに関して発注先と顧客の間で合意される必要のある条件

資材発行

出荷時間、納入時間、数量について予測情報が提供されるスケジュール

一般に、資材発行は計画発行と考えることができます。ただし、資材発行には実際のオーダが含まれる場合があります。

通常契約

顧客指向の契約で、発注者と顧客によって合意され、特定合意を記録するために使用されます。通常契約は、通常、約 1 年間有効です。

特定期間の同じ取引先に別の有効な契約が存在する場合は、通常契約を有効にすることはできません。

未決済残高

1 つの特定の取引先に関連したすべての未払請求書の残高

優先所要累計

最終累計リセット日から (次の) スケジュール発行日まで計算される、スケジュールの所要累計の合計

所要累計と対照的に、優先所要累計には、まだ入庫が記帳されていない発行済スケジュールラインの所要量も含まれます。

入庫累計

スケジュールの入庫済累計数量の合計。累計リセット日から最終処理日、すなわち入庫日までが計算されます。入庫累計は、スケジュールラインについて入庫があるとすぐに更新されます。

販売スケジュール改訂番号

販売スケジュールの改訂を一意に識別する番号。販売スケジュール改訂番号は、取引先に送付される販売スケジュールの更新を示します。

システム日付

システムによって生成される現在の日付

自己請求

取引先間での合意により、商品の入庫または消費を基準にして行われる、請求書の定期的な作成、照合、および承認。販売先取引先は、購買元取引先からの請求書を待たずに、商品に対する支払を行います。

評価済入庫決済 (ERS)

発注先と顧客の間に請求書が存在しない処理。支払は、発注先による納入完了に基づいて顧客によって開始されます。行われる支払は顧客によって事前に送金通知 EDI メッセージ に記録され、発注先に送信されます。その後、発注先は関連する未決済取引を調整することができます。

工程倉庫

ワークセンタに供給するために中間在庫を保管しておく倉庫。工程倉庫は、個別の作業セル、組立ライン、または 1 つもしくは複数のワークセンタとリンクされます。工程倉庫は、補充オーダーまたはプルベースの資材供給で商品を供給できます。

プルベースの資材供給方法は次のとおりです。

- [オーダー管理/バッチ供給] (組立管理に限り適用されます)
- [オーダー管理/SILS 供給] (組立管理に限り適用されます)
- [オーダー管理/個別供給] (ジョブショップ管理に限り適用されます)
- [カンバン]。
- [時系列オーダーポイント]

工程倉庫に保管される品目は、仕掛品 (WIP) の一部ではありません。製造での使用のために品目が工程倉庫を離れると、価額が仕掛品に追加されます。

ビジネスオブジェクト文書 (BOD)

企業または企業アプリケーション間でデータの交換に使用する XML メッセージ。BOD はメッセージの内容を識別する名詞、および文書で実行するアクションを識別する動詞で構成されています。名詞と動詞の一意の組合せによって、BOD の名前が形成されます。たとえば、名詞「ReceiveDelivery」と動詞「Sync」の組合せは、「BOD SyncReceiveDelivery」になります。

VMI 倉庫

保管済商品の発注先が次のどちらか一方または両方のタスクを行う倉庫。タスクは倉庫管理 (入出庫処理に伴う活動を含む) または倉庫内の商品の供給計画です。発注先が倉庫内の在庫の所有者となっていることもあります。通常、この倉庫は顧客の施設内にあります。

ピッキングリスト

製造オーダーまたは出荷オーダーのピッキングする資材を示す伝票。この伝票は、製造オーダーまたは出荷オーダーの資材をピッキングする際にオペレータが使用します。

次を参照してください: ピッキング

ストックポイント

LN で登録できる最小の在庫レベル

ストックポイントは、次のデータで定義されます。

- 倉庫
- 保管場所: 保管場所がある場合のみ
- 品目
- 在庫日付: 後入れ先出しまたは先入れ先出しで作業する場合に重要
- ロット: 品目が少量ロットで管理される場合のみ

出庫オーダーライン

倉庫から商品を出庫するために使用する倉庫オーダーライン

出庫オーダーラインによって、計画出庫および実際出庫に関する詳細な情報が得られます。たとえば、次のような情報です。

- 品目データ
- オーダー数量
- 商品の出荷元倉庫

出荷参照

同時にコールオフする品目のグループの定義

梱包参照 A

梱包を構築する基準の 1 つであり、物流ゾーンまたは工順コードを参照します。

梱包参照 B

梱包を構築する基準の 1 つであり、消費値または仕向地を参照します。

索引

設定

- ERS, 139
- 自己請求請求書, 135
- 評価済入庫決済, 139

発行, 33

権限, 45

ラベル

- レイアウト, 86, 88, 104
- 扱い単位, 89

適切なメニュー, 141

参照, 141

- 順序付, 82

出力

- バーコード, 89

ラベルコード

- ラベルレイアウト, 86, 88

履歴

- 販売スケジュール, 77

処理

- SBI 照合, 134

バックフラッシュ, 141

照合済 SBI 関係コード, 141

自己請求請求書ライン, 141

自己請求請求書

- 照合, 133, 134
- 設定, 135
- 販売スケジュール, 135

照合

- 自己請求請求書, 133

販売スケジュール, 141

- EDI とのリンク, 32
- 改訂番号, 39
- 概要, 9
- 企業計画とのリンク, 64
- 権限, 45
- 削除, 74
- 参照, 35
- 自己請求請求書, 135
- 自動処理, 11
- 手順, 29
- 終了, 76
- 処理, 9, 74

所要量タイプ, 41

承認, 58

請求に発行中, 72

倉庫に発行中, 70

調整, 54, 60

累計, 46

SBI 照合

- 処理, 134

在庫

- 消費, 12

有効在庫, 142

品目マスタ計画, 142

マスタ基準計画, 143

オーダ基準計画, 143

仕様, 143

出庫, 143

出庫勧告, 143

倉庫オーダ, 144

統合, 20

- 数量別, 20

- 日付別, 22

販売業者管理在庫 (VMI), 144

品目, 144

追加情報フィールド, 145

マスク, 145

- 扱い単位, 85

- 出荷, 85

外注, 145

消費, 145

- 在庫, 12

- 発注先のシステム, 12

扱い単位, 145

- マスク, 85

- ラベルの出力, 89

- 仮想, 82

- 検証スキャン, 128

- 梱包資材, 79

- 充填, 122

- 出荷, 79, 80, 85

- 出庫, 79, 80

- 代替, 79

- 追跡, 122

- 部品変更タグ, 106
- 部品変更理由, 106
- 管理倉庫, 146
- 積荷, 146
 - 検証, 126, 127
 - 検証スキャン, 128
 - 中間荷受人, 131
- 輸送オーダ, 146
- 出荷, 146
 - マスク, 85
 - 扱い単位, 85
 - 検証, 126, 127
 - 検証スキャン, 128
 - 梱包, 122
 - 梱包定義, 79, 80
- 追加コスト, 15, 146, 146
 - 出荷基準, 15
- 計画済倉庫オーダ, 18, 20, 146
 - 更新, 20, 23
 - 作成, 18
 - 処理, 19
 - 超過納入, 26
 - 納入, 26
 - 不足納入, 27
- 販売スケジュールライン
 - 取消, 44
 - 統合, 20
- 超過納入, 54, 147
- 不足納入, 54
- EDI, 32
- 販売発行, 33, 147
- 販売発行タイプ, 33
- 販売スケジュールタイプ, 33
- 参照販売スケジュール, 35
 - ピックアップシート, 37
- ピックアップシート, 37, 147
- 改訂番号, 39
- 販売スケジュール改訂, 39
- 所要量タイプ, 41, 147
- 販売スケジュールライン所要量タイプ, 41
- ゼロの所要数量, 44
- 販売スケジュールの権限, 45
- 累計, 46
- 販売スケジュール累計, 46
 - 外部構成要素データに基づく同期, 51
 - 累計モデルに基づく同期, 48
- 実際納入, 72
- 請求書訂正, 72
- 販売スケジュール履歴, 77
- 梱包資材
 - 扱い単位, 79
 - 代替, 79

- 梱包定義, 147
 - まとめ, 79
 - 扱い単位, 122
 - 出荷, 79, 80
- まとめ
 - 梱包定義, 79
- 出荷ライン固有扱い単位テンプレート, 80
- 扱い単位を(単一品目から複数品目に、またはその逆に) 変更する場合の例, 80
- 順序付
 - 仮想, 82
 - 梱包参照, 82
 - 参照, 82
 - 出荷作成, 82
 - 積荷構築, 82
- 出荷作成
 - 順序付, 82
- 積荷構築, 147
 - 順序付, 82
 - 承認過剰輸送費, 130
 - 積荷ごとに 1 出荷先コード, 130
 - 中間荷受人, 131
- 梱包参照, 121
 - 順序付, 82
- 仮想
 - 扱い単位, 82
 - 順序付, 82
- ライン側ラベル
 - ラベル, 86
 - 出力, 86
- レイアウト
 - ラベル, 86, 88, 104
- ラベルレイアウト
 - ラベルコード, 86, 88
 - ラベルフィールド, 88
- ラベルフィールド
 - ラベルレイアウト, 86, 88
- バーコード, 148
 - 出力, 89
- ライン側
 - ラベリング, 104
- ラベリング
 - ライン側, 104
- 部品変更タグ
 - 扱い単位, 106
- 部品変更理由
 - 扱い単位, 106
- 出荷参照に基づく出荷作成, 107
- 納入地点に基づく出荷構築, 110
- 番号の長さ - VDA 規格, 111
- ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) - 梱包品目の登録

出荷資材取引, 112	梱包リスト, 148
出荷資材取引	扱い単位テンプレート, 148
ロジスティックサービスプロバイダ (LSP)	販売契約, 149
- 梱包品目の登録, 113	遡及請求, 149
CINDI	バックオーダー, 149
自動車, 118	ASN, 148
出荷数量	EDI メッセージ, 149
自動車, 119	電子データ交換 (EDI), 149
自動車業界向けの拡張, 122	品目コードシステム, 150
充填	プール, 150
扱い単位, 122	出荷手順, 150
出荷検証	扱い単位構造, 150
出荷, 126, 127	非参照スケジュール, 150
出庫, 126, 127	参照スケジュール, 150
積荷, 126, 127	発行タイプ, 151
出荷確認	連続出荷スケジュール, 151
検証スキャン, 128	販売先取引先, 151
出荷受入, 128	出荷先取引先, 151
操作, 128	出荷先顧客, 151
出荷受入	条件合意, 151
出荷確認, 128	照合コード, 151
検証スキャン	追加コストライン, 152
扱い単位, 128	累計リセット日, 152
出荷, 128	累計 (CUM), 152
出荷確認, 128	ロジスティック合意条件, 152
出庫, 128	資材発行, 152
積荷, 128	通常契約, 152
承認過剰輸送費	未決済残高, 152
積荷構築, 130	優先所要累計, 152
承認過剰輸送	入庫累計, 152
コード, 130	販売スケジュール改訂番号, 153
積荷構築, 130	システム日付, 153
積荷ごとに 1 出荷先コード	自己請求, 153
積荷構築, 130	評価済入庫決済 (ERS), 153
中間荷受人, 148	工程倉庫, 153
プールポイント, 131	ビジネスオブジェクト文書 (BOD), 153
積荷, 131	VMI 倉庫, 153
積荷構築, 131	ピッキングリスト, 154
プールポイント	ストックポイント, 154
中間荷受人, 131	出庫オーダーライン, 154
出荷先	出荷参照, 154
中間荷受人, 131	梱包参照 A, 154
販売先	梱包参照 B, 154
中間荷受人, 131	
ERS	
設定, 139	
評価済入庫決済	
設定, 139	
パターン, 148	
事前出荷通知, 148	
倉庫オーダータイプ, 148	
梱包票, 148	
